6. Mac OSで使う

7. UNIXで使う

8. NetWareで使う

9. CD-ROM収録ソフトウェアについて

10.プリンタードライバー設定画面の表示と印刷の中止

11.試し印刷／機密印刷する

12.こんなときには

13.付録

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず使用説明書<保守・運用編>『安全上のご注意』をお読みください。

商標

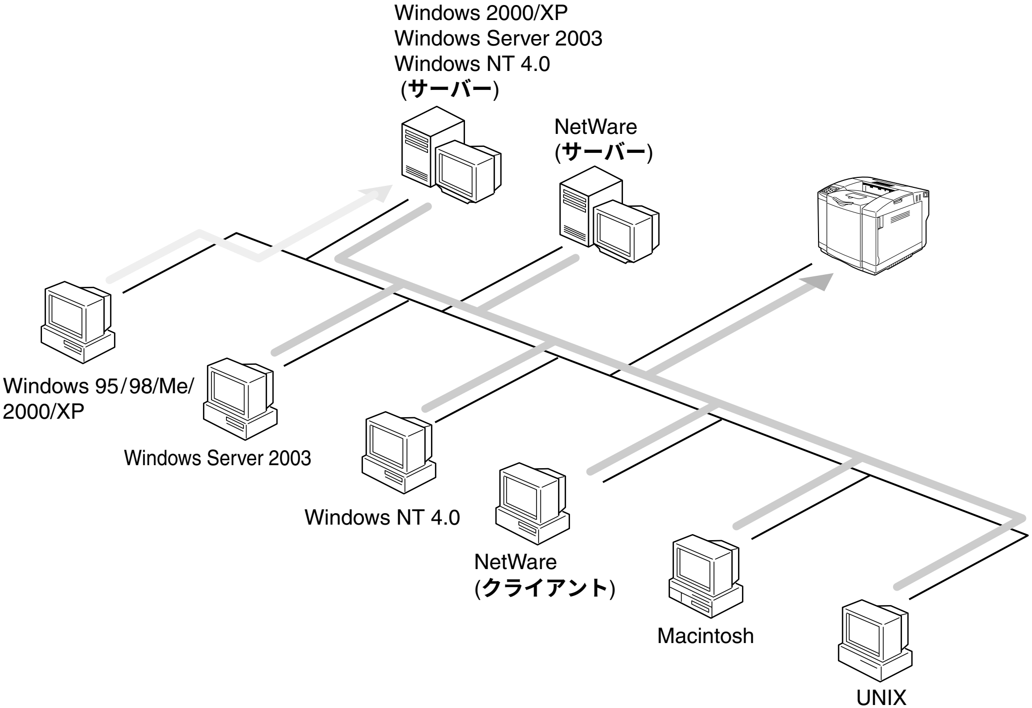
- 3Comは3Com corporationの登録商標です。
- Bluetooth商標は、Bluetooth SIG, Inc. 所有の商標であり、ライセンスの下で株式会社リコーが使用しています。
- Macintosh、Mac OS、Apple、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Rendezvousは、米国Apple Computer, Inc.の各国での登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NECは、日本電気株式会社の登録商標です。
- PC98-NXシリーズ、PC-9800シリーズ、PC-9821シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- NetWareは、米国Novell, Inc.の登録商標です。
- PostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
- UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしているソフトウエアです。
- BMLinkSは、社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

* Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95です。
* Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98です。
* Windows® Meの製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
* Windows® 2000の製品名は以下のとおりです。
Microsoft® Windows® 2000 Professional
Microsoft® Windows® 2000 Server
Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server

* Windows® XPの製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Professional
* Windows Server 2003の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition
  Microsoft® Windows Server™ 2003 Web Edition
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

環境を確認する

本機をご使用になる環境を確認します。



❖ プリンターとコンピューターの接続方法

- ネットワーク接続（イーサネットケーブル、IEEE 802.11b（無線LAN））
- パラレル接続（パラレルケーブル）
- USB接続
- Bluetooth[TM]接続

❖ プリントサーバー

- Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0サーバーを使う
- NetWareサーバーを使う

Windows で使う

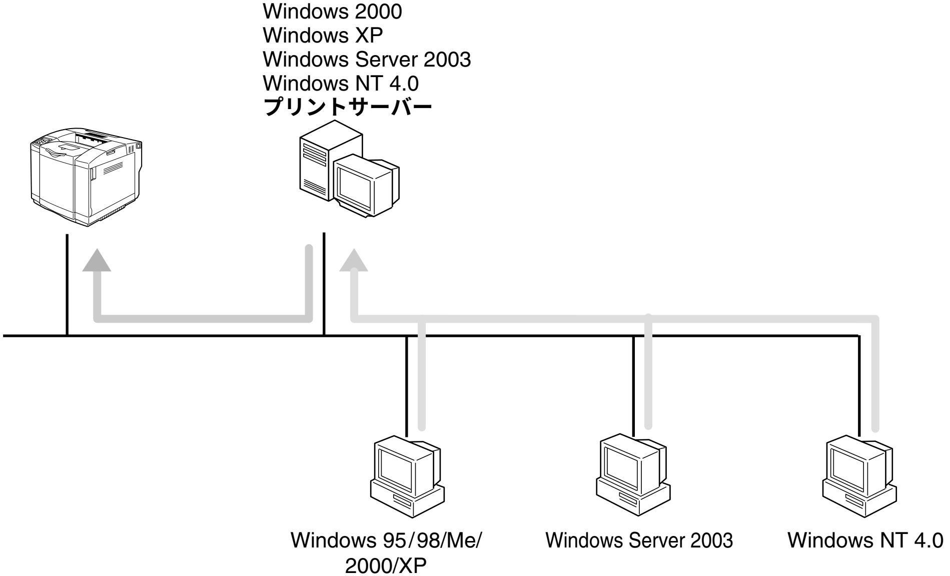
プリントサーバーを使う場合

本機をネットワークに接続し、プリントサーバーを使って印刷する場合のセットアップ方法を説明します。

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、およびWindows NT 4.0のプリントサーバーを使う方法とNetWareサーバーを使う方法があります。

❖ Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0のプリントサーバーを使う

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0をプリントサーバーとして使い、Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0のクライアントから印刷します。



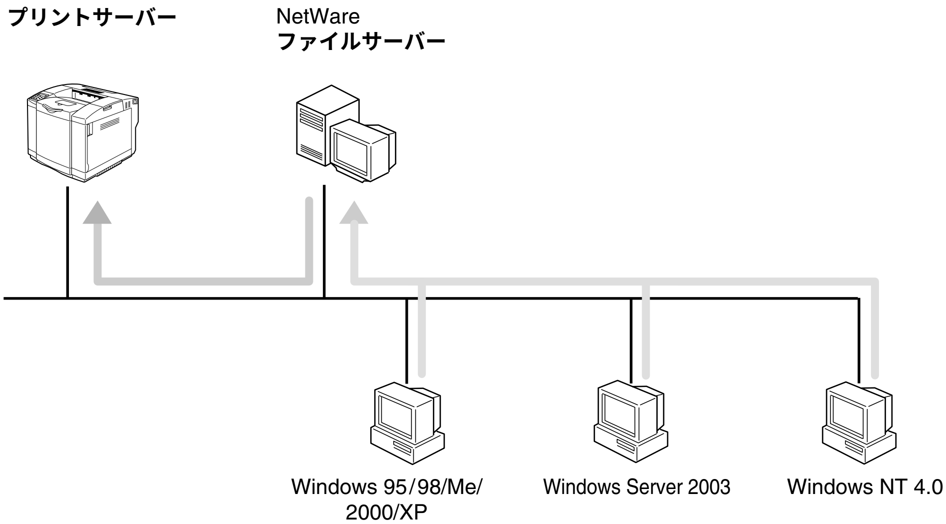
- Windows 95/98/Me ⇒ P.19 「プリントサーバーを使う場合」
- Windows 2000 ⇒ P.51 「プリントサーバーを使う場合」
- Windows XP、Windows Server 2003 ⇒ P.83 「プリントサーバーを使う場合」
- Windows NT 4.0 ⇒ P.113 「プリントサーバーを使う場合」

❖ NetWareサーバーを使う

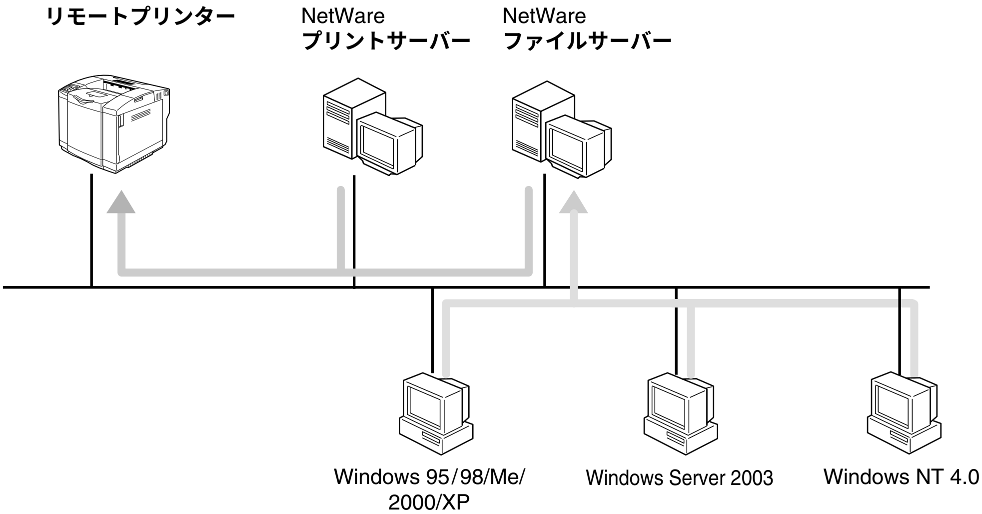
NetWare 3.xJ、NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1J、Netware 6をプリントサーバーとして使い、Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0のクライアントから印刷します。

本機をプリントサーバーとして使う形態とリモートプリンターとして使う形態の2種類があります。

❖ プリントサーバーとして使う場合



❖ リモートプリンターとして使う場合



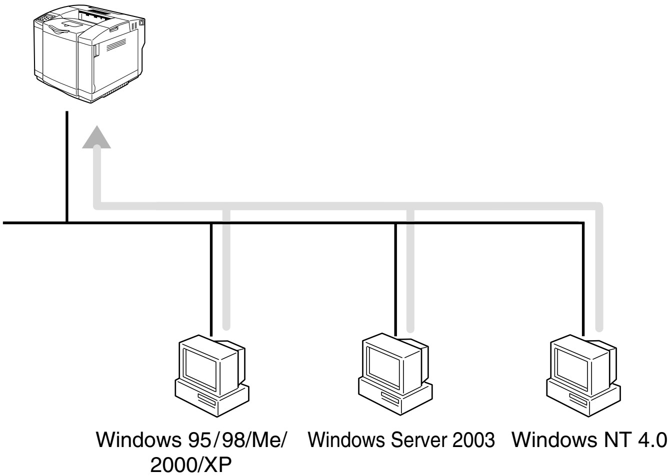
⇒ P.180 「NetWareで使う」

プリントサーバーを使わない場合

本機をネットワークに接続し、サーバーを介さずに印刷する場合のセットアップ方法を説明します。

Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0から印刷できます。

❖ ネットワーク接続（イーサネット）の場合



- **プリンタードライバーと必要なソフトウェアをかんたんにインストールするには、**P.16「おすすめインストール」**を参照してください。**
- **詳細な設定をしながらプリンタードライバーと必要なソフトウェアをインストールする場合は、以下を参照してください。**
  - Windows 95/98/Me ⇒ P.24 「プリントサーバーを使わない場合」
  - Windows 2000 ⇒ P.56 「プリントサーバーを使わない場合」
  - Windows XP、Windows Server 2003 ⇒ P.88 「プリントサーバーを使わない場合」
  - Windows NT 4.0 ⇒ P.118 「プリントサーバーを使わない場合」

❖ ネットワーク接続（IEEE 802.11b（無線LAN））の場合

❖ アドホックモード（802.11アドホックモード／アドホックモード）

これは、各無線LANを装着したパソコン同士で通信するモードです。各無線LANを装着したパソコン間に中継器（アクセスポイント）を必要としない最も基本的な通信方式で、通信するためには互いに使用する周波数帯（チャンネル）、SSID [*1] を揃える必要があります。
無線LANを装着したパソコンの設定によっては、SSID [*1] の設定が不要な場合もあります。

参照

詳しくは、使用説明書<オプション設置編>「無線LANを使用するときの設定」を参照してください。

❖ インフラストラクチャーモード

これは、アクセスポイントを経由して通信するモードです。アクセスポイントでSSID [*1]、WEP [*2] を設定している場合は、同じ値を設定する必要があります。また、有線LAN（イーサネット）にアクセスポイントを接続することにより、既存のネットワーク環境に組み込むことができます。

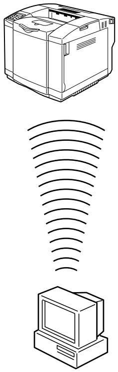
参照

詳しくは、使用説明書<オプション設置編>「無線LANを使用するときの設定」を参照してください。

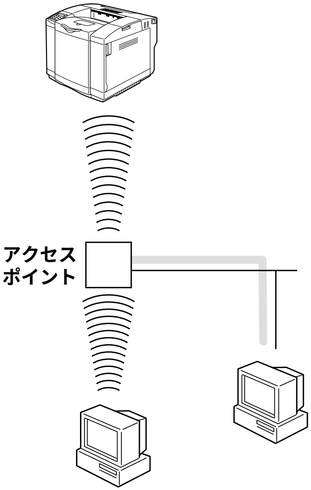
[*1] Service Set IDとよばれ、アクセスポイントと無線LANクライアント間で接続の際に使用される識別子です。同じSSIDを共有する無線LANクライアントとアクセスポイントだけが相互に通信が可能となります。（設定できる文字は、半角英数字32バイト（大文字／小文字を区別する<ASCII 0x20〜0x7e>）までとなります）。

[*2] 無線データ通信の内容を暗号化して保護するために使用されます。暗号化されたアクセスポイント、無線LANクライアント間で通信するためには、プリンターにも同一のWEPキーを設定する必要があります。64bit WEPを使用する場合、16進数では10桁、ASCII文字列では5桁の文字列が使用できます。128bit WEPを使用する場合、16進数では26桁、ASCII文字列では13桁の文字列が使用できます。

❖アドホックモードで印刷する



❖インフラストラクチャモードで印刷する

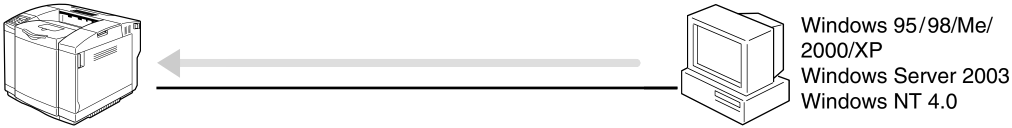


- Windows 95/98/Me ⇒ P.24 「プリントサーバーを使わない場合」
- Windows 2000 ⇒ P.56 「プリントサーバーを使わない場合」
- Windows XP、Windows Server 2003 ⇒ P.88 「プリントサーバーを使わない場合」
- Windows NT 4.0 ⇒ P.118 「プリントサーバーを使わない場合」

パラレル接続の場合

本機とパソコンをパラレルケーブルで接続して印刷する場合のセットアップ方法を説明します。

Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0から印刷できます。



- Windows 95/98/Me ⇒ P.39 「パラレルインターフェースを使う」
- Windows 2000 ⇒ P.72 「パラレルインターフェースを使う」
- Windows XP、Windows Server 2003 ⇒ P.102 「パラレルインターフェースを使う」
- Windows NT 4.0 ⇒ P.133 「パラレルインターフェースを使う」

USB インターフェースを使う

- Windows 98 SE/Me ⇒ P.42 「USBインターフェースを使う」
- Windows 2000 ⇒ P.76 「USBインターフェースを使う」
- Windows XP、Windows Server 2003 ⇒ P.106 「USBインターフェースを使う」

Bluetooth を使う

⇒ P.257 「Bluetooth™を使う」

Mac OS で使う

⇒ P.140 「Mac OSで使う」

UNIX で使う

⇒ P.150 「UNIXで使う」

1. おすすめインストール

同梱のCD-ROMから簡単にソフトウェアをインストールすることができます。

[おすすめインストール] ボタンをクリックすると、RPCSプリンタードライバーがパソコンにインストールされ、本機が使用できる状態になります。

TCP/IPの場合、Ridoc IO Naviもインストールされます。

制限

❒ 必要な条件は次のとおりです。
- OSがWindows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、またはWindows NT 4.0である

❒ TCP/IPの場合に必要な条件は次のとおりです。
- イーサネットケーブルで本機とネットワークが接続されている
- TCP/IPプロトコルが設定されている
- 本機とパソコンにIPアドレスが設定されている

おすすめインストール

制限

- ご使用のOSがWindows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の場合、管理者権限が必要です。管理者権限のあるユーザでログオンしてください。

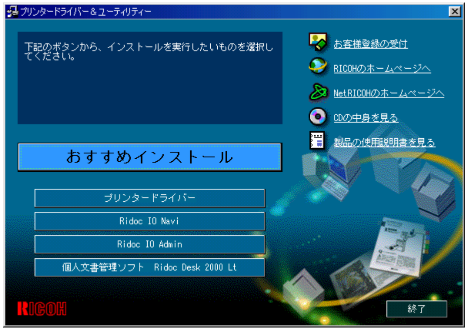
補足

- システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 パソコンのCD-ROMドライブに同梱のCD-ROMを挿入します。

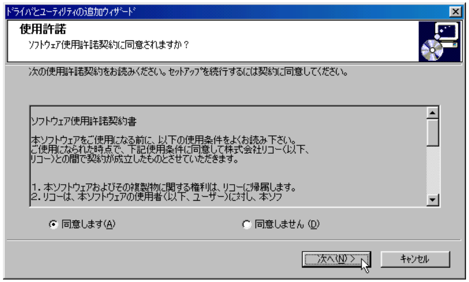
インストーラーが起動し、次の画面が表示されます。



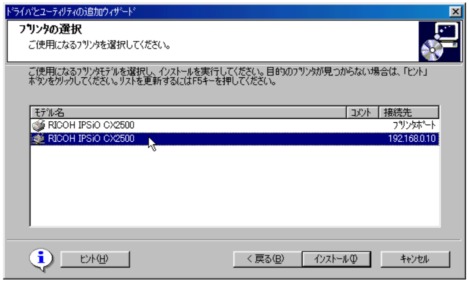
3 ［おすすめインストール］をクリックします。

［使用許諾］ダイアログが表示されます。

4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は［次へ］をクリックします。



5 ［プリンタ名］をクリックし、使用する機種を選択します。

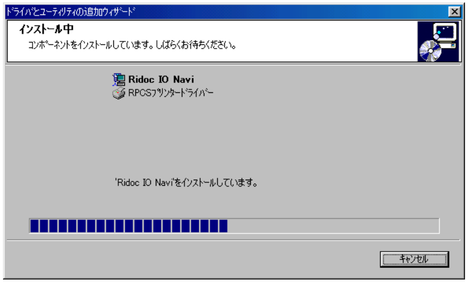


補足

- ❒ TCP/IPの場合、[接続先]にIPアドレスが表示されているプリンターを選択します。
- ❒ パラレル接続の場合、[接続先]にプリンターポートが表示されているプリンターを選択します。

6 [インストール]をクリックします。

次の画面が表示され、プリンタードライバーがインストールされます。

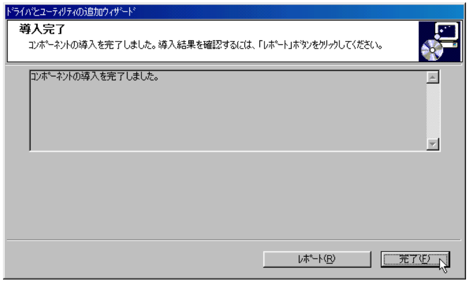


導入完了ダイアログ画面が表示されます。

補足

- ❒ TCP/IP の場合で、接続先に IP アドレスが表示されているプリンターを選択すると、Ridoc IO Naviもインストールされます。
- ❒ Windows 2000の場合、インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい]をクリックしてインストールを続行してください。

7 [完了]をクリックします。



補足

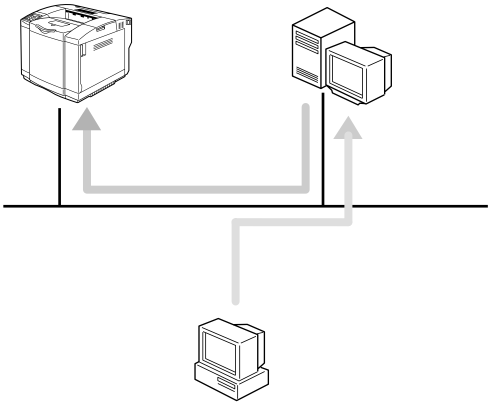
- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示された場合は、Windowsを再起動してください。

8 最初の画面で[終了]をクリックし、CD-ROMを取り出します。

プリントサーバーを使う場合

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 のプリントサーバーを使う

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0をプリントサーバーとして使用する場合のセットアップ方法を説明します。



プリンタードライバーのインストール

操作の前に

プリントサーバーを使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の共有プリンターを選択します。

ここでの説明はクライアント側がWindows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0と正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。設定されていない場合は、クライアント側に必要なソフトウェアを組み込んでからセットアップを行ってください。

制限

- Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているプリントサーバをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。
- Windows XP、Windows Server 2003をプリントサーバとした場合、クライアントに印刷通知が行われない場合があります。

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

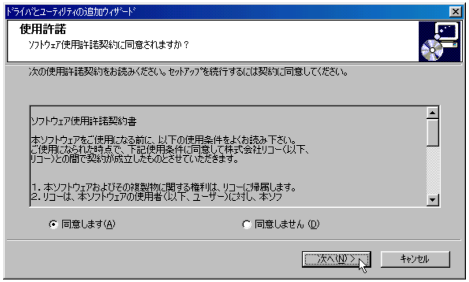
補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

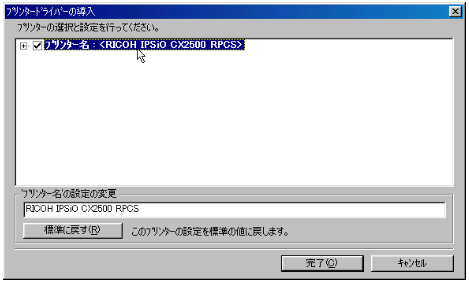
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー]をクリックします。



3 [使用許諾]ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ]をクリックします。



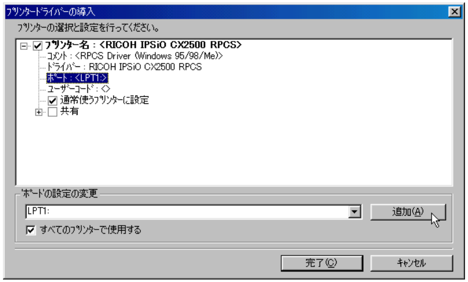
4 [プリンタ名]をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

- ❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：]は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

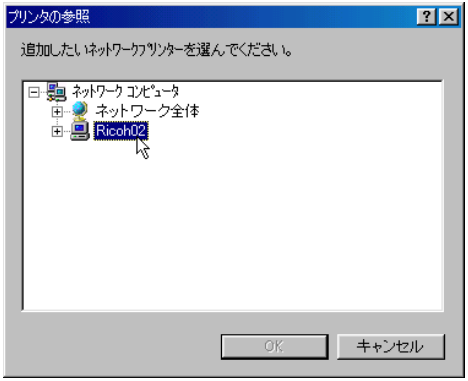
5 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。



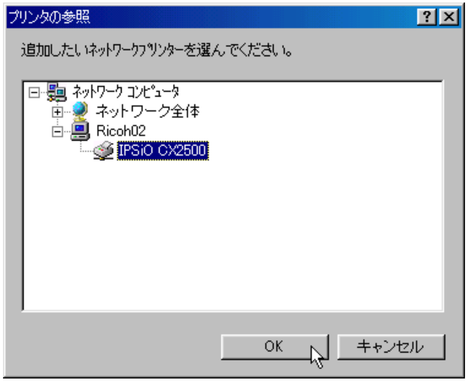
6 [ネットワークプリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。



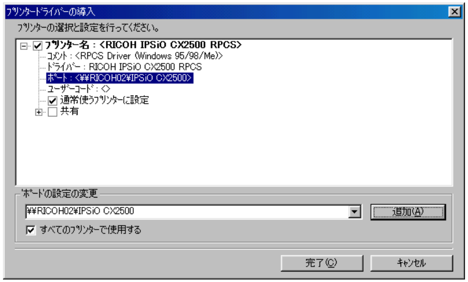
7 ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。



8 印刷するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。



9 ［ポート :］に選択したプリンターのパスが表示されていることを確認します。

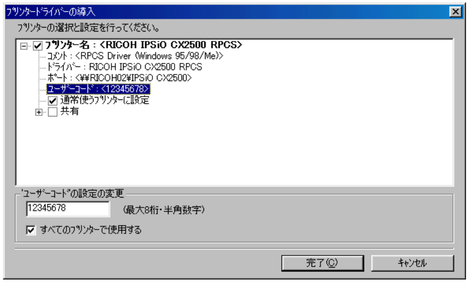


10 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

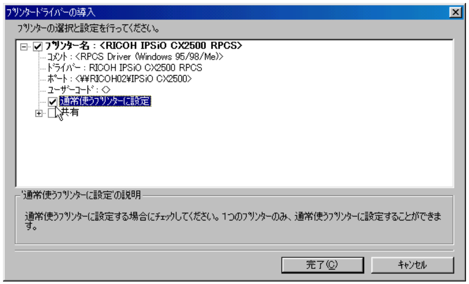
❖ ユーザーコードの設定



補足

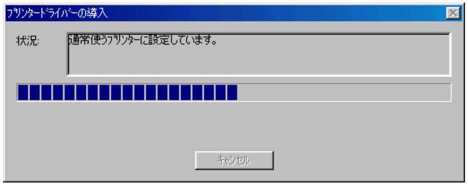
- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



11 ［完了］をクリックします。

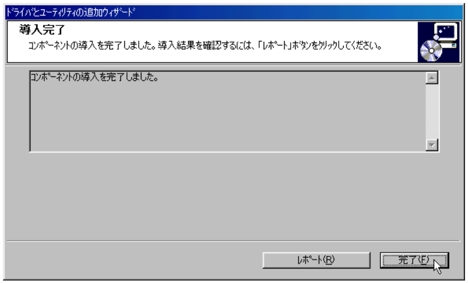
プリンタードライバーがインストールされます。



補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.49「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

12 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。



13 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.50「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.47「オプションを設定する」を参照してください。

プリントサーバーを使わない場合

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IP プロトコルまたは IPP を使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ **プリンターの環境設定**

TCP/IPを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IP プロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法の詳細については、使用説明書<システム設定編>「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、使用説明書<システム設定編>「付録」を参照してください。

補足

❒ IP アドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

① Windows 95/98の場合：
[スタート] - [プログラム] - [MS-DOSプロンプト] をクリックします。

② Windows Meの場合：
[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [MS-DOSプロンプト] をクリックします。

③ 次のように入力して確認します。(IPアドレスが192.168.15.16の場合)

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

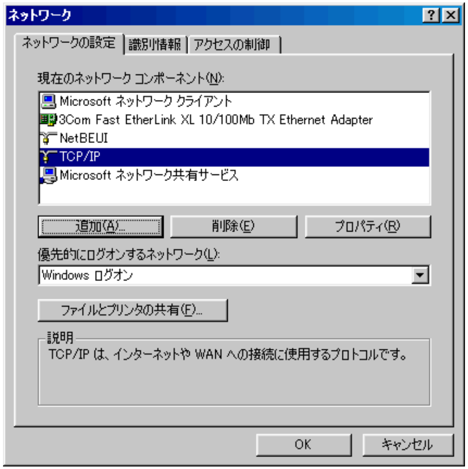
```
Request timed out.
```

❖ **Windowsの環境設定**

Windowsに「TCP/IPプロトコル」を組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

① **[コントロールパネル]の[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。**

[ネットワークの設定]タブの[現在のネットワークコンポーネント]ボックスに「TCP/IP」が組み込まれていることを確認します。



補足

❒ **TCP/IPプロトコルが組み込まれていないときは、[ネットワークの設定]タブの[追加]をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindowsのヘルプを参照してください。**

② **TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。**

設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

NetBEUI印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ **プリンターの環境設定**

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのSMBプロトコルを有効にします(工場出荷時は有効です)。

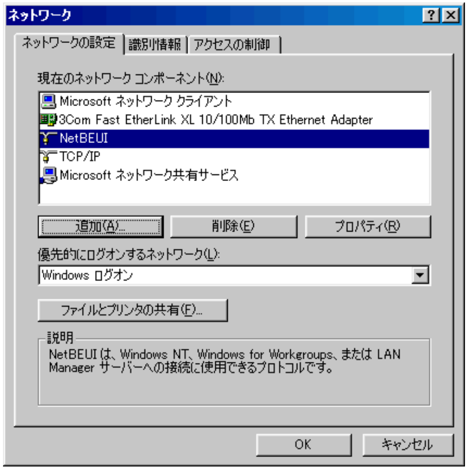
参照

設定方法の詳細については、使用説明書<システム設定編>「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

❖ Windowsの環境設定

Windows に「NetBEUI プロトコル」を組み込み、NetBEUI プロトコルを標準のプロトコルに設定します。

① [コントロールパネル] の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
[ネットワークの設定] タブの [現在のネットワークコンポーネント] ボックスに「NetBEUI」が組み込まれていることを確認します。

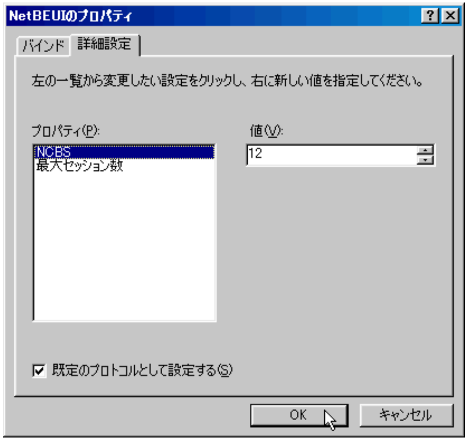


補足

- ❒ NetBEUI プロトコルが組み込まれていないときは、[ネットワークの設定] タブの [追加] をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法については Windowsのヘルプを参照してください。
- ❒ 「ダイヤルアップアダプタ」が組み込まれている場合、設定によっては印刷できないことがあります。このようなときは、ダイヤルアップアダプタのプロパティを開き、[バインド] タブの「NetBEUI→ダイヤルアップアダプタ」の✓印を外してください。

② NetBEUI プロトコルを標準のプロトコルに設定します。[ネットワークの設定] タブをクリックします。
[現在のネットワーク構成] ボックスの「NetBEUI」をクリックして反転表示させ、[プロパティ] をクリックします。

③ ［詳細設定］タブをクリックし、［既定のプロトコルとして設定する］をクリックして✓印を付け、［OK］をクリックします。



④ ［OK］をクリックし、［ネットワーク］ダイアログを閉じます。

⑤ 再起動するかどうか確認するメッセージが表示されるので、［はい］をクリックします。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

プリントサーバーを使わない場合は、Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

TCP/IP、NetBEUI、IPPを使ってPeer-to-Peerネットワークで印刷します。

Ridoc IO Navi のインストール

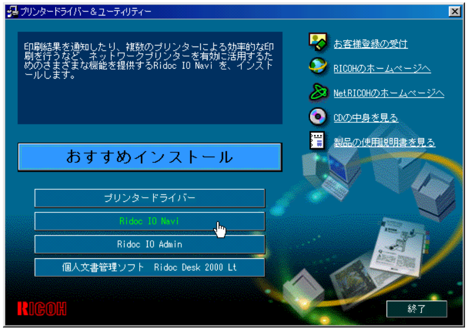
1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 **セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Navi]をクリックします。**

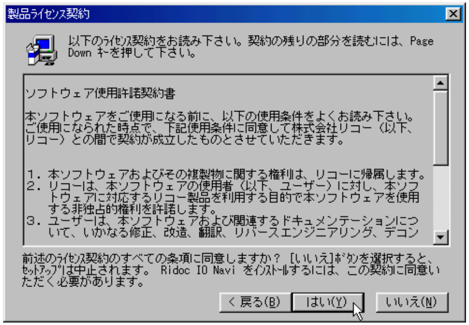


Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 **[ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。**



4 **[製品ライセンス契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。**



5 **表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。**

インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。



6 **[OK] をクリックします。**

補足

- ❒ 「Windowsの再起動」ダイアログが表示される場合は、Windowsを再起動してください。

プリンタードライバーのインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

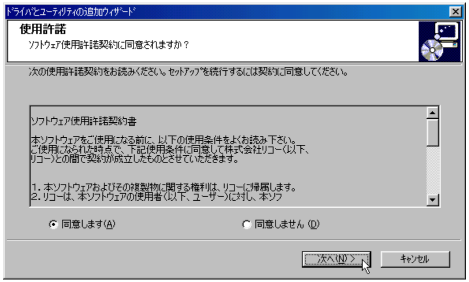
補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

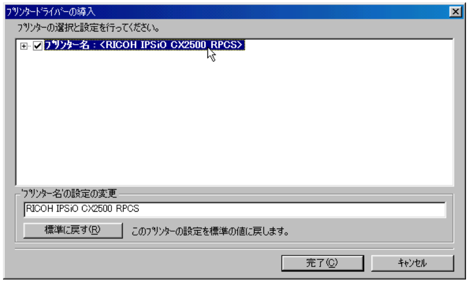
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー］をクリックします。



3 ［使用許諾］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［次へ］をクリックします。



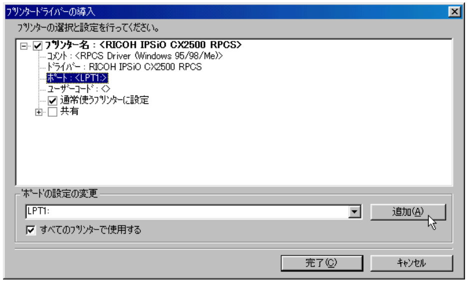
4 ［プリンタ名］をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

- ❒ ［コメント：]、［ドライバ：]、［ポート：］は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

5 ［ポート:］を選択し、［追加］をクリックします。



6 「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。

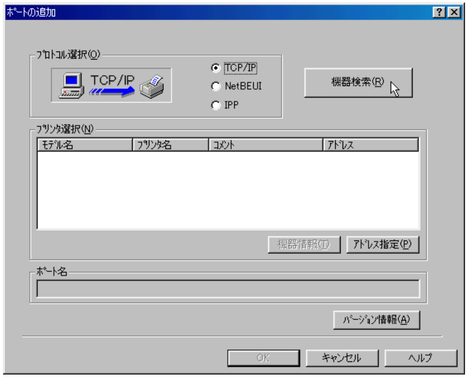


7 プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

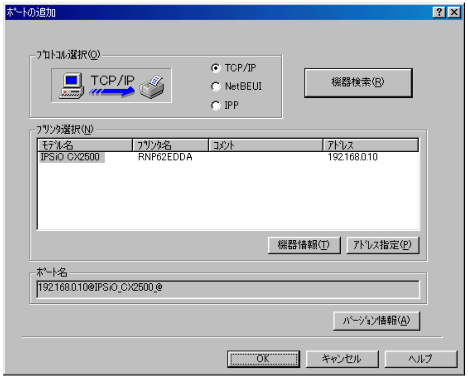
❖ TCP/IP

① ［TCP/IP］をクリックします。

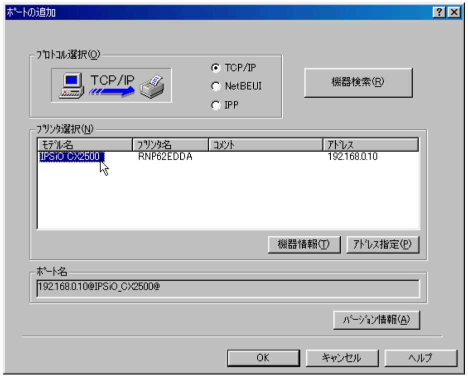
② ［機器検索］をクリックします。



TCP/IPプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

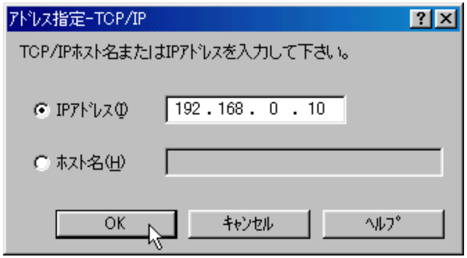


③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

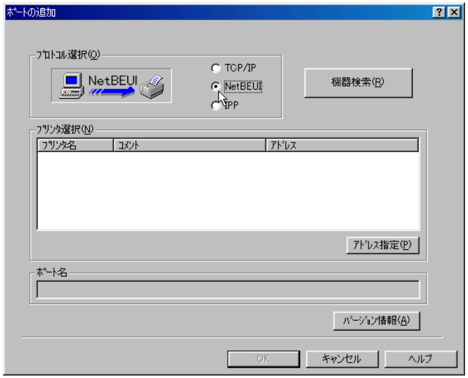
❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。



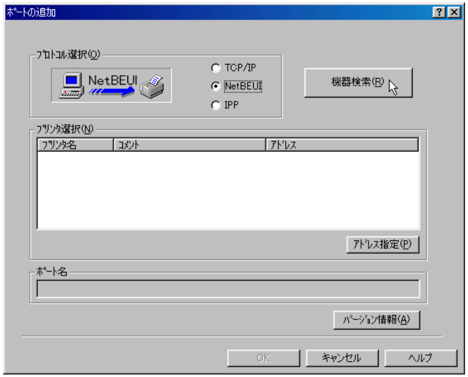
④ ［OK］をクリックします。

❖ NetBEUI

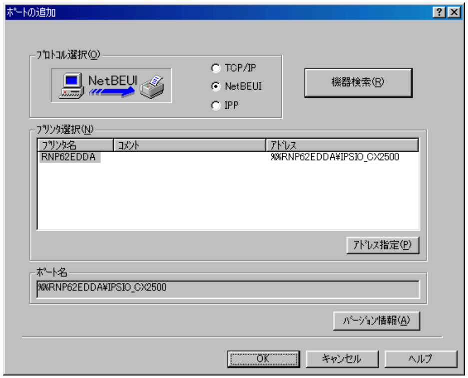
① ［NetBEUI］をクリックします。



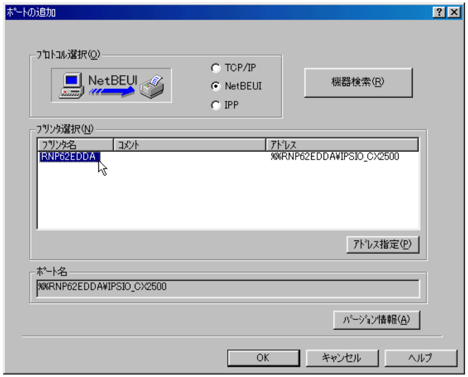
② ［機器検索］をクリックします。



NetBEUI プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

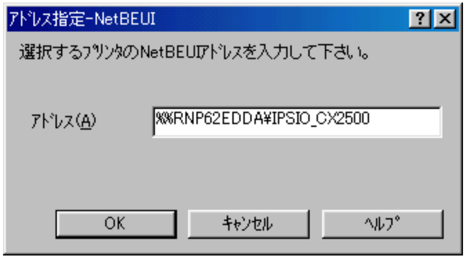


③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

- ❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定]をクリックし、NetBEUIアドレスを直接入力してください。NetBEUIアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。システム設定リストではNetBEUI アドレスが「¥¥RNPxxxx¥xxx」と表示されています。先頭の「¥¥」を「%%」に変更して入力してください。

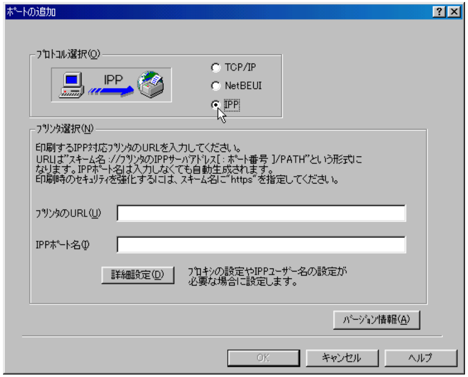


- ❒ ルーターを越えたプリンターには印刷できません。

④ [OK] をクリックします。

❖ IPP

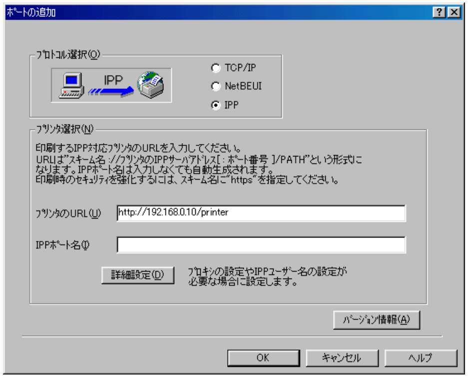
① [IPP] をクリックします。
[IPPの設定] ダイアログが表示されます。



② [プリンタのURL] に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。

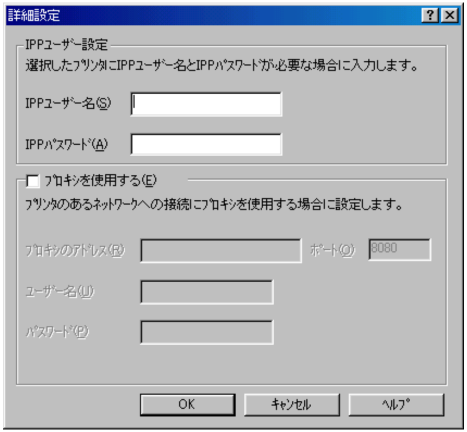
補足

❒ 本機にオプションの暗号化カードを装着し、サーバー証明を発行している場合は、「https://（プリンターのIPアドレス/printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンにInternet Explorer 5.01以降がインストールされている必要があります。



③ 必要に応じて [IPPポート名] にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他の IPP ポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、[プリンタのURL] に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

④ プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックし、必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。



補足

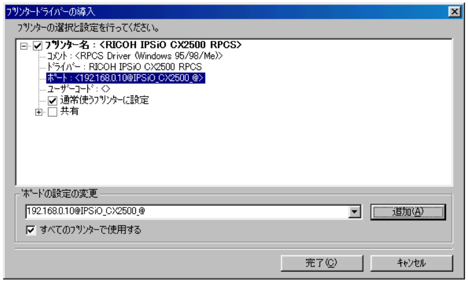
❒ 設定項目の詳細については、CD-ROM収録のヘルプを参照してください。

⑤ [OK] をクリックします。
ポートの追加ダイアログが閉じます。

8 [OK] をクリックします。

ポートが追加されます。

9 ［ポート :］に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

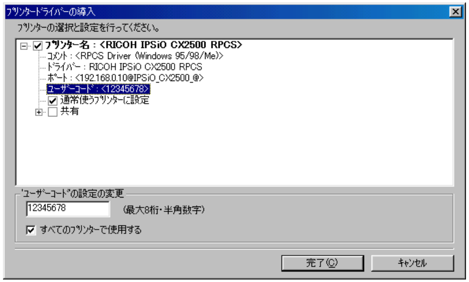


10 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

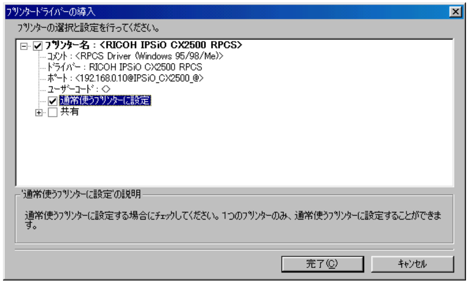
❖ ユーザーコードの設定



補足

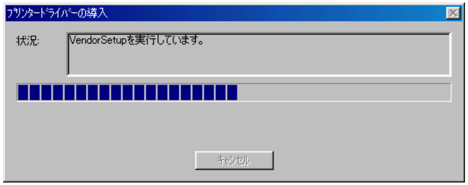
- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



11 [完了] をクリックします。

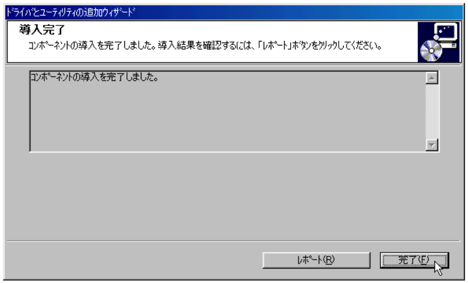
プリンタードライバーがインストールされます。



補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.49「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

12 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。



13 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.50「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.47「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

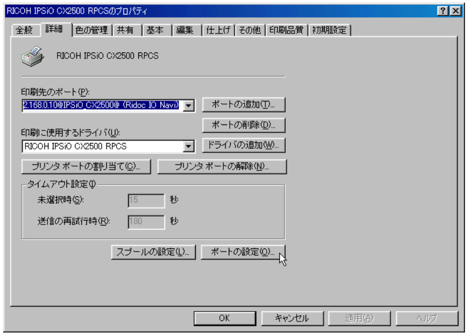
IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

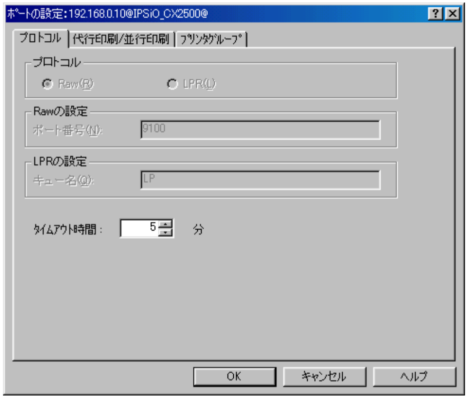
1 [プリンタ] ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

2 [詳細] タブをクリックし、[ポートの設定] をクリックします。



ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IPプロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンタグループの設定ができます。



補足

❒ [代行印刷/並行印刷] タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。

① [キャンセル] をクリックして、[ポートの設定] ダイアログを閉じます。

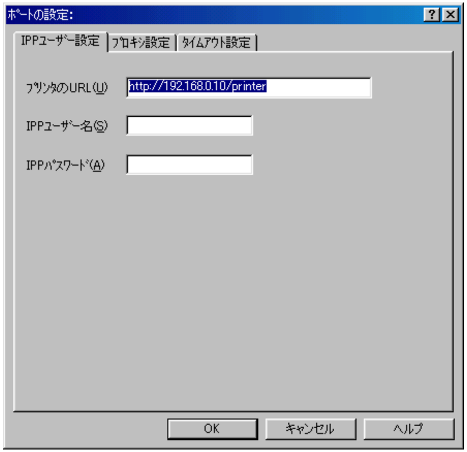
② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。

③ [拡張機能設定] をクリックし、[代行/並行印刷をポート毎に設定する] にチェックをつけます。

④ [OK] をクリックし、[拡張機能設定] ダイアログを閉じます。

❒ 各設定項目の詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

- IPP の場合、IPP ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。



詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

パラレルインターフェースを使う

操作の前に

プリンターをパラレル接続して使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ローカルポート」を指定してインストールします。

プリンタードライバー（パラレル接続）のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

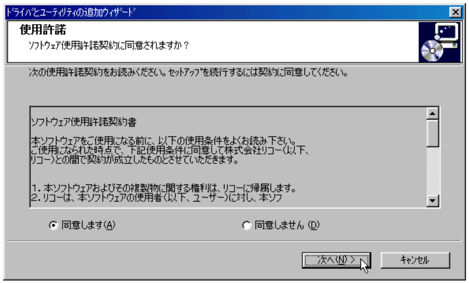
補足

- システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

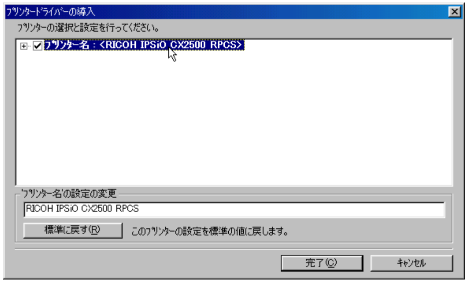
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー］をクリックします。



3 [使用許諾]ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ］をクリックします。



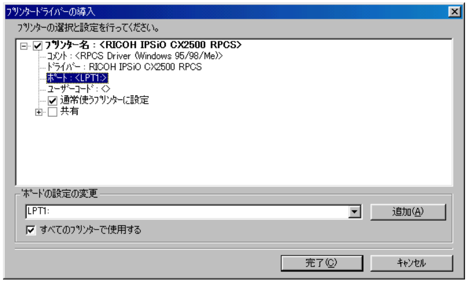
4 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

- ❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

5 [ポート:] にプリンターを接続したポート（通常は、LPT1:）が設定されていることを確認します。

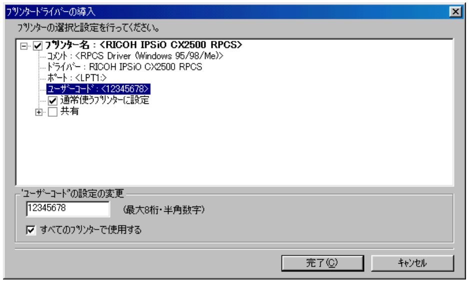


6 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

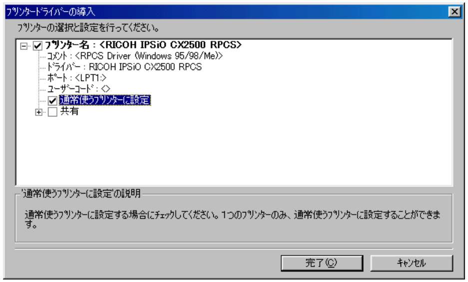
❖ ユーザーコードの設定



補足

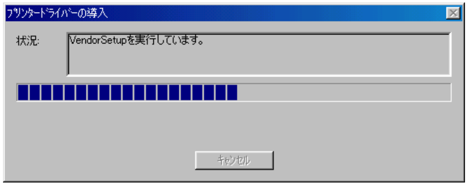
- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



7 ［完了］をクリックします。

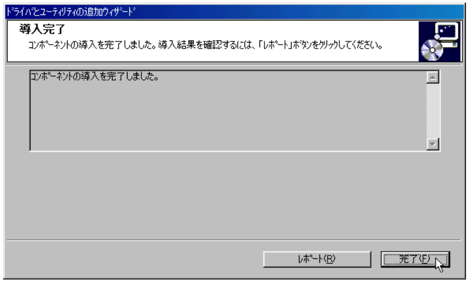
プリンタードライバーがインストールされます。



補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.49「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

8 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。



9 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.50「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.47「オプションを設定する」を参照してください。

USB インターフェースを使う

ここでは、パソコンとプリンターをUSBケーブルで接続し、必要なドライバーをインストールする方法を説明します。

操作の前に

Windows 95/98は対応していません。Windows 98 SE/Meでご利用いただけます。

セットアップを始める前にUSBケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

ここではWindows 98 SEの画面例で説明します。Windows Meの場合、表示される画面などが一部異なる場合があります。

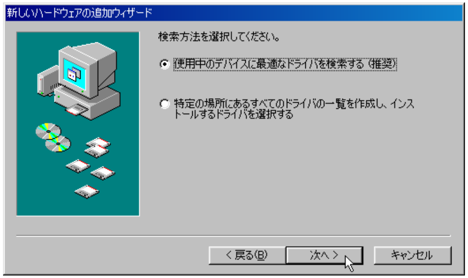
USB Printing Support のインストール

USBケーブルを初めて使用する場合、プラグアンドプレイが働き、[新しいハードウェアの追加ウィザード] が表示されます。

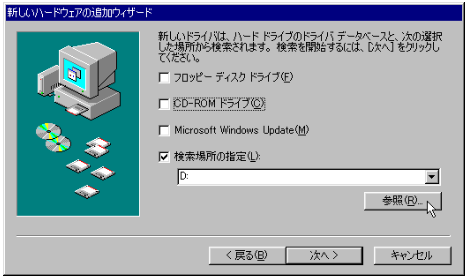
1 [次へ] をクリックします。



2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックします。



3 [検索場所の指定] にチェックを付け、[参照] をクリックします。



[フォルダの参照] ダイアログが表示されます。

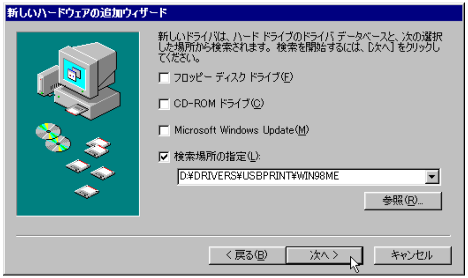
4 パソコンのCD-ROMドライブに同梱のCD-ROMを挿入します

オートランでインストーラーが起動しますので、[終了] をクリックしてください。

補足

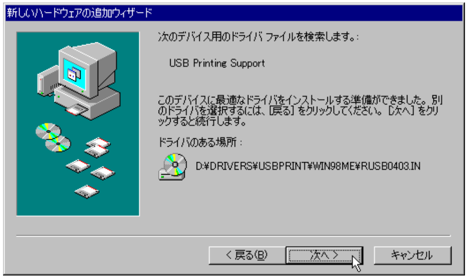
- ❒ この手順ではオートランを使用しません。
- ❒ オートランを無効にするときは、左側のShiftキーを押しながらCD-ROMを挿入し、パソコンがCD-ROMをアクセスし終わるまで左側のShiftキーを押したままにします。

5 USB Printing Supportの場所を選択し、[次へ] をクリックします。



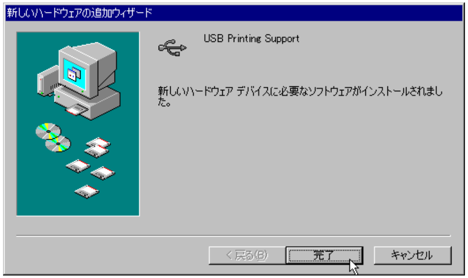
USB Printing Supportの収録フォルダは、「D:¥DRIVERS¥USBPRINT¥WIN98ME」(CD-ROMドライブがD:¥の場合)です。

6 表示されている [ドライバのある場所] を確認し、[次へ] をクリックします。



USB Printing Supportがインストールされ、メッセージが表示されます。

7 ［完了］をクリックします。



ご使用の機器のプリンタードライバーがすでにインストールされている場合、プラグアンドプレイが働き、「USB001」を［印刷先のポート先］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。

補足

- ❒「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- ❒ USB Printing Supportをインストール後に別のプリンターを USB インターフェースで接続する場合、あらためてUSB Printing Supportをインストールする必要はありません。

プリンタードライバー（USB 接続）のインストール

プリンタードライバーをインストールしていない場合は、USB Printing Supportのインストールに続き、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、プリンタードライバーをインストールします。

プリンタードライバーは本機に同梱の CD-ROM からインストールします。

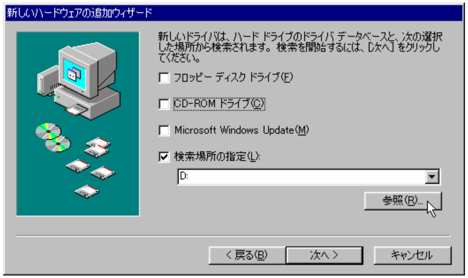
1 ［次へ］をクリックします。



2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックします。



3 [検索場所の指定] にチェックを付け、[参照] をクリックします。



[フォルダの参照] ダイアログが表示されます。

4 パソコンのCD-ROMドライブに同梱のCD-ROMを挿入します

オートランでインストーラーが起動しますので、[終了] をクリックしてください。

補足

- ❒ この手順ではオートランを使用しません。
- ❒ オートランを無効にするときは、左側のShiftキーを押しながらCD-ROMを挿入し、パソコンがCD-ROMをアクセスし終わるまで左側のShiftキーを押したままにします。

5 プリンタードライバーの場所を選択し、[次へ] をクリックします。

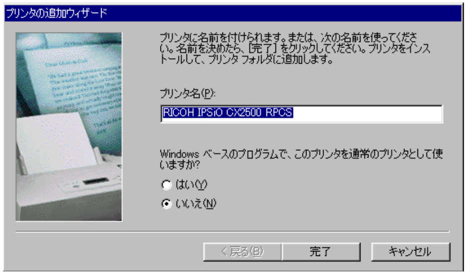


プリンタードライバーの収録フォルダは、「D:¥DRIVERS¥RPCS¥WIN9X_ME」（CD-ROMドライブがD:¥の場合）です。

6 **表示されている［ドライバのある場所］を確認し、［次へ］をクリックします。**



プリンタの追加ウィザードが表示されます。



7 **［完了］をクリックします。**

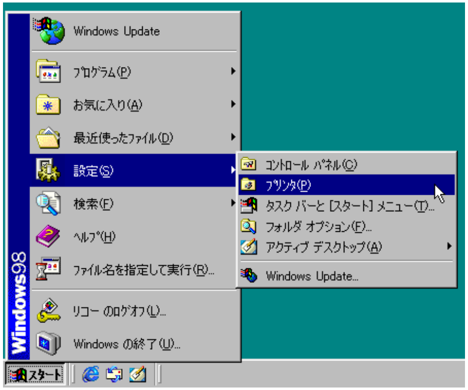
プリンタードライバーがインストールされます。インストールが正常に終了すると、「USB001」を［印刷先のポート先］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。

補足

- ❒ **「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。**

オプションを設定する

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



次の画面が表示されます。



補足

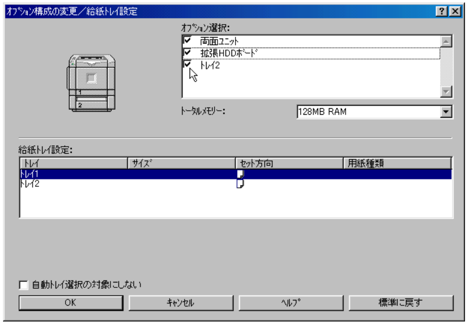
- ❒ この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、プロパティ画面が表示されます。この場合は、［初期設定］タブをクリックし、［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］をクリックします。手順4に進んでください。

3 ［OK］をクリックします。

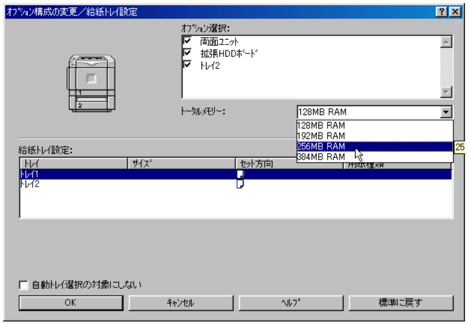
［オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定］ダイアログが表示されます。



4 ［オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。



5 オプションの SDRAM モジュールを増設した場合は、［トータルメモリー：］で増設後の合計メモリー容量を選択します。



6 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類] を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は [自動トレイ選択の対象にしない] に✓印を付けます。

7 [OK] をクリックし、[オプション構成の変更/給紙トレイ設定] ダイアログを閉じます。

8 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

❒ [初期設定] タブをクリックして [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] をクリックすると、手順4の画面が表示されます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき



上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、[プリンタの追加] でインストールし直してください。

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

③ 「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN9X_ME¥DISK1 になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0で働く機能です。
- 双方向通信機能が働いていると、[初期設定]ダイアログで[オプション構成の変更 / トレイ用紙設定]ボタンをクリックして表示される[オプション構成の変更/給紙トレイ設定]ダイアログで、使用できない機能がグレー表示されます。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- プリンターのUSBインターフェースコネクターとパソコンのUSBコネクターが、USBケーブルで接続されている（Windows 98 SE/Me/2000/XP、Windows Server 2003の場合）

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準 TCP/IP ポートのポート名を変更しないで使っている（Windows 2000/XP、Windows Server 2003の場合）
- Microsoft TCP/IP印刷 IP アドレスを指定して使っている（Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

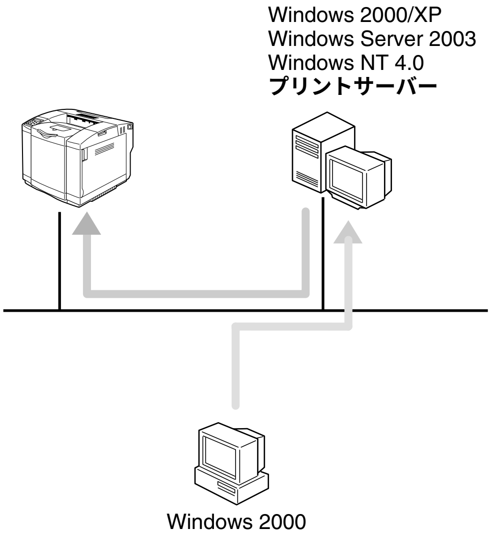
補足

❒ Ridoc IO Naviはプリンターに同梱のCD-ROMからインストールしてください。

プリントサーバーを使う場合

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 のプリントサーバーを使う

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0をプリントサーバーとして使用する場合のセットアップ方法を説明します。



プリンタードライバーのインストール

操作の前に

プリントサーバーを使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の共有プリンターを選択します。

ここでの説明はクライアント側がWindows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0と正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。設定されていない場合は、クライアント側に必要なソフトウェアを組み込んでからセットアップを行ってください。

制限

- ❒ Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているプリントサーバをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。
- ❒ Windows XP、Windows Server 2003をプリントサーバとした場合、クライアントに印刷通知が行われない場合があります。

補足

- ❒ プリントサーバがWindows NT 4.0の場合は、プリントサーバに接続する前にプリンタードライバーをインストールしておいてください。

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

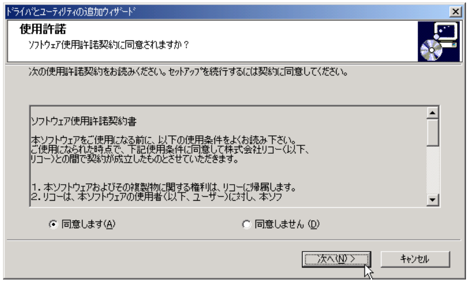
補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

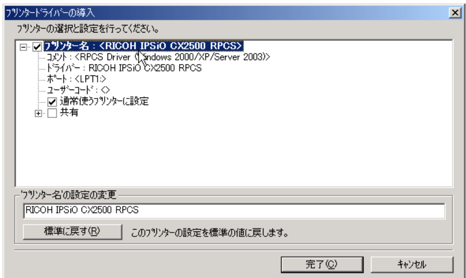
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。



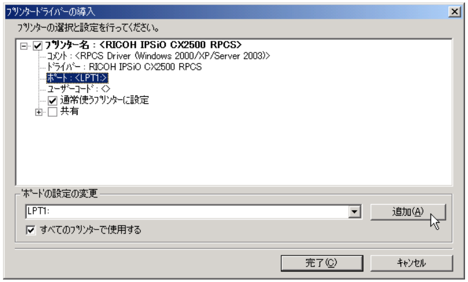
4 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



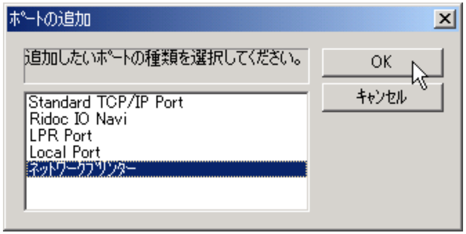
補足

- ❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

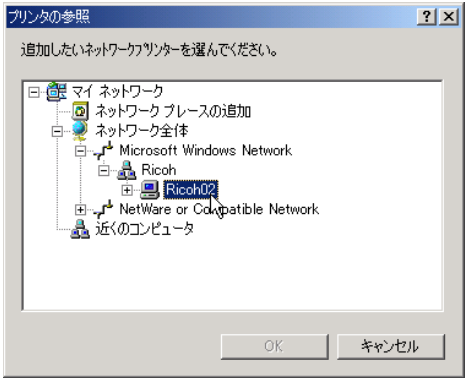
5 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。



6 [ネットワークプリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。



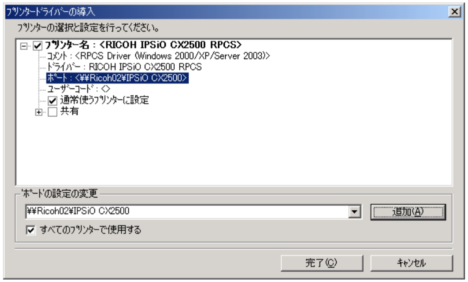
7 ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。



8 印刷するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。



9 ［ポート :］に選択したプリンターのパスが表示されていることを確認します。

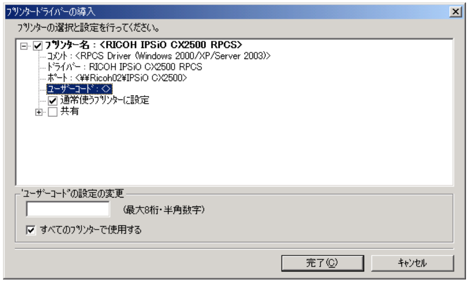


10 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

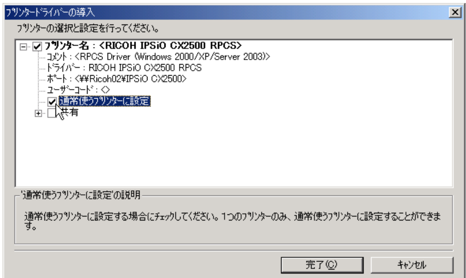
❖ ユーザーコードの設定



補足

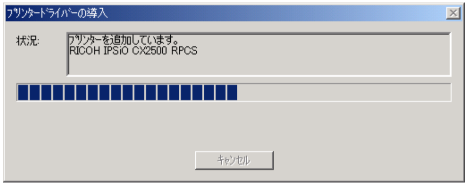
- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



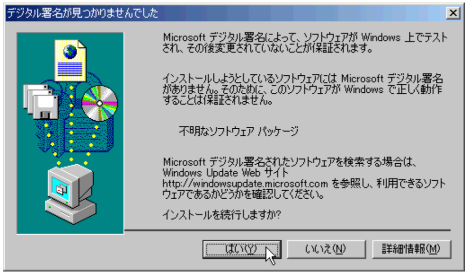
11 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。



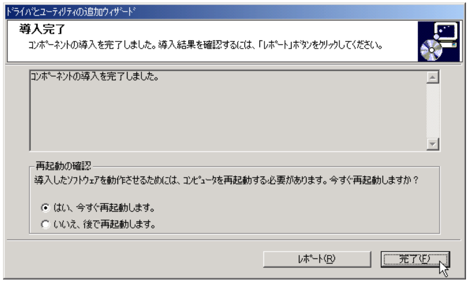
補足

- ❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。



- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.81「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

12 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。



補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

13 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.82「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.79「オプションを設定する」を参照してください。

プリントサーバーを使わない場合

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IP プロトコルまたは IPP を使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ **プリンターの環境設定**

TCP/IPを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IP プロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法の詳細については、使用説明書<システム設定編>「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、使用説明書<システム設定編>「付録」を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

① [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム] － [アクセサリ] をポイントし、[コマンドプロンプト] をクリックします。

② 次のように入力して確認します。(IPアドレスが192.168.15.16の場合)

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms
TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

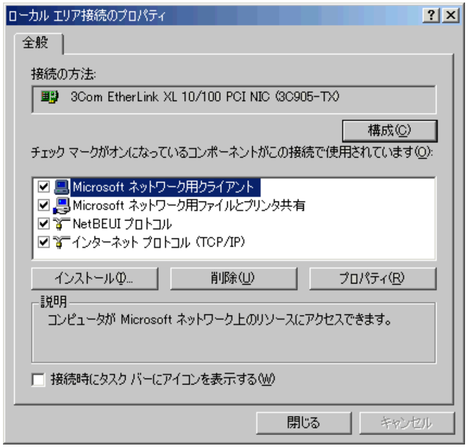
❖ Windows 2000の環境設定

Windows 2000に「TCP/IPプロトコル」を組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

① ［コントロールパネル］の［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。

② ［ローカルエリア接続］を選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

③ チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています。ボックスに「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が組み込まれていることを確認します。



補足

❒ TCP/IP プロトコルが組み込まれていないときは、［ローカルエリア接続のプロパティ］の［インストール］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

④ TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。
設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

⑤ LPR を使って印刷する場合は、「UNIX 用印刷サービス」が組み込まれている必要があります。「UNIX用印刷サービス」が組み込まれていないときは、［ネットワークとダイヤルアップ接続］の［詳細設定］メニューの［オプションネットワークコンポーネント］から組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

NetBEUI 印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ プリンターの環境設定

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのSMBプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

設定方法の詳細については、使用説明書＜システム設定編＞「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

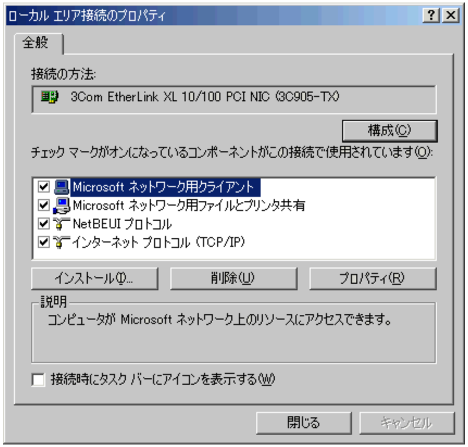
❖ Windows 2000の環境設定

Windows 2000に「NetBEUIプロトコル」を組み込みます。

① ［コントロールパネル］の［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。

② ［ローカルエリア接続］を選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

③ チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています。ボックスに「NetBEUI」が組み込まれていることを確認します。



補足

❒ NetBEUI プロトコルが組み込まれていないときは、［ローカルエリア接続のプロパティ］の［インストール］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

Ridoc IO Navi のインストール

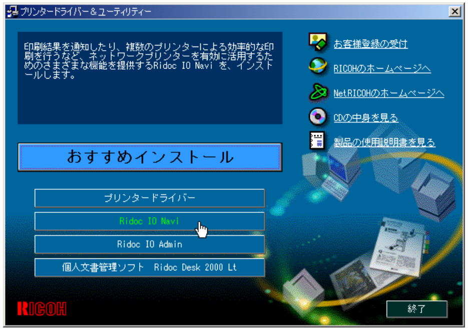
1 **本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

インストーラーが起動します。

補足

- システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 **セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Navi] をクリックします。**

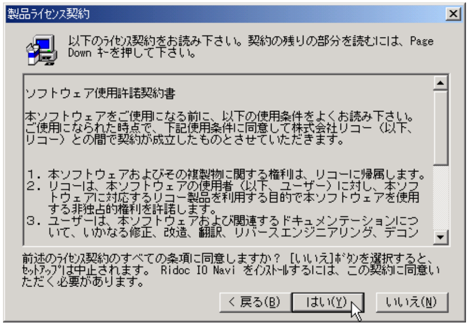


Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 **[ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。**



4 [製品ライセンス契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。



5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。

インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。



6 [OK] をクリックします。

補足

- ❒「Windowsの再起動」ダイアログが表示される場合は、Windowsを再起動してください。

プリンタードライバーのインストール

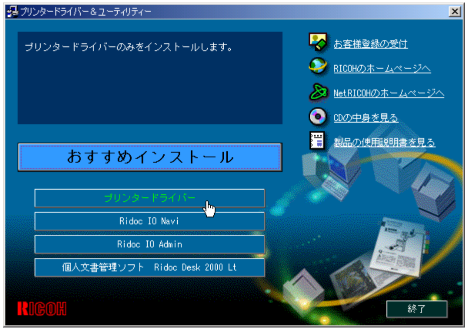
1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

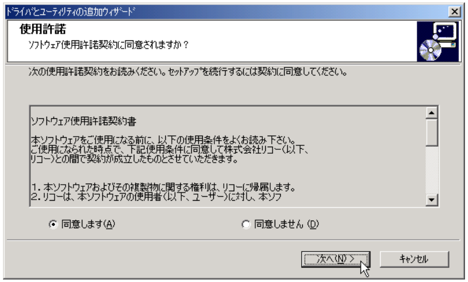
補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

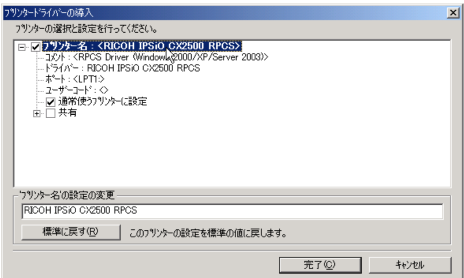
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。



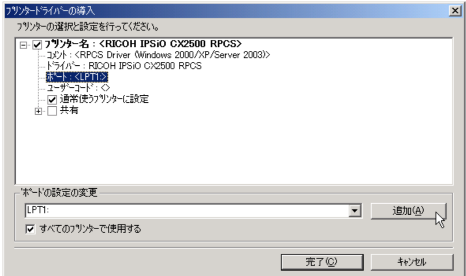
4 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

5 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

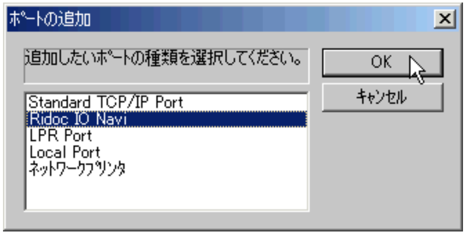


以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。

- Ridoc IO Navi
- Standard TCP/IP Port
- LPR Port

Ridoc IO Navi

❶「Ridoc IO Navi」を選択し、[OK] をクリックします。

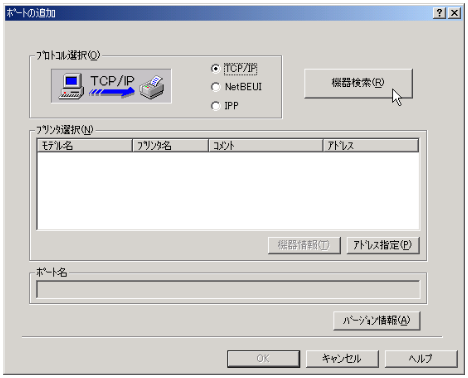


❷ プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

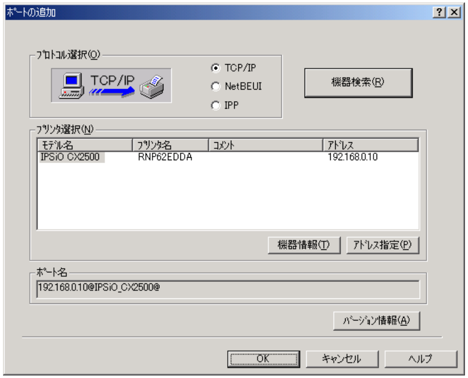
❖ TCP/IP

① [TCP/IP] をクリックします。

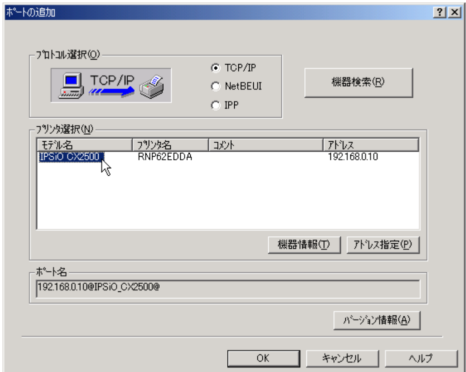
② [機器検索] をクリックします。



TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

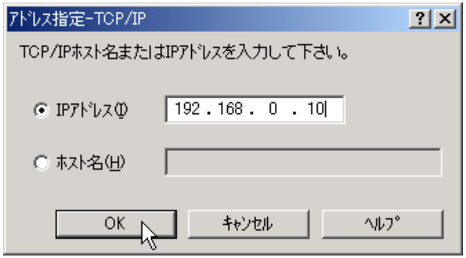


③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

- ❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。

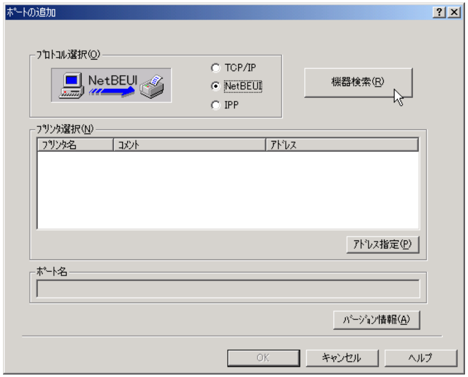


④ ［OK］をクリックします。

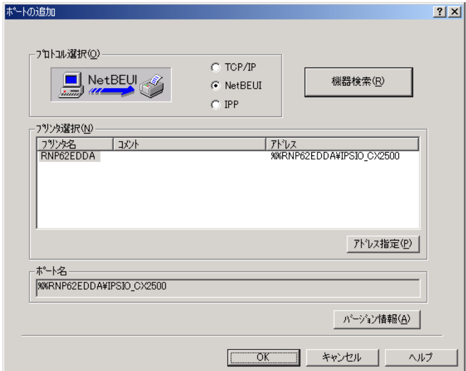
❖ NetBEUI

① ［NetBEUI］をクリックします。

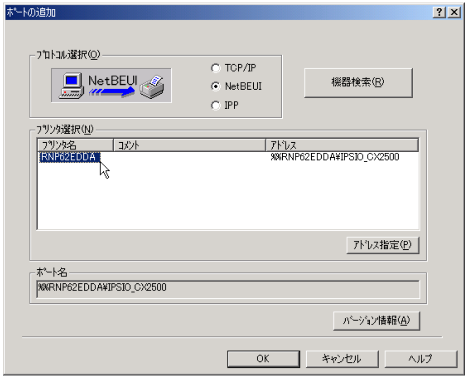
② ［機器検索］をクリックします。



NetBEUI プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。



③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

- ❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、NetBEUI アドレスを直接入力してください。NetBEUIアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。システム設定リストではNetBEUI アドレスが「¥¥RNPxxxx¥xxx」と表示されています。先頭の「¥¥」を「%%」に変更して入力してください。

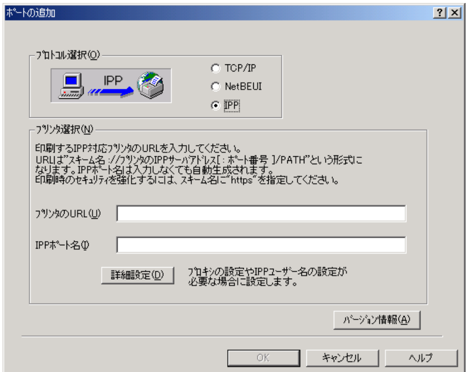


- ❒ ルーターを越えたプリンターには印刷できません。

④ ［OK］をクリックします。

❖ IPP

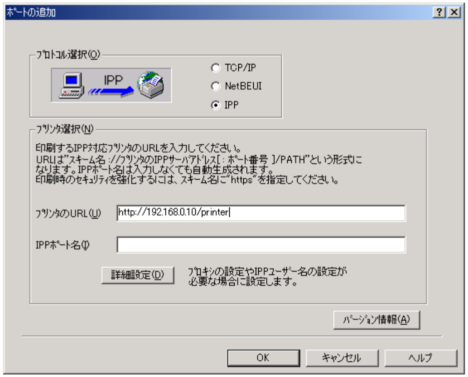
① ［IPP］をクリックします。
［IPP の設定］ダイアログが表示されます。



② [プリンタのURL]に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。

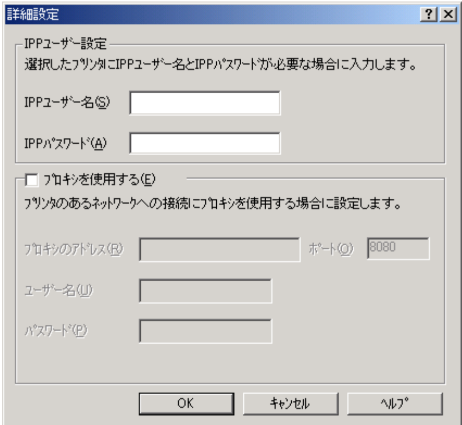
補足

- ❒ 本機にオプションの暗号化カードを装着し、サーバー証明を発行している場合は、「https://（プリンターのIPアドレス/printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンにInternet Explorer 5.01以降がインストールされている必要があります。



③ 必要に応じて［IPPポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、［プリンタの URL］に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

④ プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし、必要な項目を設定し、[OK]をクリックします。



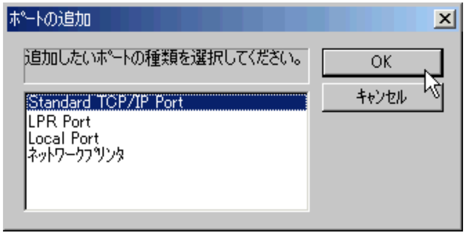
補足

- ❒ 設定項目の詳細については、CD-ROM 収録のヘルプを参照してください。

⑤ ［OK］をクリックします。
ポートの追加ダイアログが閉じます。

Standard TCP/IP Port

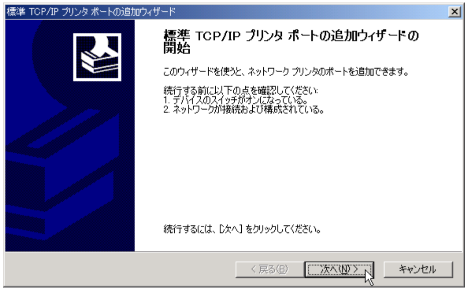
❶ 「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK] をクリックします。



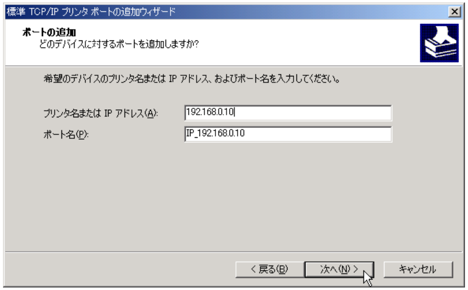
補足

- ❒ 「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows 2000のヘルプを参照してStandard TCP/IPの設定をしてください。

❷ 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、[次へ] をクリックします。



❸ [プリンタ名またはIPアドレス] ボックスにプリンター名またはプリンターの IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。



補足

- ❒ [ポート名] ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

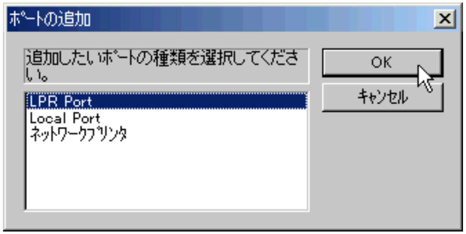
❹ 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、[完了] をクリックします。



プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

LPR Port

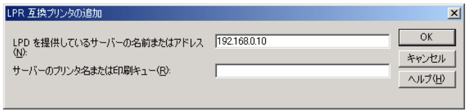
❶ 「LPR Port」を選択し、［OK］をクリックします。



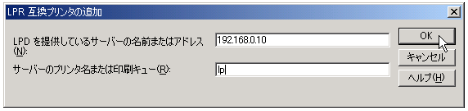
補足

- 「LPR Port」が表示されない場合は、「UNIX 印刷サービス」が正しく組み込まれていません。［サービス］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

❷ ［lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。

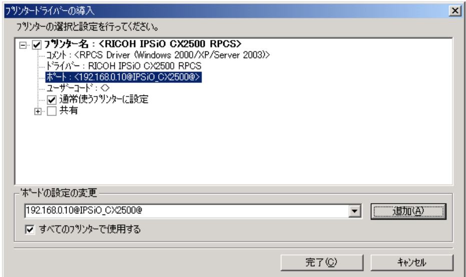


❸ ［サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名］ボックスに「lp」と入力し、［OK］をクリックします。



ポートが追加されます。

6 ［ポート :］に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

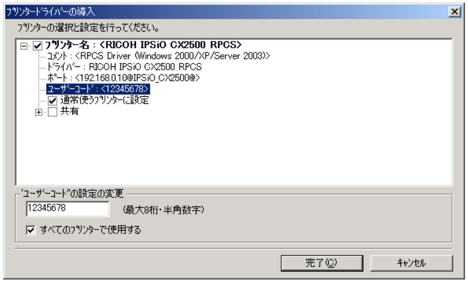


7 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

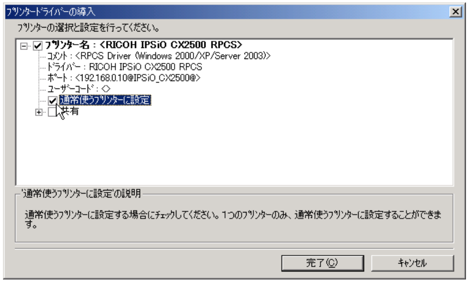
❖ ユーザーコードの設定



補足

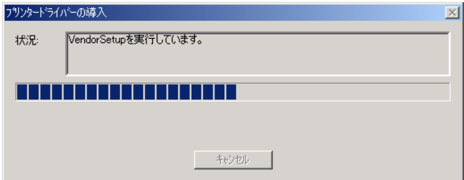
- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



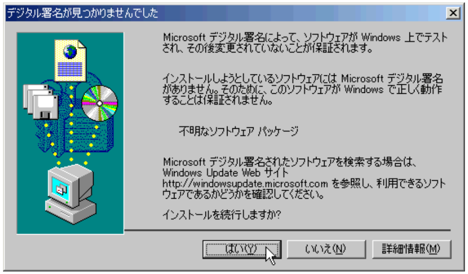
8 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。



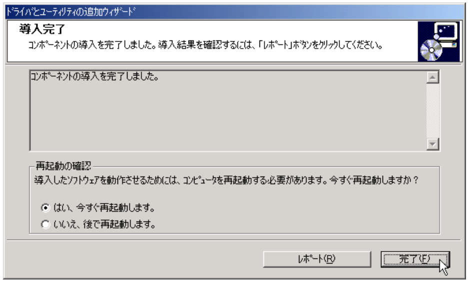
補足

- ❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。



- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.81「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

9 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。



補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

10 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.82「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.79「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

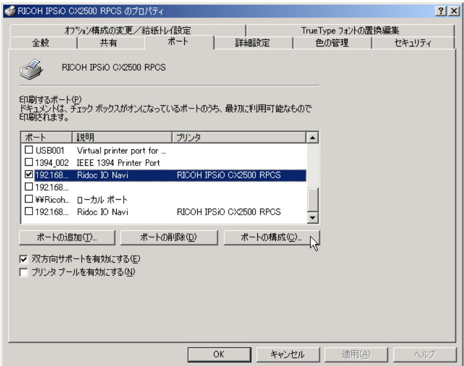
IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

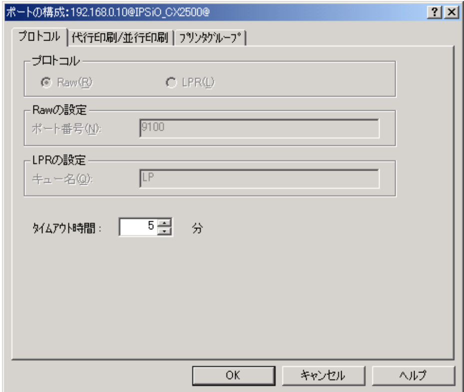
1 [プリンタ] ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

2 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。



ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IP プロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。



補足

❒ [代行印刷/並行印刷] タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。

① [キャンセル] をクリックして、[ポートの設定] ダイアログを閉じます。

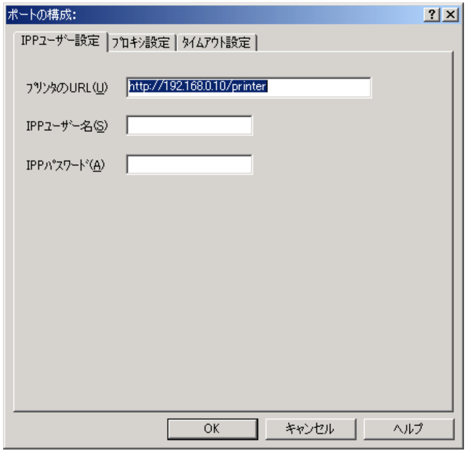
② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。

③ [拡張機能設定] をクリックし、[代行/並行印刷をポート毎に設定する] にチェックをつけます。

④ [OK] をクリックし、[拡張機能設定] ダイアログを閉じます。

- ❒ **各設定項目の詳細は、**Ridoc IO Navi**のヘルプを参照してください。**

- IPP **の場合、**IPP **ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。**



補足

- ❒ **詳細は、**Ridoc IO Navi**のヘルプを参照してください。**

パラレルインターフェースを使う

操作の前に

プリンターをパラレル接続して使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ローカルポート」を指定してインストールします。

プリンタードライバー（パラレル接続）のインストール

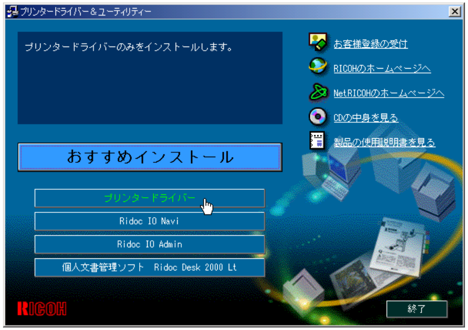
1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

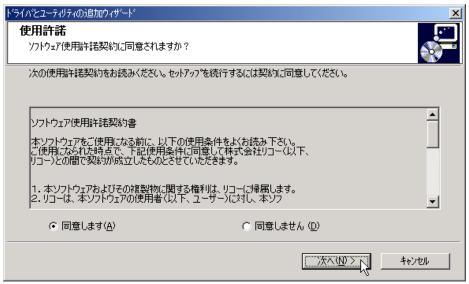
補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

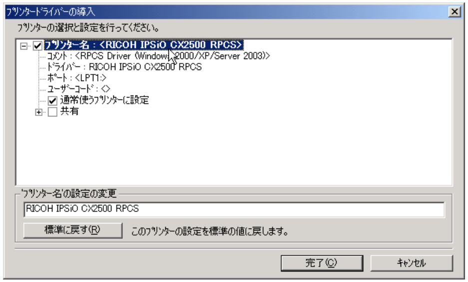
2 セットアップ画面が表示されたら、［プリンタードライバー］をクリックします。



3 ［使用許諾］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［次へ］をクリックします。



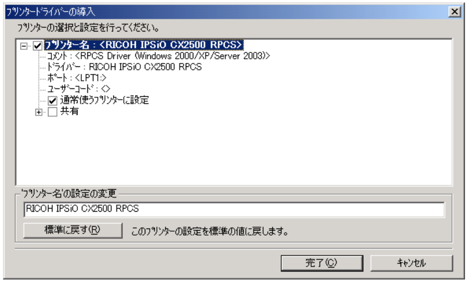
4 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

- ❒ [コメント:]、[ドライバ:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

5 [ポート:] にプリンターを接続したポート(通常は、LPT1:)が設定されていることを確認します。

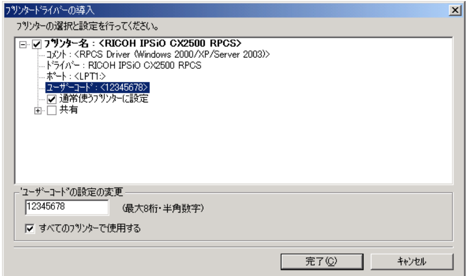


6 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

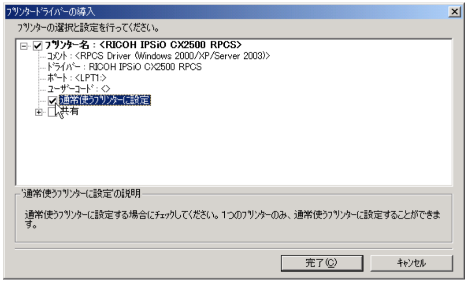
❖ ユーザーコードの設定



補足

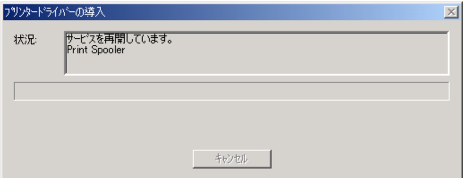
- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



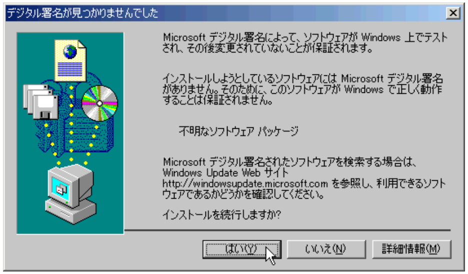
7 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。



補足

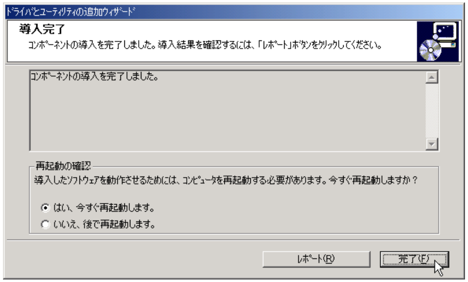
❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。



❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.81「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

8 **[導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。**



補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

9 **プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。**

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.82「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.79「オプションを設定する」を参照してください。

USB インターフェースを使う

ここでは、パソコンとプリンターをUSBケーブルで接続し、必要なドライバーをインストールする方法を説明します。

操作の前に

セットアップを始める前にUSBケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

制限

❒ Administrator グループのメンバーとしてログインしてください。

補足

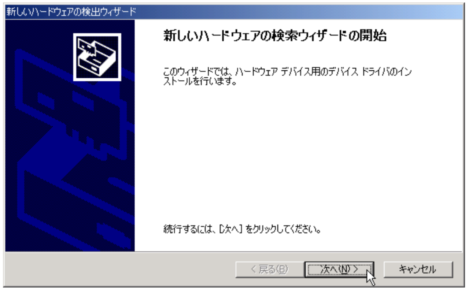
❒ USBケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、Windows 2000 の「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

❒ ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ] フォルダにUSBケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

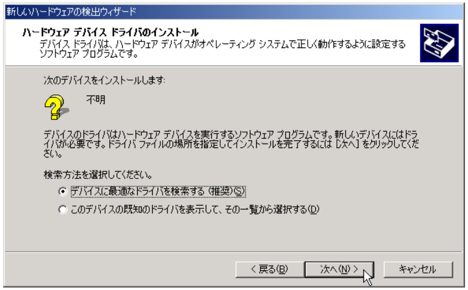
プリンタードライバー（USB 接続）のインストール

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、本機に同梱のCD-ROMからプリンタードライバーをインストールします。

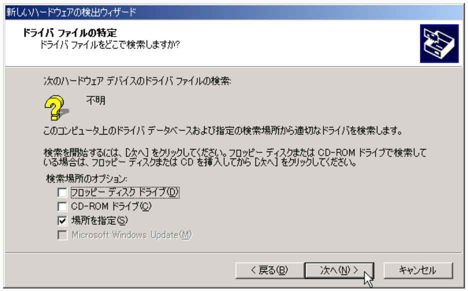
1 [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で、[次へ] をクリックします。



2 **[デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）]をチェックし、[次へ] をクリックします。**



3 **[場所を指定] をチェックし、[次へ] をクリックします。**

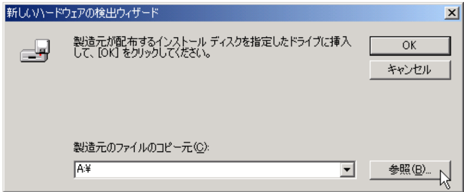


4 **キーボードの左側の【Shift】キーを押しながら、本機の同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

パソコンがCD-ROMを完全に認識するまで左側の【Shift】キーを押し続けます。

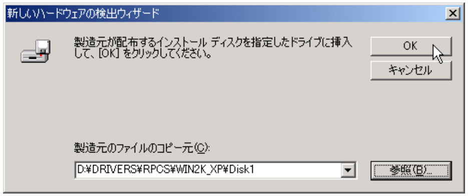
CD-ROMのオートランが起動した場合は、[キャンセル] をクリックします。

5 **[参照] をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。**

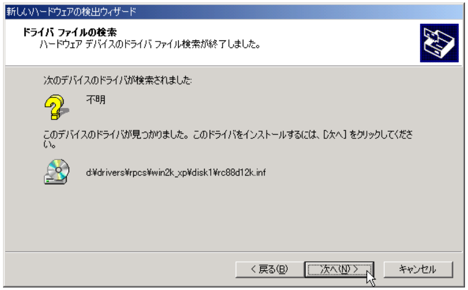


インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、「D:¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1」（CD-ROMドライブがD:¥の場合）です。

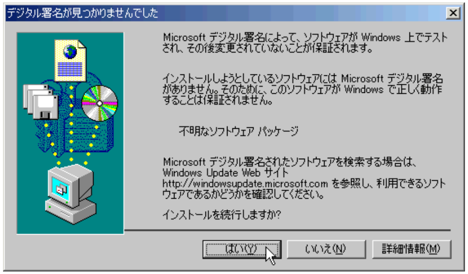
6 [製造元のファイルのコピー元]にプリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。



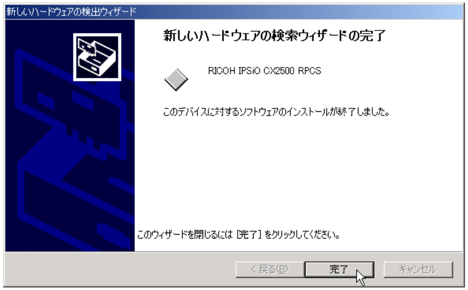
7 [次へ] をクリックします。



8 次のメッセージが表示されることがあります。その場合は [はい] をクリックします。



9 [完了] をクリックします。



インストールが正常に終了すると、「USB001」を [印刷先のポート先] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

補足

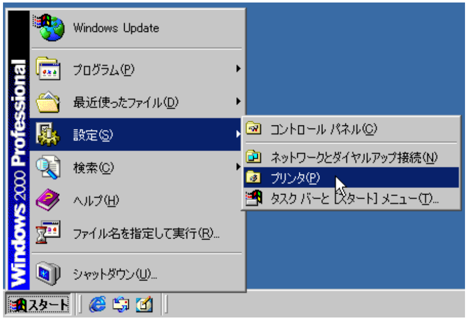
- 「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。

オプションを設定する

制限

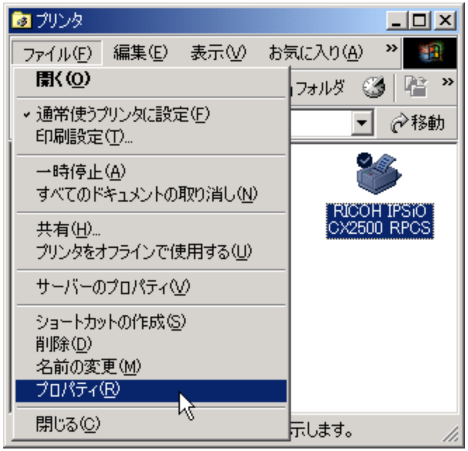
- ❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



次の画面が表示されます。

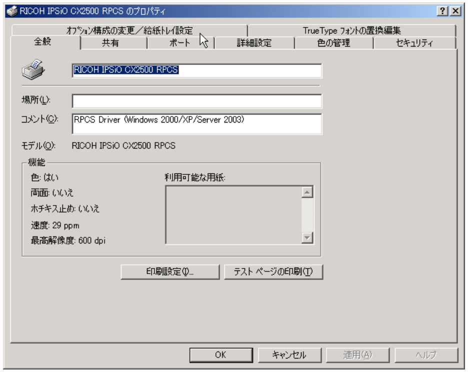


補足

- ❒ この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順**4**の画面が表示されます。

3 [OK]をクリックします。

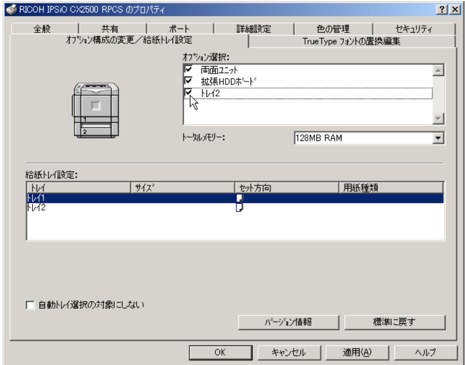
4 [オプション構成の変更/給紙トレイ設定]タブをクリックします。



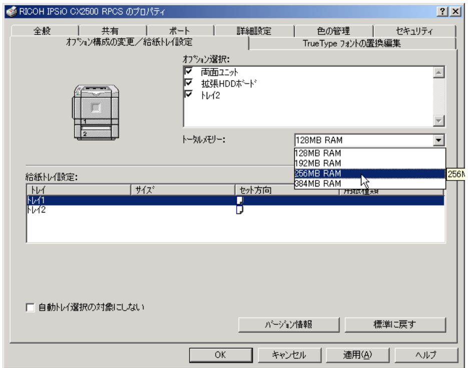
補足

- [オプション構成の変更/給紙トレイ設定]タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 [オプション選択]ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。



6 オプションのSDRAMモジュールを増設した場合は、[トータルメモリー:]で増設後の合計メモリー容量を選択します。



7 ［給紙トレイ設定］で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、［トレイ用紙サイズ］・［トレイ用紙セット方向］・［トレイ用紙種類］を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は［自動トレイ選択の対象にしない］に✓印を付けます。

8 ［OK］をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

❒ ［初期設定］タブをクリックして［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］をクリックすると、手順5の画面が表示されます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき



上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、［プリンタの追加］でインストールし直してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

② ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

③ 「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1になります。インストーラーが起動したときは［キャンセル］をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0で働く機能です。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- プリンターの USB インターフェースコネクターとパソコンの USB コネクターが、USB ケーブルで接続されている（Windows 98 SE/Me/2000/XP、Windows Server 2003の場合）

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準 TCP/IP ポートのポート名を変更しないで使っている（Windows 2000/XP、Windows Server 2003の場合）
- Microsoft TCP/IP印刷 IP アドレスを指定して使っている （Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

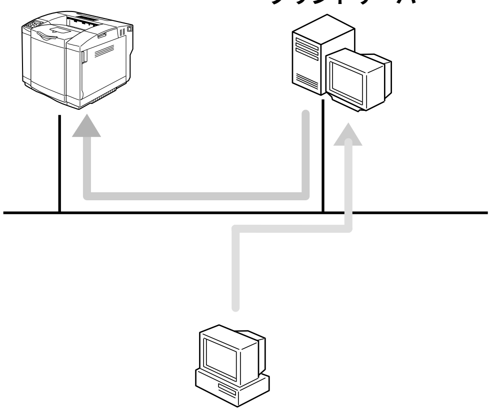
補足

- ❒ Ridoc IO Naviはプリンターに同梱のCD-ROMからインストールしてください。

プリントサーバーを使う場合

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 のプリントサーバーを使う

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0をプリントサーバーとして使用する場合のセットアップ方法を説明します。



プリンタードライバーのインストール

操作の前に

プリントサーバーを使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の共有プリンターを選択します。

ここでの説明はクライアント側がWindows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0と正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。設定されていない場合は、クライアント側に必要なソフトウェアを組み込んでからセットアップを行ってください。

制限

- Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているプリントサーバをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。
- Windows XP、Windows Server 2003をプリントサーバとした場合、クライアントに印刷通知が行われない場合があります。

補足

- プリントサーバがWindows NT 4.0の場合は、プリントサーバに接続する前にプリンタードライバーをインストールしておいてください。

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

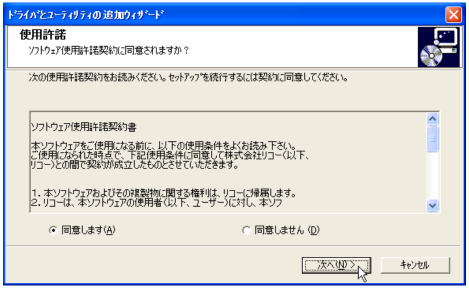
補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

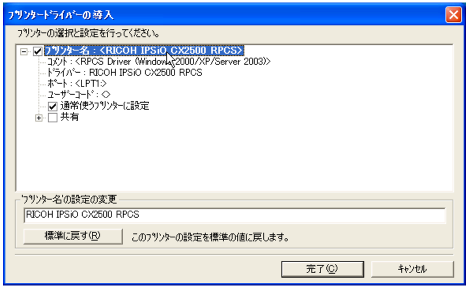
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。



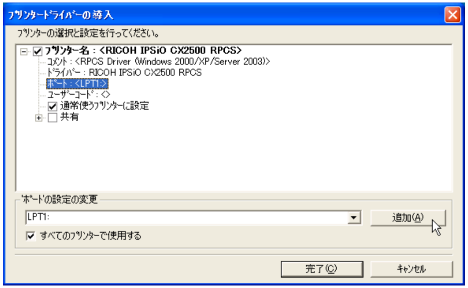
4 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



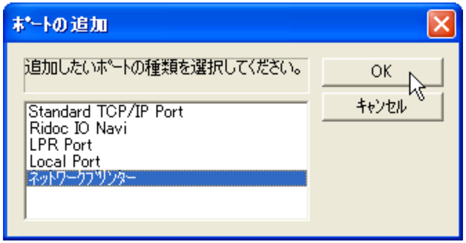
補足

- ❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

5 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。



6 [ネットワークプリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。



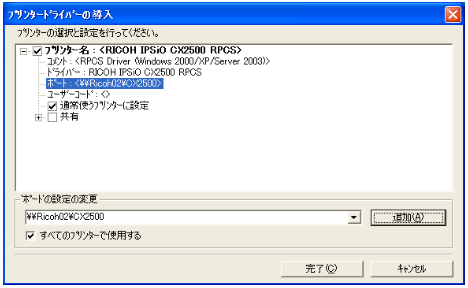
7 ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。



8 印刷するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。



9 ［ポート :］に選択したプリンターのパスが表示されていることを確認します。

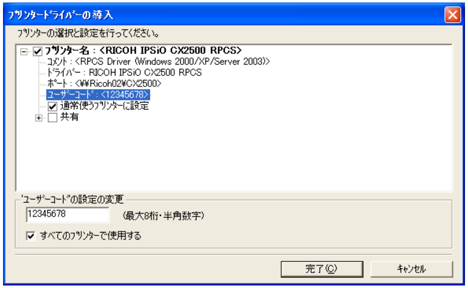


10 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

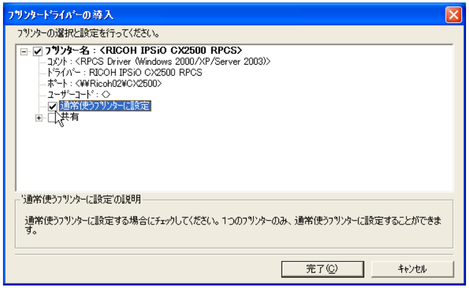
❖ ユーザーコードの設定



補足

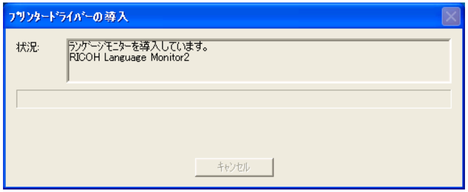
- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



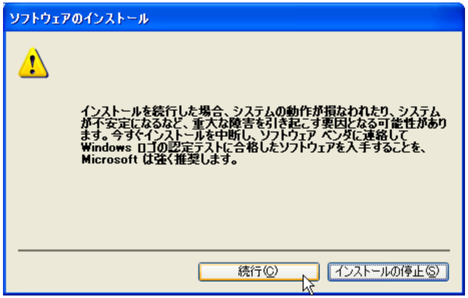
11 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。



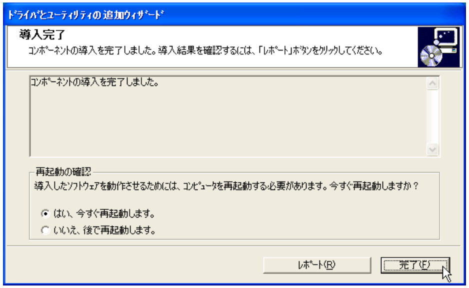
補足

- ❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。



- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.111「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

12 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。



補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

13 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.112「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.109「オプションを設定する」を参照してください。

プリントサーバーを使わない場合

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IP プロトコルまたは IPP を使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ **プリンターの環境設定**

TCP/IPを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IP プロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法の詳細については、使用説明書<システム設定編>「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、使用説明書<システム設定編>「付録」を参照してください。

補足

❒ IP アドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］－［アクセサリ］をポイントし、［コマンドプロンプト］をクリックします。

② 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms
TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

❖ **Windows XPの環境設定**

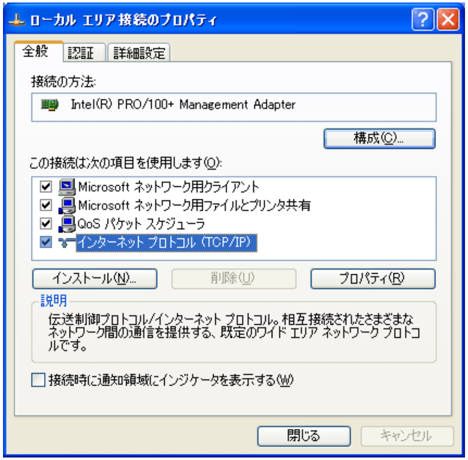
Windows XPに「TCP/IPプロトコル」を組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

① ［コントロールパネル］の［インターネット接続］アイコンをダブルクリックします。

② ［ネットワーク接続］をダブルクリックします。

③ ［ローカルエリア接続］を選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

④ チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています。ボックスに「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が組み込まれていることを確認します。



補足

- ❒ TCP/IP プロトコルが組み込まれていないときは、[ローカルエリア接続のプロパティ］の［インストール］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows XP、Windows Server 2003のヘルプを参照してください。

⑤ TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。
設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

❖ Windows Server 2003の環境設定

Windows Server 2003に「TCP/IPプロトコル」を組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

① ［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワーク接続］－［ローカルエリア接続］を選択します。

② ［プロパティ］をクリックします。

③ チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています。ボックスに「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が組み込まれていることを確認します。

補足

- ❒ TCP/IPプロトコルが組み込まれていないときは、［ローカルエリア接続のプロパティ］の［インストール］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows Server 2003のヘルプを参照してください。

④ TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。
設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

Ridoc IO Navi のインストール

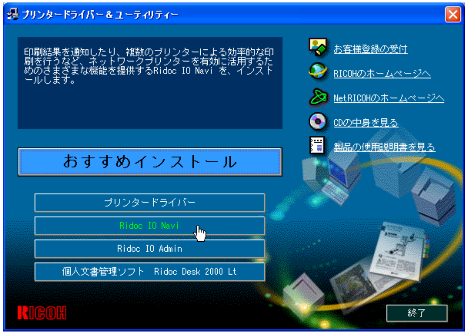
1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

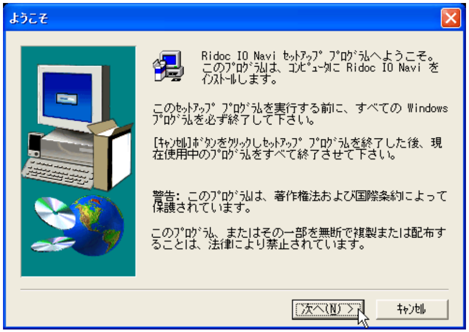
❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、［Ridoc IO Navi］をクリックします。

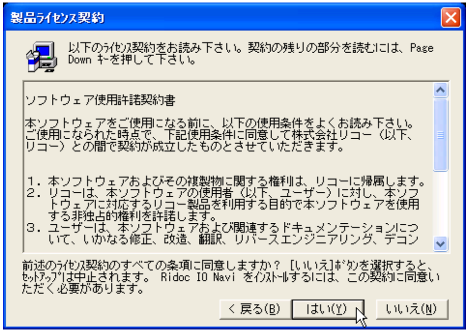


Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 ［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。

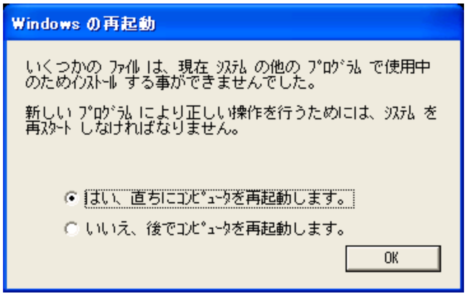


4 [製品ライセンス契約]ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい]をクリックします。



5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。

インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。



6 [OK] をクリックします。

補足

- ❒「Windowsの再起動」ダイアログが表示される場合は、Windowsを再起動してください。

プリンタードライバーのインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

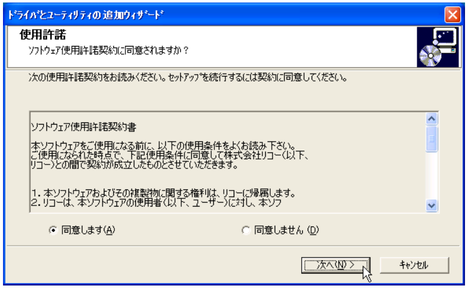
補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

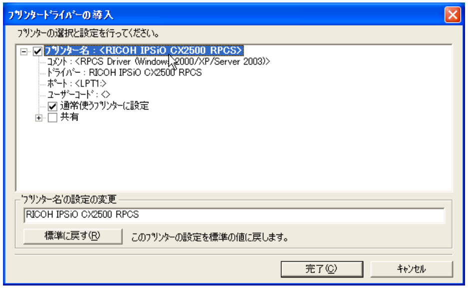
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。



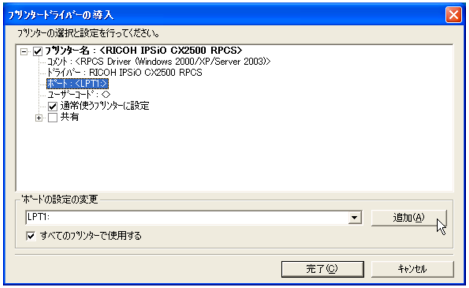
4 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

5 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

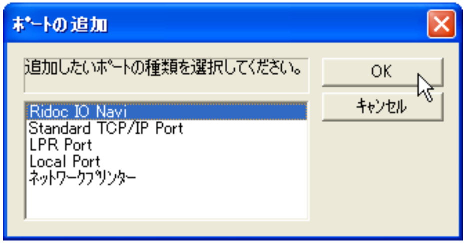


以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。

- Ridoc IO Navi
- Standard TCP/IP Port
- LPR Port

Ridoc IO Navi

❶「Ridoc IO Navi」を選択し、[OK] をクリックします。

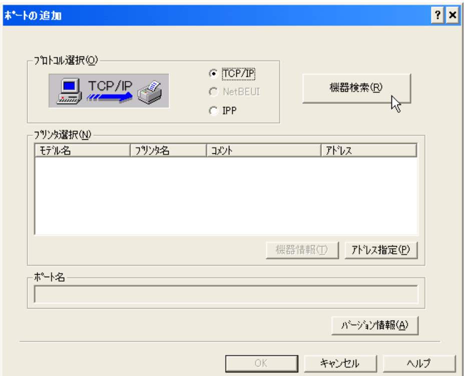


❷ プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

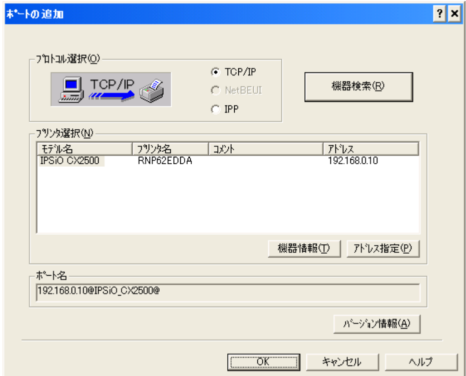
❖ TCP/IP

① [TCP/IP] をクリックします。

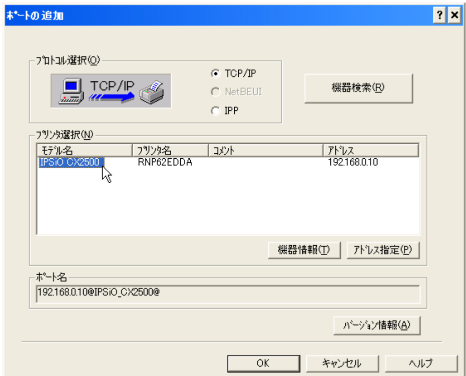
② [機器検索] をクリックします。



TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

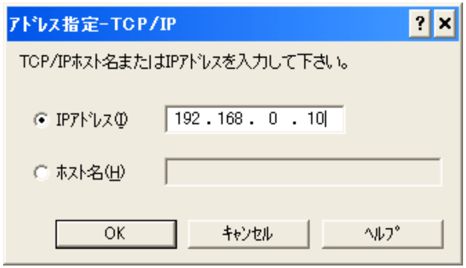


③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

- ❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。



④ [OK] をクリックします。

❖ IPP

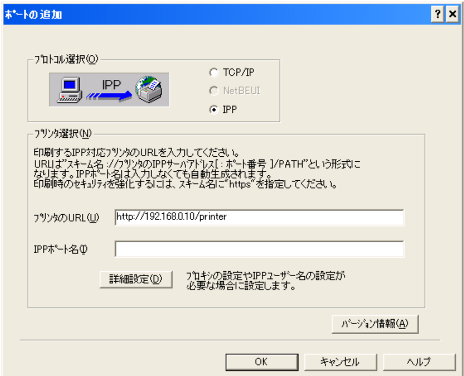
① [IPP] をクリックします。
[IPPの設定] ダイアログが表示されます。



② [プリンタのURL] に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。

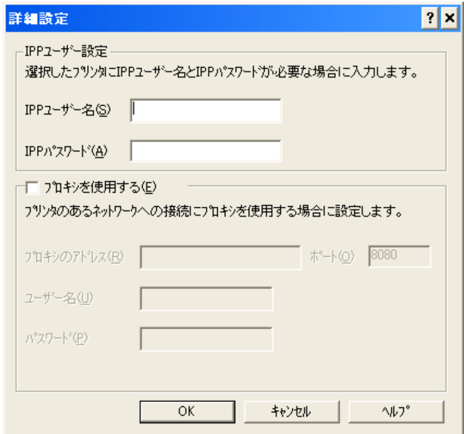
補足

- ❒ 本機にオプションの暗号化カードを装着し、サーバー証明を発行している場合は、「https://（プリンターのIP アドレス/printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンにInternet Explorer 5.01以降がインストールされている必要があります。



③ 必要に応じて［IPPポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、［プリンタの URL］に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

④ プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし､必要な項目を設定し､[OK] をクリックします。



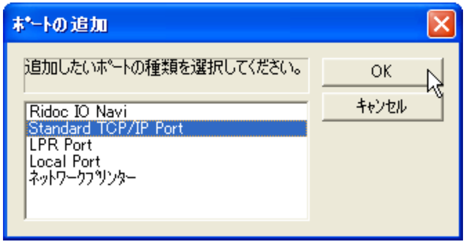
補足

- ❒ 設定項目の詳細については、CD-ROM 収録のヘルプを参照してください。

⑤ ［OK］をクリックします。
ポートの追加ダイアログが閉じます。

Standard TCP/IP Port

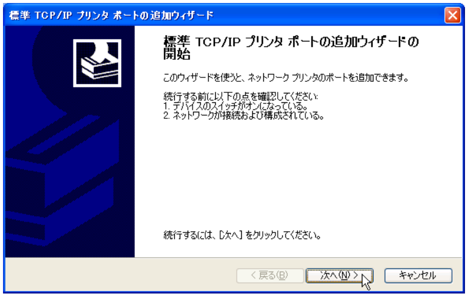
❶ 「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK] をクリックします。



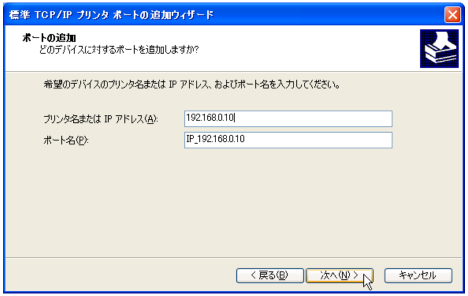
補足

- ❒ 「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows XP、Windows Server 2003のヘルプを参照してStandard TCP/IPの設定をしてください。

❷ 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、[次へ] をクリックします。



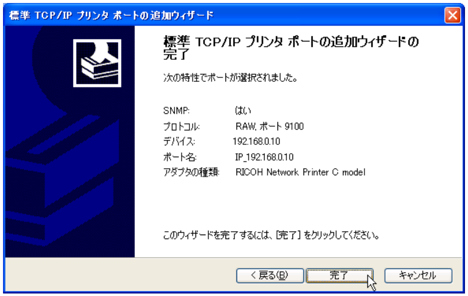
❸ [プリンタ名またはIPアドレス] ボックスにプリンター名またはプリンターの IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。



補足

- ❒ [ポート名] ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

❹ 「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、[完了] をクリックします。



プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

LPR Port

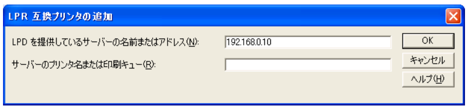
❶「LPR Port」を選択し、[OK] をクリックします。



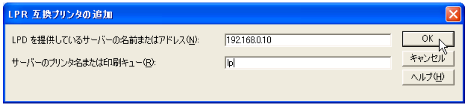
補足

❒「LPR Port」が表示されない場合は、「UNIX印刷サービス」が正しく組み込まれていません。[サービス] タブの [追加] をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows XP、Windows Server 2003のヘルプを参照してください。

❷ [lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス] ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。

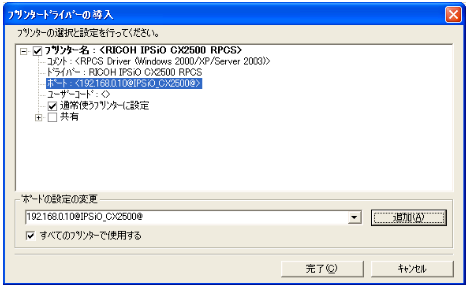


❸ [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。



ポートが追加されます。

6 [ポート :] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

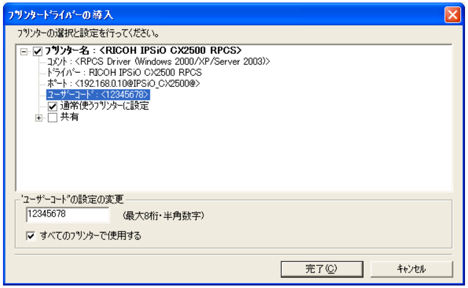


7 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

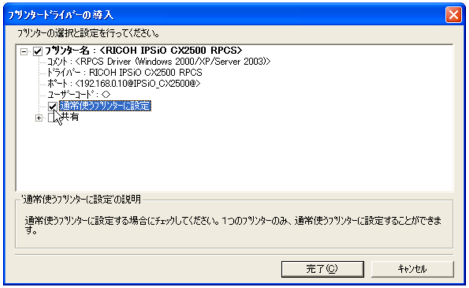
❖ ユーザーコードの設定



補足

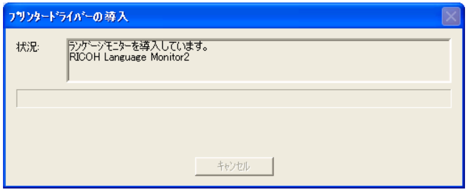
- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



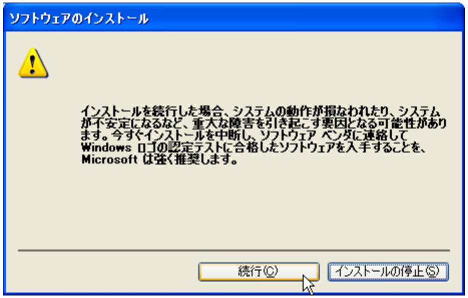
8 [完了]をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。



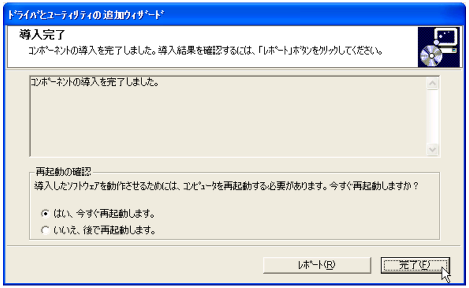
補足

- ❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。



- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.111「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
    - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

9 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。



補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

10 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.112「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.109「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

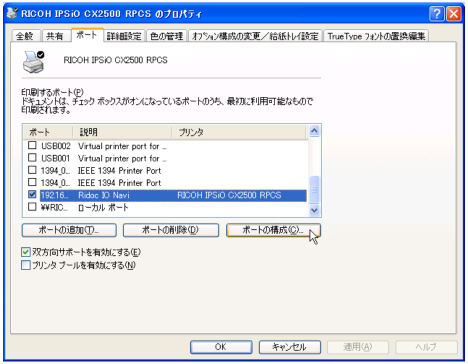
IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

- ❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

1 ［プリンタ］ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

2 ［ポート］タブをクリックし、［ポートの構成］をクリックします。



ポートの設定画面が表示されます。

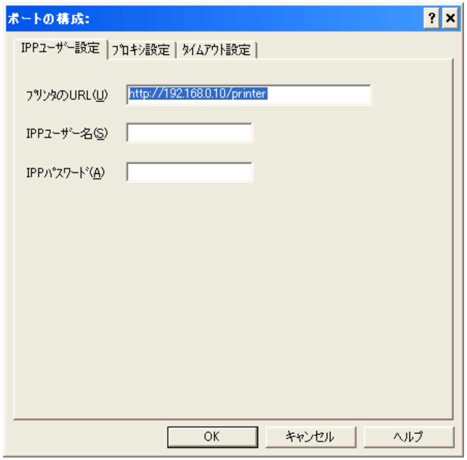
- TCP/IP プロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。



補足

- ❒ ［代行印刷/並行印刷］タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。
  ① ［キャンセル］をクリックして、［ポートの設定］ダイアログを閉じます。
  ② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。
  ③ ［拡張機能設定］をクリックし、［代行/並行印刷をポート毎に設定する］にチェックをつけます。
  ④ ［OK］をクリックし、［拡張機能設定］ダイアログを閉じます。
- ❒ 各設定項目の詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

- IPP の場合、IPP ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。



補足

❒ 詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

パラレルインターフェースを使う

操作の前に

プリンターをパラレル接続して使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ローカルポート」を指定してインストールします。

プリンタードライバー（パラレル接続）のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

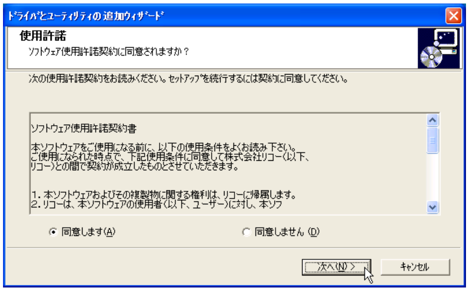
補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

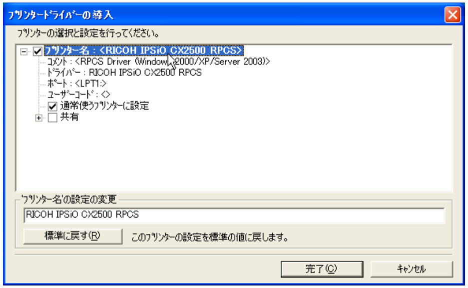
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。



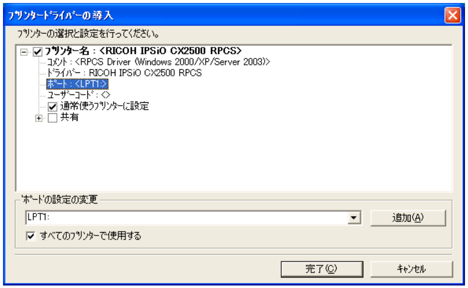
4 ［プリンタ名］をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

- ❒ ［コメント：］、［ドライバ：］、［ポート：］は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

5 ［ポート:］にプリンターを接続したポート（通常は、LPT1:）が設定されていることを確認します。

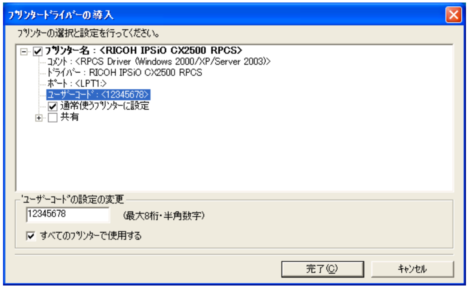


6 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

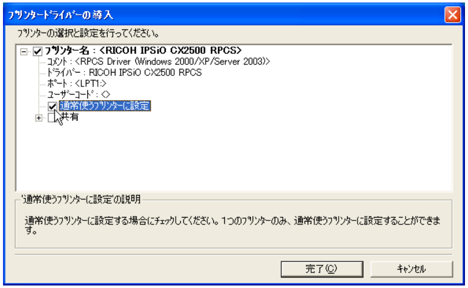
❖ ユーザーコードの設定



補足

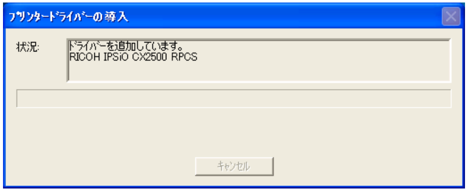
- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



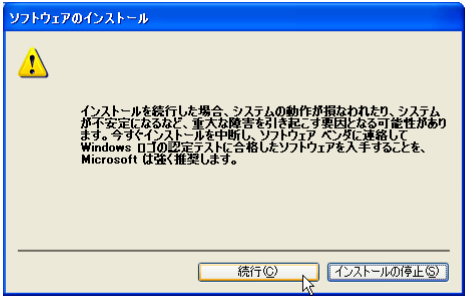
7 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。



補足

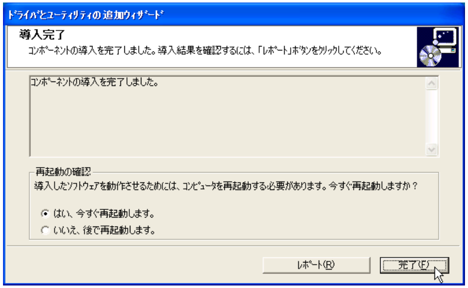
❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。



❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.81「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

8 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。



補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

9 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.112「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.109「オプションを設定する」を参照してください。

USB インターフェースを使う

ここでは、パソコンとプリンターをUSBケーブルで接続し、必要なドライバーをインストールする方法を説明します。

操作の前に

セットアップを始める前にUSBケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

制限

❒ Administrator グループのメンバーとしてログインしてください。

補足

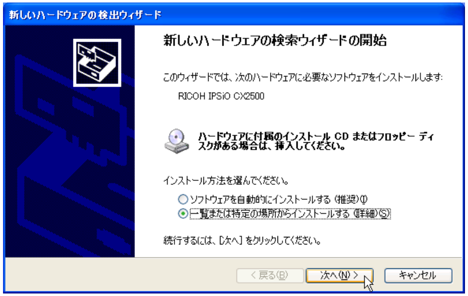
❒ USBケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、Windows XPまたはWindows Server 2003の「USB印刷サポート」が自動的にインストールされます。

❒ ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ] フォルダにUSBケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバー（USB 接続）のインストール

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、本機に同梱のCD-ROMからプリンタードライバーをインストールします。

1 [新しいハードウェアの検出ウィザード］画面で[一覧または特定の場所からインストールする(推奨)] をチェックし、[次へ] をクリックします。

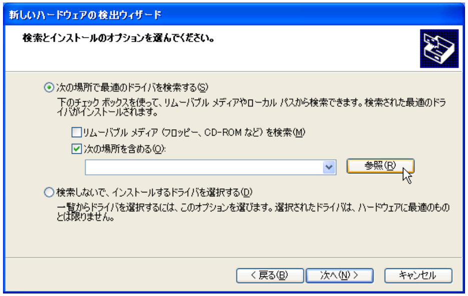


2 キーボードの左側の【Shift】キーを押しながら、本機の同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

パソコンがCD-ROMを完全に認識するまで左側の【Shift】キーを押し続けます。

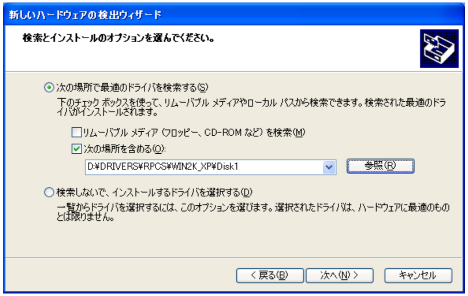
CD-ROMのオートランが起動した場合は、[キャンセル］をクリックします。

3 [次の場所で最適のドライバを検索する] の [次の場所を含める] をチェックし、[参照] をクリックしてプリンタードライバーの場所を指定します。

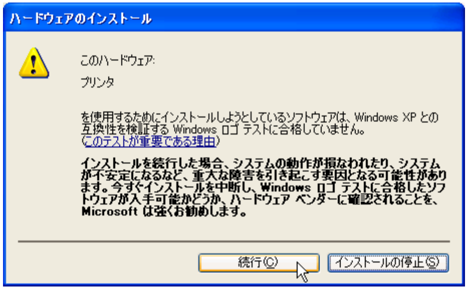


インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、「D:¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1」（CD-ROMドライブがD:¥の場合）です。

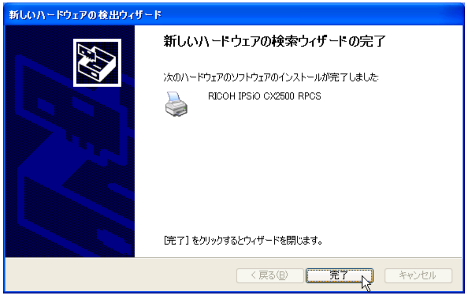
4 プリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、[次へ］をクリックします。



5 [続行］をクリックします。



6 [完了] をクリックします。



インストールが正常に終了すると、「USB001」を[印刷先のポート先] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

補足

- 「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。

オプションを設定する

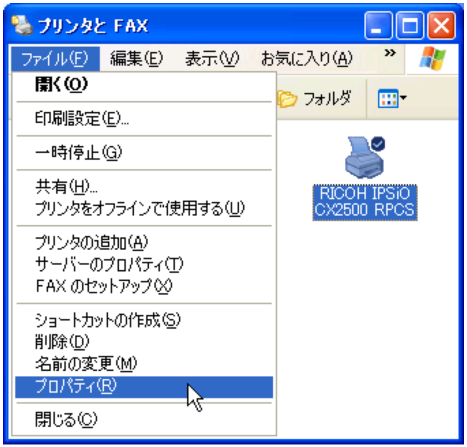
制限

- ❒ [プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 [スタート] ボタンから、[プリンタと FAX] ウィンドウを表示させます。

[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。



次の画面が表示されます。

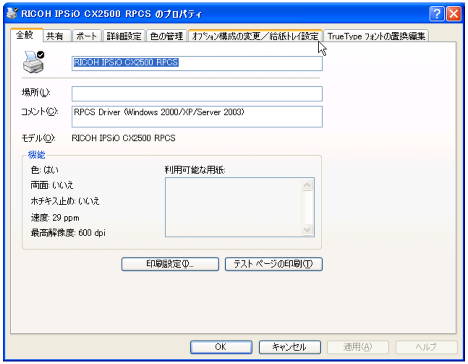


補足

- ❒ この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順4の画面が表示されます。

3 [OK] をクリックします。

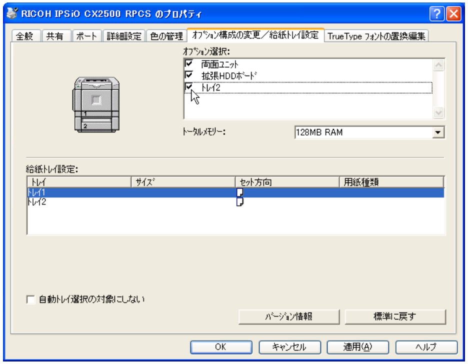
4 ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブをクリックします。



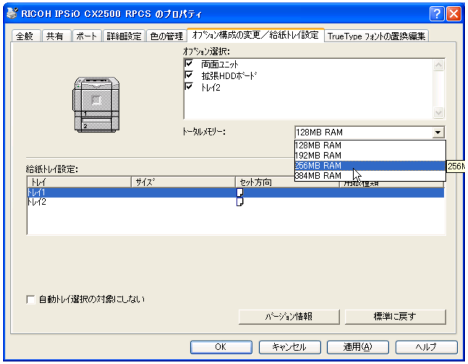
補足

- ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 ［オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。



6 オプションの SDRAM モジュールを増設した場合は、［トータルメモリー：］で増設後の合計メモリー容量を選択します。



7 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類] を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は [自動トレイ選択の対象にしない] に✓印を付けます。

8 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

- [初期設定] タブをクリックして [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] をクリックすると、手順**5**の画面が表示されます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき



上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、[プリンタの追加] でインストールし直してください。

① [プリンターとFAX] ウインドウを開きます。

参照

Windows XP Home EditionとWindows XP ProfessionalおよびWindows Server 2003では、[プリンターとFAX] ウインドウの開き方が異なります。P.272「Windows XP、Windows Server 2003で [プリンタとFAX] ウインドウを表示する」を参照してください。

② Windows XPの場合は [プリンターのインストール] をクリックします。Windows Server 2003の場合は [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

③「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0で働く機能です。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- プリンターの USB インターフェースコネクターとパソコンの USB コネクターが、USB ケーブルで接続されている（Windows 98 SE/Me/2000/XP、Windows Server 2003の場合）

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準 TCP/IP ポートのポート名を変更しないで使っている（Windows 2000/XP、Windows Server 2003の場合）
- Microsoft TCP/IP印刷 IP アドレスを指定して使っている（Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

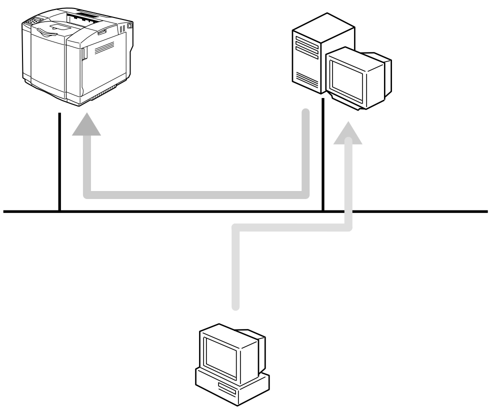
補足

❒ Ridoc IO NaviはプリンターにCD-ROMからインストールしてください。

プリントサーバーを使う場合

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0 のプリントサーバーを使う

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0をプリントサーバーとして使用する場合のセットアップ方法を説明します。



プリンタードライバーのインストール

操作前に

プリントサーバーを使う場合は、RPCS プリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の共有プリンターを選択します。

ここでの説明はクライアント側がWindows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0と正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。設定されていない場合は、クライアント側に必要なソフトウェアを組み込んでからセットアップを行ってください。

制限

- ❒ Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているプリントサーバをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。
- ❒ Windows XP、Windows Server 2003をプリントサーバとした場合、クライアントに印刷通知が行われない場合があります。

補足

- ❒ プリントサーバがWindows NT 4.0の場合は、プリントサーバに接続する前にプリンタードライバーをインストールしておいてください。

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

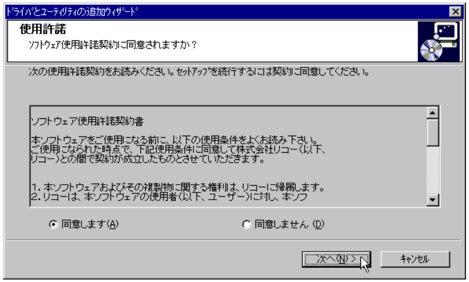
補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

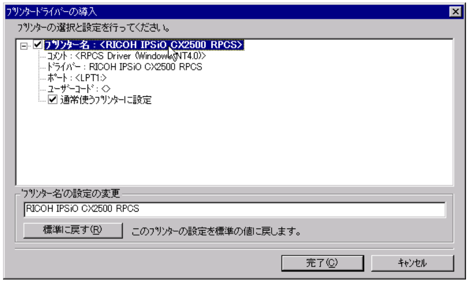
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。



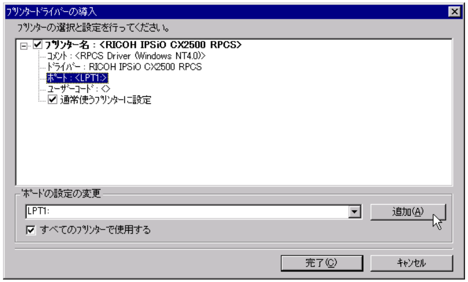
4 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



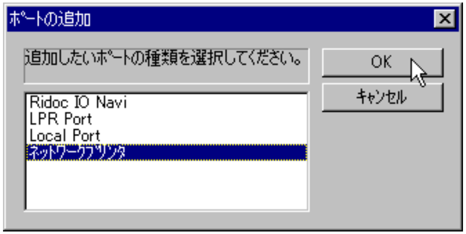
補足

- ❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

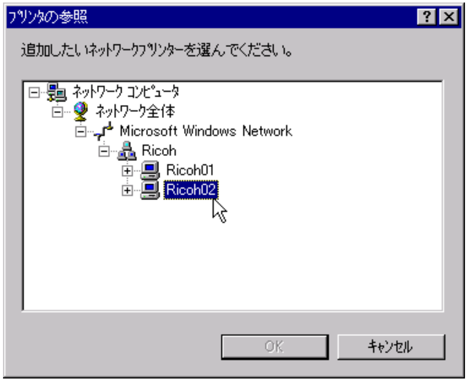
5 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。



6 [ネットワークプリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。



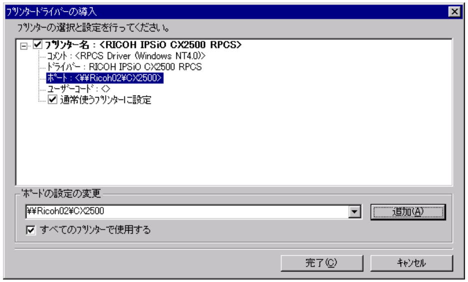
7 ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。



8 印刷するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。



9 ［ポート：］に選択したプリンターのパスが表示されていることを確認します。

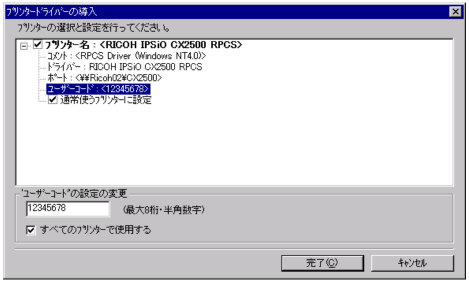


10 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

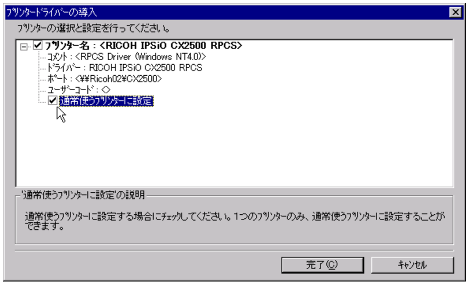
❖ ユーザーコードの設定



補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



11 ［完了］をクリックします。

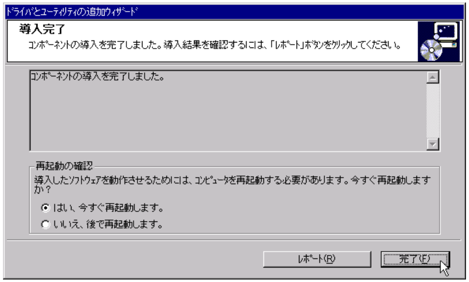
プリンタードライバーがインストールされます。



補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.138「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」
  - 「Service Pack 4では導入できないドライバが存在します。」

12 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。



補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

13 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.139「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.136「オプションを設定する」を参照してください。

プリントサーバーを使わない場合

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IP プロトコルまたは IPP を使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ **プリンターの環境設定**

TCP/IPを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IP プロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法の詳細については、使用説明書<システム設定編>「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、使用説明書<システム設定編>「付録」を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

① [スタート]ボタンをクリックし、[プログラム]をポイントし、[コマンドプロンプト]をクリックします。

② 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32 time<10ms
TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

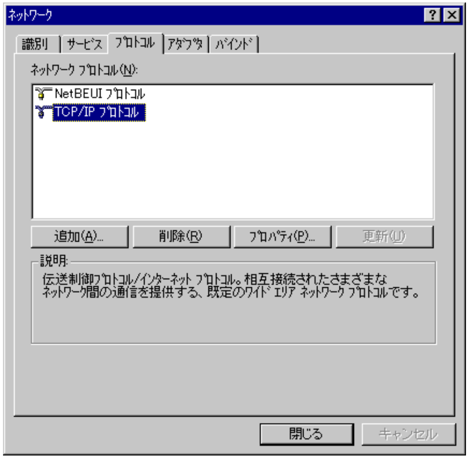
```
Request timed out.
```

❖ **Windows NT 4.0の環境設定**

Windows NT 4.0に「TCP/IPプロトコル」と「Microsoft TCP/IP印刷」ソフトウェアを組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

① **[コントロールパネル]の[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。**

② **[プロトコル]タブの[ネットワークプロトコル]ボックスに「TCP/IPプロトコル」が組み込まれていることを確認します。**



補足

❒ **TCP/IPプロトコルが組み込まれていないときは、[プロトコル]タブの[追加]をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NT 4.0のヘルプを参照してください。**

③ **TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。**
設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

④ **LPRを使って印刷する場合は、[サービス]タブをクリックし、ネットワークサービスとして「Microsoft TCP/IP印刷」が組み込まれていることを確認します。**



「Microsoft TCP/IP印刷」が組み込まれていないときは、[サービス]タブの[追加]をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NT 4.0のヘルプを参照してください。

NetBEUI 印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ プリンターの環境設定

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのSMBプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

設定方法の詳細については、使用説明書＜システム設定編＞「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

❖ Windows NT 4.0の環境設定

Windows NT 4.0に「NetBEUIプロトコル」を組み込み、LANアダプタ（LANA）番号を変更します。

① ［コントロールパネル］の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックます。

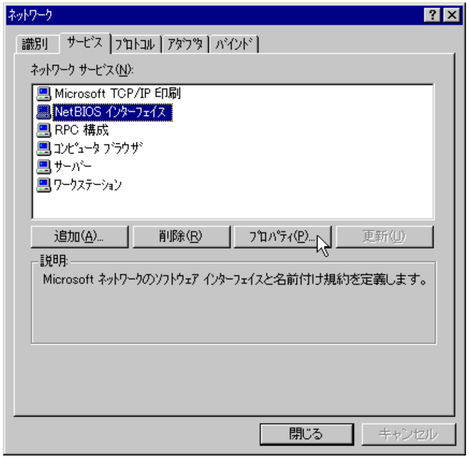
② ［プロトコル］タブの［ネットワークプロトコル］ボックスに「NetBEUIプロトコル」が組み込まれていることを確認します。



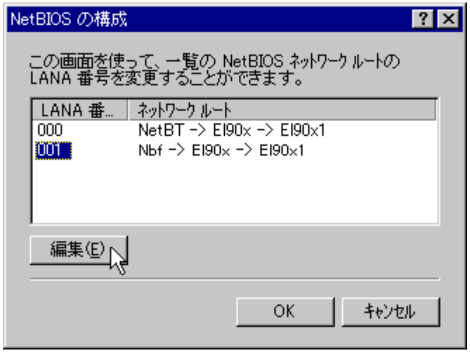
補足

❒ NetBEUI プロトコルが組み込まれていないときは、［プロトコル］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NT 4.0のヘルプを参照してください。

③ LANA番号を変更します。[サービス] タブをクリックし、[ネットワークサービス] ボックスの「NetBIOSインターフェイス」をクリックして反転表示させ、[プロパティ] をクリックします。



④ [ネットワークルート] 見出しの「Nbfプロトコル」に対応したLANA番号をクリックして反転表示させ、[編集] をクリックします。



⑤ LANA番号として「0」を入力します。

補足

❒ 他のプロトコルの LANA 番号が 0 に設定されているときは、そのプロトコルを 0 以外に変更してください。

⑥ [OK] をクリックします。

⑦ [閉じる] をクリックし、[ネットワーク] ダイアログを閉じます。

⑧ 再起動するかどうか確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

補足

❒ LANA 番号を変更したときは必ず再起動してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

Ridoc IO Navi のインストール

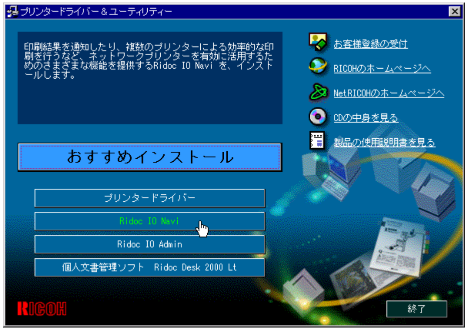
1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

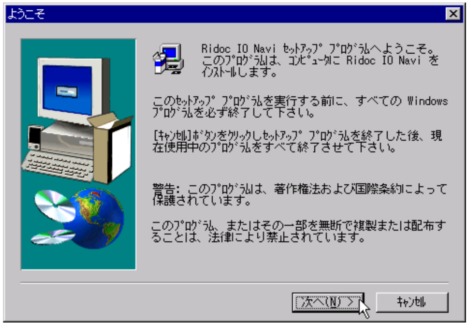
- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Navi] をクリックします。

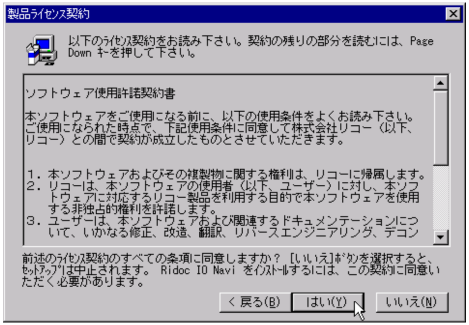


Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 [ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。



4 [製品ライセンス契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。



5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。

インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。



6 [OK] をクリックします。

補足

- ❒ 「Windowsの再起動」ダイアログが表示される場合は、Windowsを再起動してください。

プリンタードライバーのインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

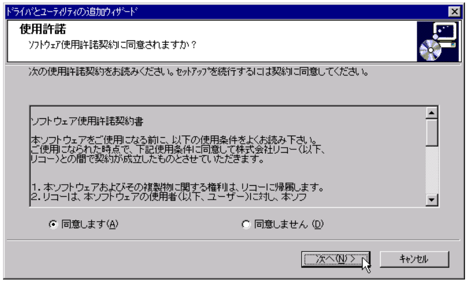
補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

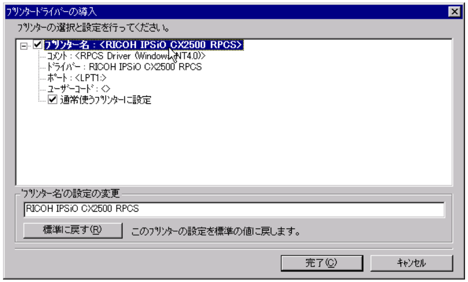
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。



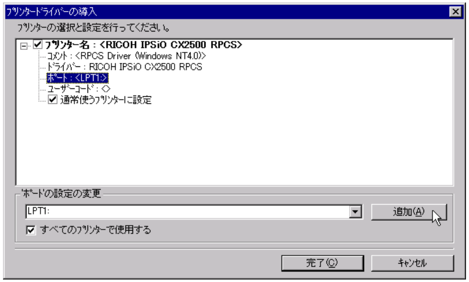
4 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

- ❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

5 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

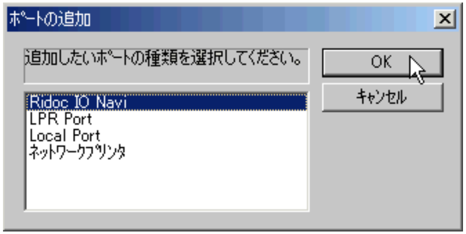


以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。

- Ridoc IO Navi
- LPR Port

Ridoc IO Navi

❶「Ridoc IO Navi」を選択し、[OK] をクリックします。

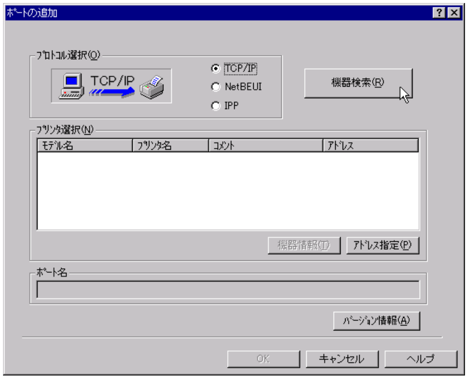


❷ プロトコルを選択し､印刷するプリンターを選択します。

❖ TCP/IP

① [TCP/IP] をクリックします。

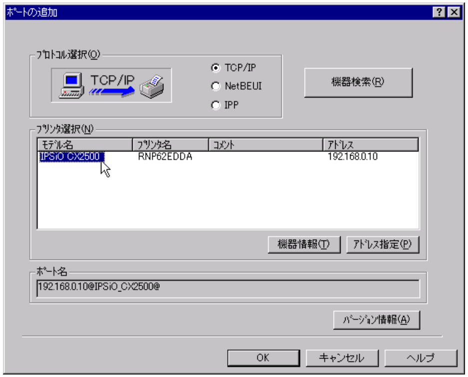
② [機器検索] をクリックします。



TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

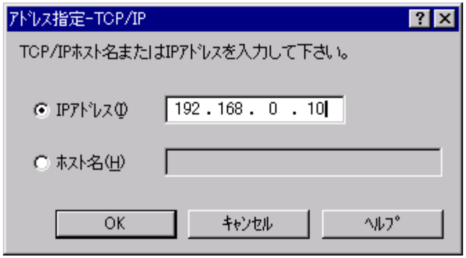


③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

- ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。

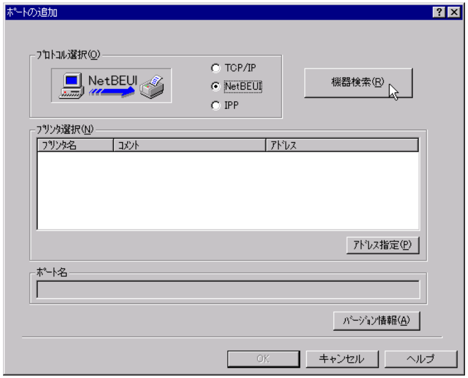


④ [OK] をクリックします。

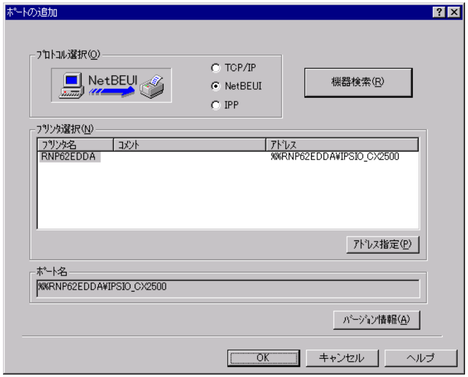
❖ NetBEUI

① [NetBEUI] をクリックします。

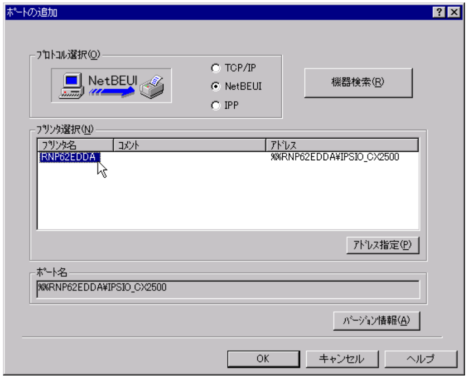
② [機器検索] をクリックします。



NetBEUIプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。



③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。



補足

- ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、NetBEUIアドレスを直接入力してください。NetBEUIアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。システム設定リストではNetBEUIアドレスが「¥¥RNPxxxx¥xxx」と表示されています。先頭の「¥¥」を「%%」に変更して入力してください。

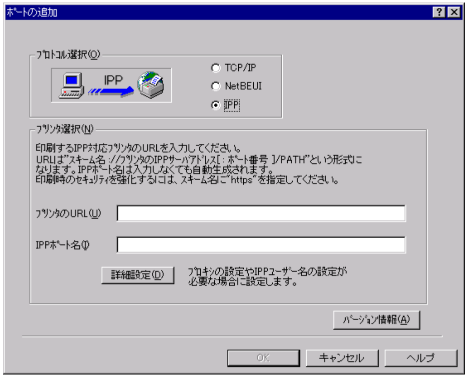


- ルーターを越えたプリンターには印刷できません。

④ ［OK］をクリックします。

❖ IPP

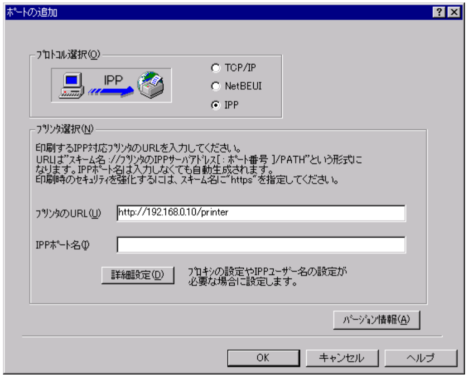
① ［IPP］をクリックします。
［IPP の設定］ダイアログが表示されます。



② ［プリンタのURL］に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。

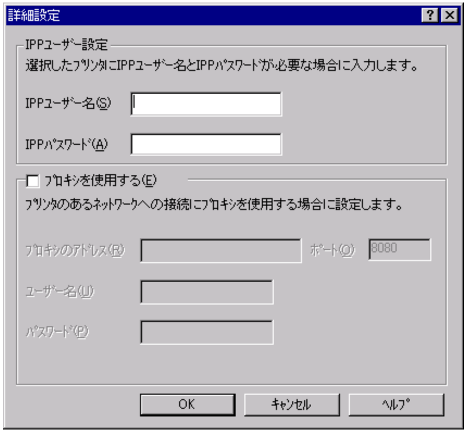
補足

- ❒ 本機にオプションの暗号化カードを装着し、サーバー証明を発行している場合は、「https://（プリンターのIPアドレス/printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンにInternet Explorer 5.01以降がインストールされている必要があります。



③ 必要に応じて［IPPポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、［プリンタの URL］に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

④ プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし、必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。



補足

- ❒ 設定項目の詳細については、CD-ROM 収録のヘルプを参照してください。

⑤ ［OK］をクリックします。
ポートの追加ダイアログが閉じます。

LPR Port

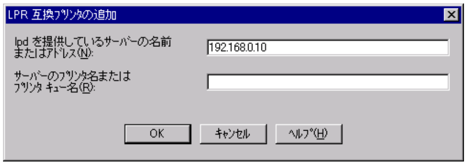
❶ 「LPR Port」を選択し、［OK］をクリックします。



補足

- ❒ 「LPR Port」が表示されない場合は、「Microsoft TCP/IP印刷」が正しく組み込まれていません。［サービス］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NT 4.0のヘルプを参照してください。

❷ ［lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。

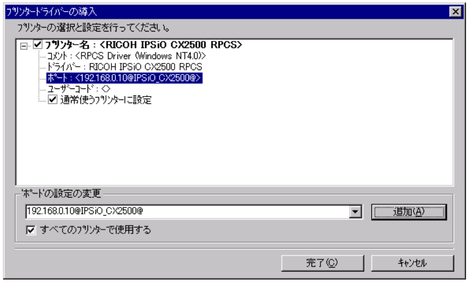


❸ ［サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名］ボックスに「lp」と入力し、［OK］をクリックします。



ポートが追加されます。

6 ［ポート :］に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

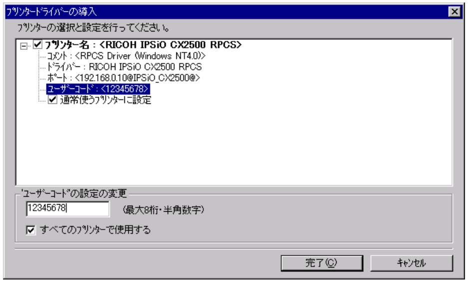


7 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

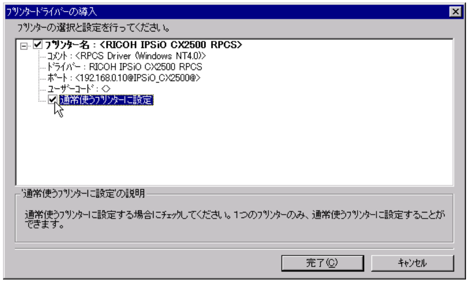
❖ ユーザーコードの設定



補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定



8 [完了]をクリックします。

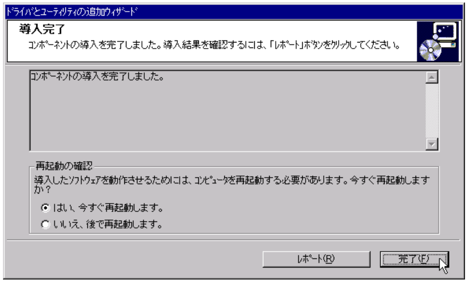
プリンタードライバーがインストールされます。



補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.138「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」
  - 「Service Pack 4では導入できないドライバが存在します。」

9 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。



補足

- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

10 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.139「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.136「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

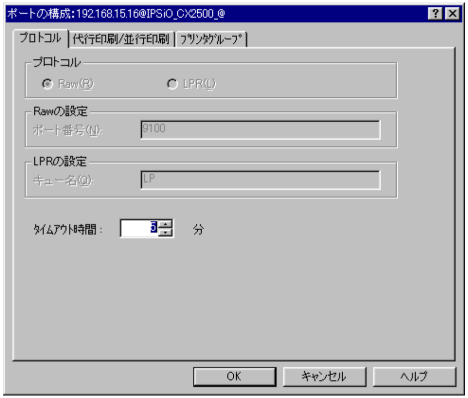
- NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

1 [プリンタ] ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

2 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。

ポートの設定画面が表示されます。

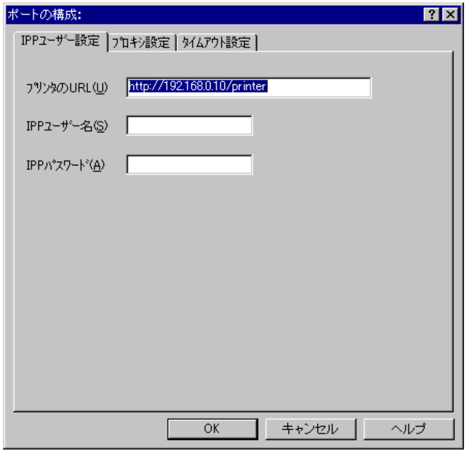
- TCP/IPプロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。



補足

- ❒ [代行印刷/並行印刷］タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。
  - ① [キャンセル] をクリックして、[ポートの設定］ダイアログを閉じます。
  - ② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。
  - ③ [拡張機能設定] をクリックし、[代行/並行印刷をポート毎に設定する］にチェックをつけます。
  - ④ [OK] をクリックし、[拡張機能設定] ダイアログを閉じます。
- ❒ 各設定項目の詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

- IPP の場合、IPP ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。



補足

- ❒ 詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

パラレルインターフェースを使う

操作の前に

プリンターをパラレル接続して使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ローカルポート」を指定してインストールします。

プリンタードライバー（パラレル接続）のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

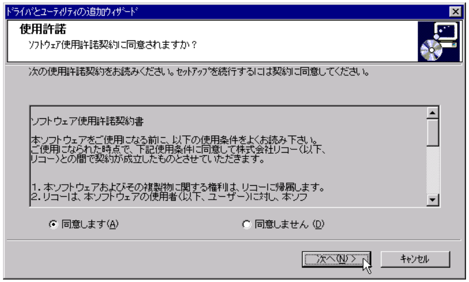
補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

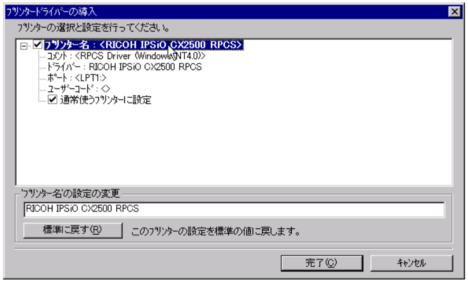
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。



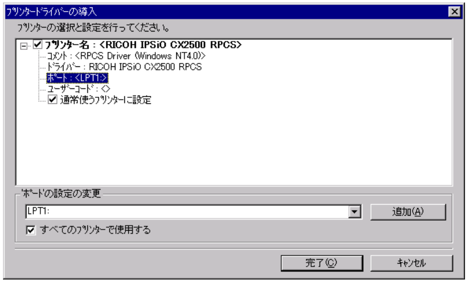
4 ［プリンタ名］をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

- ❒ ［コメント：］、［ドライバ：］、［ポート：］は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

5 ［ポート:］にプリンターを接続したポート（通常は、LPT1:）が設定されていることを確認します。

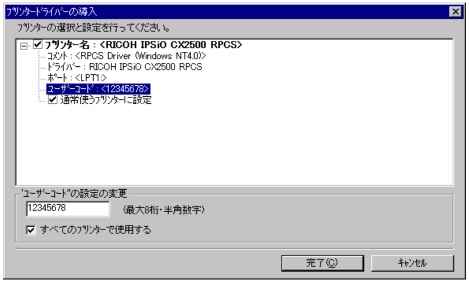


6 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

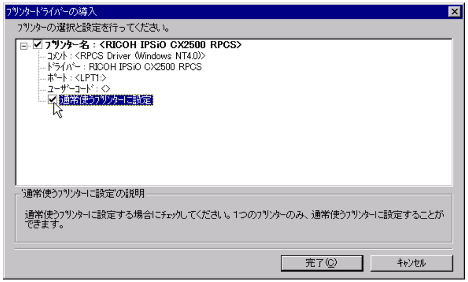
❖ ユーザーコードの設定



補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ **通常使うプリンターの設定**



7 [完了] をクリックします。

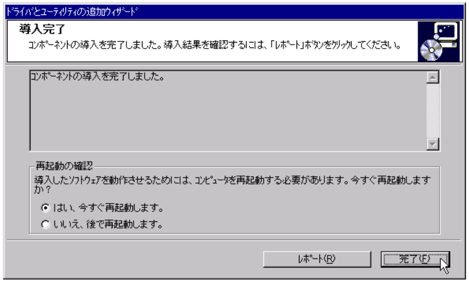
プリンタードライバーがインストールされます。



補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.138「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」
  - 「Service Pack 4では導入できないドライバが存在します。」

8 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。



補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

9 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.139「双方向通信が働く条件」を参照してください。

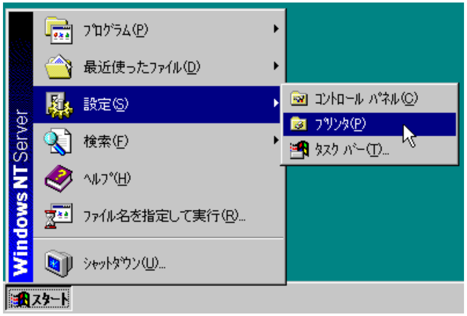
オプションの設定方法は、P.136「オプションを設定する」を参照してください。

オプションを設定する

制限

- ❒ [プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。



[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。



次の画面が表示されます。

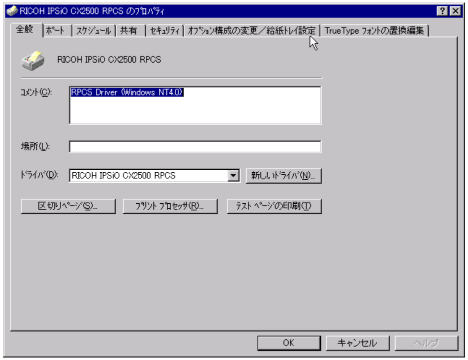


補足

- ❒ この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順4の画面が表示されます。

3 [OK] をクリックします。

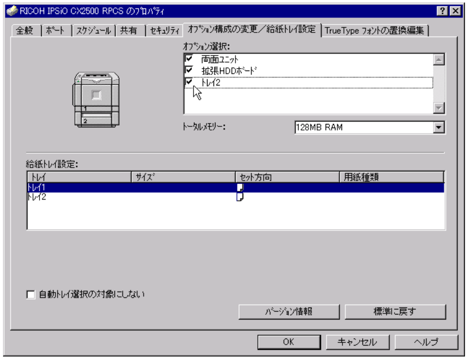
4 [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] タブをクリックします。



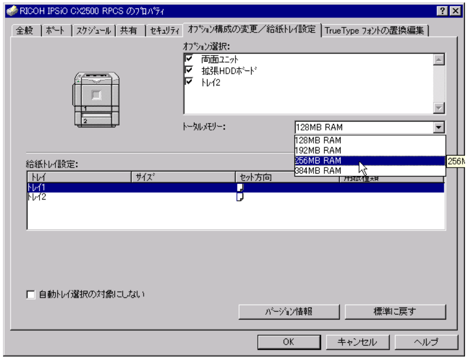
補足

- ❒ [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 [オプション選択] ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。



6 オプションの SDRAM モジュールを増設した場合は、[トータルメモリー：] で増設後の合計メモリー容量を選択します。



7 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類] を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は [自動トレイ選択の対象にしない] に✓印を付けます。

8 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

❒ [初期設定] タブをクリックして [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] をクリックすると、手順**5**の画面が表示されます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき





上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、[プリンタの追加] でインストールし直してください。

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

③ 「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥NT4¥DISK1になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0で働く機能です。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準 TCP/IP ポートのポート名を変更しないで使っている（Windows 2000/XP、Windows Server 2003の場合）
- Microsoft TCP/IP印刷 IP アドレスを指定して使っている（Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

補足

❒ Ridoc IO Naviはプリンターに同梱のCD-ROMからインストールしてください。

セットアップ

Mac OSのEtherTalk環境でネットワークプリンターを使用する場合の設定のしかたを説明します。

■セットアップは次の流れで行います

Macintosh側をEtherTalkに切り替える

プリンターの設定

プリンター名の変更

動作ゾーンの変更

制限

- 対象となるMac OSのバージョンは8.6以上、Mac OS Xのバージョンはv10.1以上です。
- Mac OSから印刷するにはPostScript 3を含む拡張エミュレーションカード（オプション）がプリンターに増設されている必要があります。
- Mac OSで使用するためには、PostScript 3を含む拡張エミュレーションカードに同梱の CD に収録されている、Adobe PSプリンタードライバー8.7.2が必要です。また、MacOS Xで使用するためには、PostScript 3を含む拡張エミュレーションカードに同梱のCDに収録されている、PPDファイルが必要です。

EtherTalk への切り替え

EtherTalkを使用するには、次の手順でネットワークの接続方式を切り替えます。

参照

EtherTalkに必要なソフトウェアのインストールについては、Mac OSのマニュアルを参照してください。

Mac OS

Mac OSの操作方法は使用しているOSのバージョンによって多少異なります。ここではMac OS 9.1を例に説明します。その他のバージョンをお使いの方は、本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

1 ［コントロールパネル］を開き、［AppleTalk］アイコンをダブルクリックします。

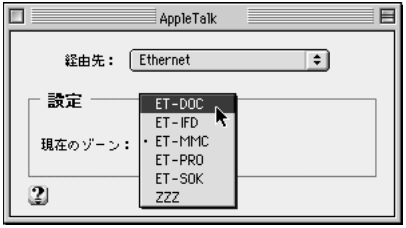


AppleTalk

2 [経由先] ポップアップメニューから「Ethernet」を選択します。



3 ゾーンを変更するときは、[現在のゾーン] ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。



4 [AppleTalk] コントロールパネルを閉じます。

5 Mac OSを再起動します。

Mac OS X

補足

- ❒ 一般ユーザーの場合、ゾーンの変更にはユーザ名とパスワードが必要です。管理者にお問い合わせください。

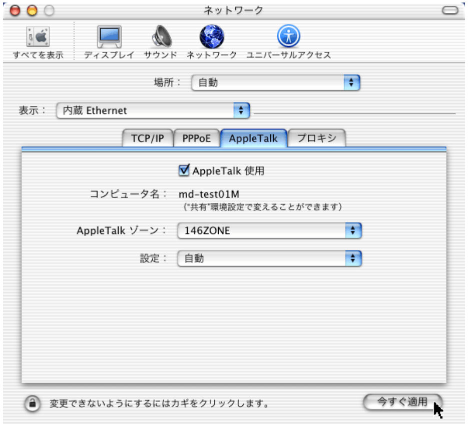
1 [System Preference] を開き、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。



2 [AppleTalk] タブをクリックします。

3 ゾーンを変更する場合には、[AppleTalkゾーン:] ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。

4 設定が完了したら、[今すぐ適用] をクリックしてください。



プリンターの設定

プリンター側で AppleTalk プロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

設定方法については、使用説明書＜システム設定編＞「操作パネルを使用する」を参照してください。

プリンター名の変更

同じネットワーク上に同機種のプリンターを複数台接続するときは、必ずプリンター名を変更してください。同じプリンター名があると、Mac OSの［セレクタ］上ではPRINTER0、PRINTER1のようにプリンター名の後に「0」「1」などの番号が付いて表示されます。Mac OS の EtherTalk 環境でプリンター名を変更するには、PostScript 3を含んだ拡張エミュレーションカードに付属の「PS3設定ユーティリティー」を使用します。

参照

プリンター名の変更のしかたについての詳細は、PostScript 3 使用説明書を参照してください。

ゾーンの変更

ネットワーク上にゾーンを設定している場合は、必要に応じてプリンターが所属するゾーンを変更します。

ゾーンを変更するには、PostScript 3を含んだ拡張エミュレーションカードに付属の「PS3設定ユーティリティー」を使用します。

参照

ゾーンの変更のしかたについての詳細は、PostScript 3 使用説明書を参照してください。

USB インターフェースを使う

ここでは、プリンターをUSB接続で使用する場合の設定方法を説明します。

操作の前に

PostScript 3インストールガイドを参照して、必要なファイルをインストールしてください。

Macintosh と本機を USB ケーブルで接続してください。

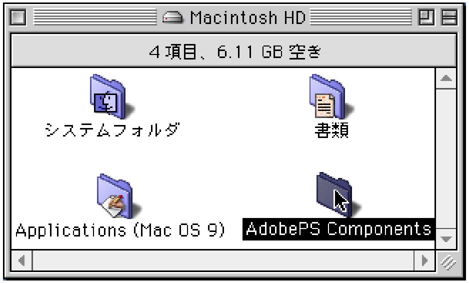
制限

- ❒ Mac OSでは本体標準のUSBポートのみ対応しています。
- ❒ Mac OSから印刷するにはPostScript 3を含む拡張エミュレーションカード（オプション）がプリンターに増設されている必要があります。
- ❒ MacintoshとUSB接続で印刷する場合、エミュレーションが自動では切り替わりません。プリンターの操作パネルから、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷を行ってください。操作パネルの設定方法の詳細については、使用説明書<システム設定編>「操作パネルを設定する」を参照してください。

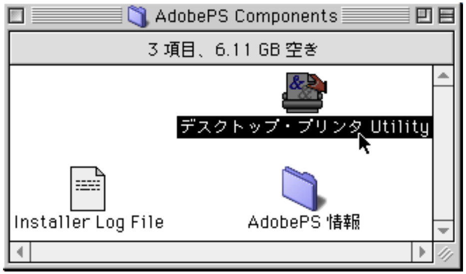
Mac OS

Mac OSの操作方法は使用しているOSのバージョンによって多少異なります。ここではMac OS 9.1を例に説明します。その他のバージョンをお使いの方は、本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

1 ハードディスク内の［AdobePS Components］フォルダを開きます。



2 [デスクトップ・プリンタUtility] をダブルクリックします。



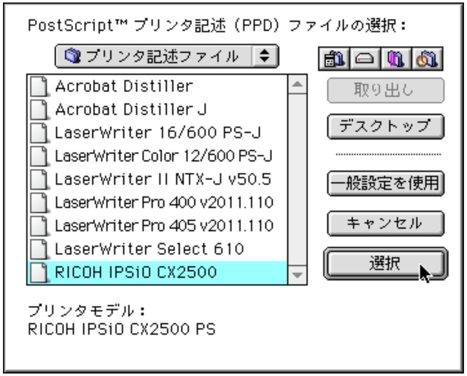
3 [プリンタ：] ポップアップメニューから [AdobePS] を選択し、[デスクトップに作成...] から [プリンタ（USB)] を選択して、[OK] をクリックします。



4 [PostScript™プリンタ記述（PPD）ファイル] の [変更] をクリックします。



5 接続したプリンターの PPD ファイルを選択し、[選択] をクリックします。



6 [USBプリンタの選択：] で、[変更] をクリックします。



7 [USB プリンタの選択：] で、接続したプリンターを選択し、[OK] をクリックします。

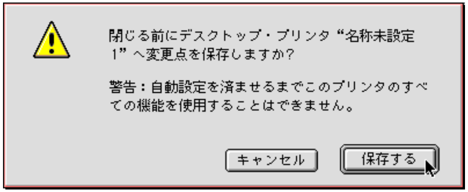


8 [作成] をクリックします。



メッセージが表示されます。

9 [保存する] をクリックします。



10 保存先と名称を指定し、[保存] をクリックします。



デスクトップにプリンターアイコンが表示されます。

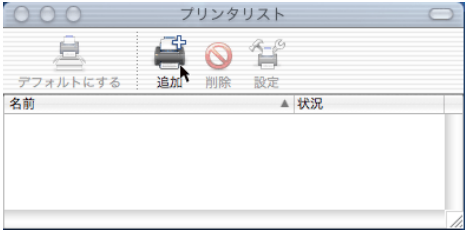
11 [デスクトップ・プリンタUtility] を終了します。

Mac OS X

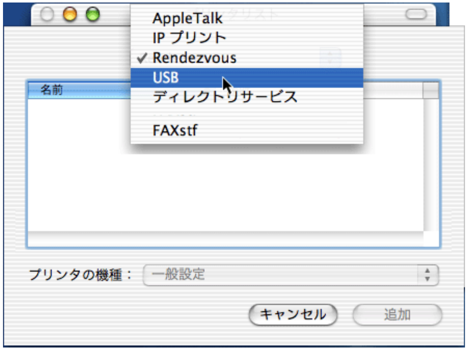
操作方法は、使用しているOSのバージョンによって多少異なります。ここではMac OS X 10.2.4を例に説明します。その他のバージョンをお使いの方は、本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

1 プリントセンターを起動します。

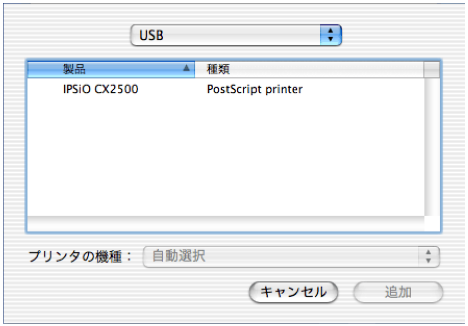
2 [追加] をクリックします。



3 ポップアップメニューから [USB] を選択します。



接続しているプリンターが表示されます。



4 プリンターを選択し、[プリンタの機種] ポップアップメニューから [RICOH] を選択します。

機種名の一覧が表示されます。

補足

❒ Mac OS X 10.1.xの場合、[プリンタの機種] ポップアップメニューに機種名の一覧が表示されます。ご使用の機種名を選択し、手順6に進んでください。

5 機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名を選択し、[追加] をクリックします。



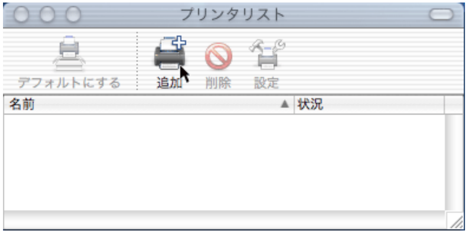
6 [プリンタリスト] を閉じ、プリントセンターを終了します。

Rendezvous を使う

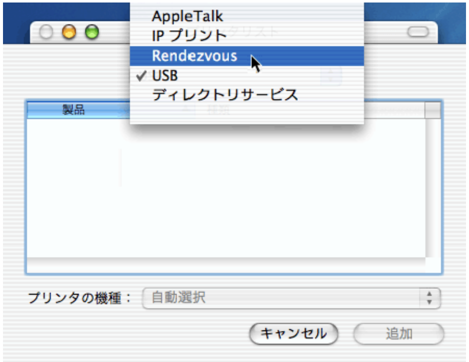
Mac OS X 10.2.3以降では、Rendezvousを使って本機に印刷できます。イーサネット接続、および無線LANで接続できます。

1 プリントセンターを起動します。

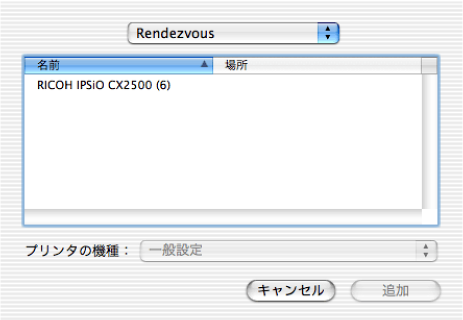
2 [追加] をクリックします。



3 ポップアップメニューから [Rendezvous] を選択します。



接続しているプリンターが表示されます。



4 **プリンターを選択し、[プリンタの機種]ポップアップメニューから[RICOH]を選択します。**

機種名の一覧が表示されます。

5 **機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名を選択し、[追加]をクリックします。**

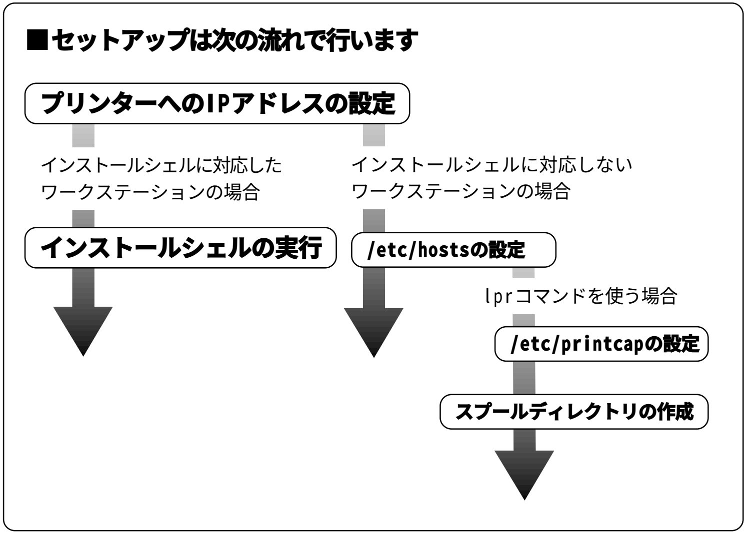


6 **プリンタリストを閉じ、プリントセンターを終了します。**

UNIXでネットワークプリンターを使用する場合のセットアップとプリンターの状態表示のしかたを説明します。

セットアップ

セットアップの作業を簡単に行えるようにインストールシェルが用意されています。インストールシェルは通常のリモートプリンターのセットアップ作業(/etc/hostsの設定、/etc/printcapの設定、スプールディレクトリの作成)をシェルスクリプトにより自動化して行います。



操作の前に

インストールシェルは次の6種類のワークステーションに対応しています。これ以外のワークステーションの場合はインストールシェルを使わないでセットアップしてください。

- SunOS 4.x.x
- Solaris 2.x (SunOS 5.x)、Solaris7、Solaris8
- HP-UX
- RedHat Linux
- UnixWare
- OpenServer

RedHat7.1**以降では、インストール時のセキュリティ設定により**rsh/telnet**が使用できないことがあります。セキュリティレベルを**rsh/telnet**で使用できるレベルに変更しておいてください。変更方法については**RedHat**の使用説明書を参照してください。**

NIS(Network Information Service)**や**DNS**を使用している場合は、あらかじめサーバ側の設定をしてからインストールシェルを実行してください。**

付属のプリンター設定ツールでも同様の設定ができるものがあります。それらを使用するときは各ツールのマニュアルを参照してください。

IP アドレスの設定

操作の前に

あらかじめプリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IP**プロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）。**
- IP**アドレスなど**TCP/IP**に関する項目を設定する。**

参照

設定方法の詳細については、使用説明書<システム設定編>「ネットワーク環境を設定する」を参照してください。

IP アドレスの確認

IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかワークステーション側から確認してください。

1 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
# ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
192.168.15.16 is alive
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
no answer from 192.168.15.16
```

補足

- ❒ NISを使用している場合はマスターサーバー上の/etc/hostsに、DNSを使用している場合はネームサーバー上のデータファイルにIPアドレスとホスト名を追加します。追加後、ホスト名を使って正しく設定されたか確認してください。

  ```
  # ping ホスト名
  ```

- ❒ サーバーに登録したホスト名はIPアドレスの代わりに使用できます。

インストールシェルの実行

プリンターに IP アドレスを設定したら、インストールシェルを使ってワークステーションの印刷環境をセットアップします。

補足

- ❒ インストールシェルはftpを使ってプリンターから取り出します。

1 プリンターを使用するワークステーションにrootでログインします。

補足

- ❒ rootでログインしないとインストールシェルが起動しません。

2 インストールシェルをプリンターから取り出します。

❶ インストールシェルをコピーするディレクトリに移動します。

❷ ftpコマンドで、設定したIPアドレスに接続します。

```
# ftp 192.168.15.16
Connected to 192.168.15.16
220 printer FTP server ready.
Name (192.168.15.16:root:)
```

❸ ユーザー名の入力待ち画面では何も入力しないでReturnキーを押します。

```
331 Password required for root.
Password:
```

❹ パスワードの入力待ち画面では何も入力しないでReturnキーを押します。

```
230 User root logged in.
ftp>
```

❺ インストールシェルを取り出します。

```
ftp> get install
```

❻ ftpを終了します。

```
ftp> bye
221 Goodbye.
#
```

3 インストールシェルを起動します。

```
# sh ./install
```

補足

❒ カレントディレクトリであることを示すピリオド（.）を付けてください。

4 使用しているワークステーションを数字で指定します。

```
Network printer install shell
 Copyright RICOH CO.,LTD. 1994-2003
 Select your workstation OS type.
  1. SunOS 4.x.x
  2. Solaris 2.x, Solaris 7-8(SunOS5.x)
  3. HP-UX
  4. UnixWare
  5. Linux
  6. OpenServer
  7. Quit
Enter <1-7>:
1
```

補足

❒「7」を指定するとインストールシェルは終了します。

5 プリンターのIPアドレスを入力します。

```
Enter Printer host IP address <xxx.xxx.xxx.xxx> [return=skip]:
192.168.15.16
```

補足

- ❒ ここで入力したIPアドレスが/etc/hostsに設定されます。⇒ P.157 「/etc/hostsへのIPアドレスとホスト名の追加」
- ❒ すでにプリンターのホスト名が登録されているときは、何も入力しないでReturnキーを押します。このとき/etc/hostsには何も追加されません。

6 プリンターのホスト名を入力します。

```
Enter Printer host name :
ricoh
```

補足

- ❒ ここで入力した名前が/etc/hostsと/etc/printcapに設定されます。ただし、手順5でIPアドレスを入力しなかったとき、/etc/hostsには何も追加されません。

7 プリンターの名前を設定します。

```
Enter logical printer name [default ricoh_prn]:
```

そのままReturnキーを押すと「default」に表示されている名前に設定されます。この名前を変更したいときは新しい名前を入力します。

補足

- ❒ ここで入力した名前が/etc/printcapに設定されます。⇒ P.158 「/etc/printcapへのエントリーの追加」
- ❒ 「default」には手順6で入力したホスト名に_prnを付けた名前が表示されます。手順6でホスト名を入力しなかったときはricoh_prnと表示されます。

8 印刷時のオプションを指定します。

オプションを指定しないときはそのままReturnキーを押します。

```
Enter remote printer name [default lp]:
filetype=RPS
hosts file is modified
#
```

インストールシェルによるセットアップが終了します。

参照

指定できるオプションについて詳しくは、P.166 「オプション指定」を参照してください。

補足

- ❒ ここでオプションを指定すると、入力した文字列が/etc/printcapのrpケーパビリティに設定されます(⇒P.157)。lprで印刷すると、このオプションを使って印刷されます。
- ❒ 同じプリンターに対して異なるオプションを指定して印刷するときは、インストールシェルをもう一度実行し、オプションごとにエントリーを作成してください。

9 テスト印刷してみます。

```
# lpr -Pricoh_prn ファイル名
```

インストールシェルの実行結果

インストールシェルを実行すると印刷環境が自動的にセットアップされます。

ここでは、SunOS 4.xでインストールシェルを実行した場合にセットアップされる内容について説明します。

補足

❒ インストールシェルを使わないでセットアップする場合は、ここでの説明を参考に各ワークステーションのマニュアルを参照してください。

/etc/hosts への IP アドレスとホスト名の追加

/etc/hostsに次の行が追加されます。

```
192.168.15.16   ricoh   # Network Printer
```

- 192.168.15.16はIPアドレス、ricohはプリンターのホスト名、#から行末まではコメントです。

補足

❒ /etc/hostsはネットワーク内で通信するすべてのホストのIPアドレスとホスト名を登録するファイルです。それぞれの項目はスペースかタブで区切られ、1行で入力されます。

❒ NIS や DNS を使用していない場合は、ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーション上の/etc/hostsに追加が必要です。

/etc/printcap へのエントリーの追加

/etc/printcapに次のエントリーが追加されます。

これはlprコマンドを使って印刷するための設定です。lprコマンドを使って印刷するには、/etc/hostsファイルの設定に加え、/etc/printcapにネットワークプリンターのためのエントリーを追加し、スプールディレクトリを作成する必要があります。

```
ricoh_prn|Ricoh Network Printer:\
        :rm=ricoh:\
        :rp=filetype=RPS:\
        :sd=/usr/spool/ricoh_prnd:\
        :lf=/usr/adm/ricoh_prnd-errs:\
        :mx#0:
```

補足

- ❒ /etc/printcapはプリンターの名前や属性を登録するファイルです。ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーションの/etc/printcapに、ネットワークプリンターのためのエントリーが必要です。
- ❒ 同じプリンターに対し異なるオプションを指定して印刷するときは、オプションごとにエントリーを作成してください。
- ❒ １つのエントリーはコロン（:）で複数のフィールドに区切られています。読みやすくするために途中に改行を入れることができ、その場合は改行の前にバックスラッシュ（\）を入力します。
- ❒ 1行目のフィールドはプリンターの名前です。ワークステーションからネットワークプリンターを指定するときに、この名前を使います。名前を「|」で区切ることにより複数の名前を定義できます。

❒ 2行目以降のフィールドはプリンターの属性です。プリンターの属性はケーパビリティと呼ばれる2文字の名前で表されます。ケーパビリティについて詳しくは次の表を参照してください。

ケーパビリティ	説明	ネットワークプリンターのための設定値
lp	プリンターのデバイス名	何も指定しない
rm	プリンターのホスト名	/etc/hostsに登録したホスト名
rp	オプション指定	印刷時のオプションを指定します。指定できるオプションについては、P.166「オプション指定」を参照してください。
sd	スプールディレクトリのパス名	作成するスプールディレクトリのパス名
lf	ログファイル名のパス名	ログを格納するファイルのパス名 たとえば/usr/adm/lpd-errs
mx	スプールディレクトリにコピー可能なファイルの最大サイズ。0を指定すると無制限、指定しないと1024kバイト。	指定しない、または適当な値

スプールディレクトリの作成

/usr/spool/ディレクトリにスプールディレクトリが作成されます。名前はプリンターの名前の最後にdを付けた名前です。

補足

- スプールディレクトリは、印刷を行うデータファイルの一時的なコピーが作成されるなど、印刷ジョブを制御するために使われます。ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーション上に、ネットワークプリンターのためのスプールディレクトリが必要です。
- スプールディレクトリは/etc/printcapに書き込まれたネットワークプリンターのエントリーごとに作成します。
- スプールディレクトリは通常/usr/spoolの下に作成します。スプールディレクトリは、/etc/printcapの中のsdケーパビリティで指定したパス名と一致させ、オーナーとグループをdaemon、許可モードを775に設定します。以下はスプールディレクトリとして/usr/spool/ricoh_prndを作成するときのコマンド入力例です。

```
# cd /usr/spool
# mkdir ricoh_prnd
# chown daemon ricoh_prnd
# chgrp daemon ricoh_prnd
# chmod 775 ricoh_prnd
```

ログファイルの作成

/usr/admディレクトリにエラーのログファイルが作成されます。名前はプリンターの名前の最後にd-errsを付けた名前です。

印刷方法

使用しているワークステーションに応じ、以下のようにコマンド入力します。

❖ BSD系UNIXワークステーションの場合

```
% lpr -Pプリンターの名前 ファイル名 [ファイル名...]
```

名前がricoh_prnのプリンターに、名前がfile1とfile2のファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
% lpr -Pricoh_prn file1 file2
```

❖ Solaris、HP-UXの場合

```
% lp -dプリンターの名前 ファイル名 [ファイル名...]
```

名前がricoh_prnのプリンターに、名前がfile1とfile2のファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
% lp -dricoh_prn file1 file2
```

補足

- ❒ プリンターの名前は、インストールシェル実行時に入力したプリンターの名前です。
- ❒ ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- ❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- ❒ タブコードや漢字コードがプリンターと合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- ❒「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です（最大5セッション）。印刷要求が4セッション以下になってから印刷し直してください。

rsh、rcp、ftp コマンドによる印刷

rsh、rcp、ftpコマンドを使って印刷することもできます。

補足

- ❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- ❒ タブコードや漢字コードがプリンターと合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- ❒「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。下表に示すセッション数以下になってから印刷し直してください。

コマンド/本体搭載メモリー	64MB以上
rcp、rsh	5
ftp	3

rsh

```
% rsh プリンターのホスト名 print [オプション] < ファイル名
```

補足

- ❒ プリンターのホスト名は、インストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。
- ❒ オプションは、プリンター固有のものを指定できます。詳しくはP.166「オプション指定」を参照してください。

rcp

❖ ファイルを指定して印刷する場合

% rcp [-b] ファイル名 [ファイル名...] プリンターのホスト名:[オプション]

❖ ディレクトリすべてのファイルを印刷する場合

% rcp -r ディレクトリ名 プリンターのホスト名:[オプション]

補足

- プリンターのホスト名は、インストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。
- オプションは、プリンター固有のものを指定できます。詳しくはP.166「オプション指定」を参照してください。
- ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- バイナリーファイルを印刷する場合は -b オプションを付けてください。

ftp

印刷するファイル数に応じてputまたはmputコマンドを使います。

制限

❒ ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。

❖ 印刷するファイルが1つの場合

`ftp> put ファイル名［オプション］`

❖ 印刷するファイルが複数の場合

`ftp> mput ファイル名［ファイル名...］`

制限

❒ mputコマンドではオプションを指定できません。

補足

❒ mputコマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

ftpを起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 プリンターのIPアドレス（またはホスト名）を引数にしてftpコマンドを起動します。

```
% ftp プリンターのIPアドレス
```

補足

- ホスト名はインストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。

2 必要に応じてユーザー名を入力し、パスワードは何も入力しないでReturnキーを押します。

```
Name:
Password:
```

3 バイナリーファイルを印刷するときはファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

補足

- バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

4 印刷するファイルを指定します。

補足

- file1という名前のファイルをRPCSで印刷する例

```
ftp> put file1 filetype=RCS
```

- file1とfile2という名前のファイルを印刷する例

```
ftp> mput file1 file2
```

5 ftpを終了します。

```
ftp> bye
```

オプション指定

以下に示すオプションを使うことにより、プリンター固有の機能を使った印刷ができます。

制限

- プリンターが認識できるオプション文字列は最大512バイトです。
- PostScript 3をご使用の場合のオプション文字列は、最大256バイトです。
- OSによってはオプションとして入力できる文字数に制限があります。オプションの省略形を使っても文字数の制限を超えてしまう場合は、プリンターのプログラム登録を使ってください。

補足

- 複数のオプションを指定するときはカンマ（,）で区切って入力します。
- Solaris2.6以上でオプションを指定するときはイコール（=）の代わりにアンダーライン（_）を使用します。複数のオプションを指定するときはカンマ（,）の代わりにセミコロン（;）を使用します。
- 印刷するファイルの中にオプション指定を制御するコマンドが含まれている場合は、その内容が優先します。
- lprで印刷するときのオプションはインストールシェル実行時に入力します。一度設定したオプションを変更する方法については、P.177「オプション指定の変更方法」を参照してください。
- イコール（=）を含まないオプションを単独で指定するときは、オプションの先頭にカンマ（,）を追加します。

エミュレーションとプログラム

印刷時に使用するエミュレーションまたはプログラムを指定します。

filetype（またはfil）=エミュレーションの指定値（またはプログラム登録番号の指定値）

エミュレーション	RPCS	RPDL	R98	R16	R55	PostScript 3	PDF
指定値	RCS	R00	R98	R16	R55	RPS	PDF

* 搭載していないエミュレーションは指定しても無効です。

プログラム登録番号	プログラム 1	プログラム 2	プログラム 3	プログラム 4	プログラム 5	プログラム 6	プログラム 7	プログラム 8
指定値	P01	P02	P03	P04	P05	P06	P07	P08
プログラム登録番号	プログラム 9	プログラム 10	プログラム 11	プログラム 12	プログラム 13	プログラム 14	プログラム 15	プログラム 16
指定値	P09	P10	P11	P12	P13	P14	P15	P16

* プログラム機能のない機種の場合は無効です。

PostScript 3で印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print filetype=RPS < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:filetype=RPS
<ftp>   ftp> put file1 filetype=RPS
```

cdコマンドによるオプションの指定

ftpで印刷する場合は、cdコマンドを使ってオプションを指定することができます。これにより、putまたはmputコマンド使用時にそのオプションが有効になります。

```
ftp> cd オプション
```

補足

- ❒ 現在設定されているオプションを表示するにはpwdコマンドを使います。

```
ftp> pwd
```

漢字フィルター

漢字フィルターを使用すると、作成したテキストファイルと同じ漢字コードで印刷できます。

制限

- ❒ エミュレーションが RPDL のときに有効です。漢字フィルターを指定するときはエミュレーションとしてRPDL（filetype=R00）を指定します。

```
filter（またはflt）=漢字コードの指定値
```

漢字コード	EUC	JIS	シフトJIS
指定値（省略値）	EUC（E）	JIS（J）	SJIS（S）

EUC 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print filetype=R00,filter=EUC < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:filetype=R00,filter=EUC
<ftp>   ftp> put file1 filetype=R00,filter=EUC
```

給紙トレイ

給紙トレイを指定します。

制限

- ❒ エミュレーションがRPDL、PostScript 3、またはPDFのときに有効です。
- ❒ 増設していないトレイを指定しても無効です。

❖ RPDL
tray=給紙トレイの指定値

給紙トレイ	給紙トレイ1	給紙トレイ2
指定値	1	2

補足

- ❒ 給紙トレイの指定値はプリンター情報（例:ftpのls info）で得られる給紙トレイ番号に対応しています。プリンター情報については、使用説明書＜システム設定編＞の「付録」を参照してください。

給紙トレイ2の用紙に印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print tray=2 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:tray=2
<ftp>   ftp> put file1 tray=2
```

❖ PostScript 3、PDF
tray=給紙トレイの指定値

給紙トレイ	給紙トレイ1	給紙トレイ2	自動トレイ選択
指定値	tray1	tray2	all

トレイ 2 **の用紙に印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名** ricoh、**ファイル名** file1**）**

```
<rsh>   % rsh ricoh print tray=tray2 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:tray=tray2
<ftp>   ftp> put file1 tray=tray2
```

用紙サイズ

用紙サイズを指定します。

制限

- ❒ エミュレーションがRPDLまたはPostScript 3のときだけ有効です。
- ❒ 存在しない用紙サイズは指定しても無効です。

paper=用紙サイズの指定値

RPDLの指定値
A4（A4縦）、A5（A5縦）、B5（B5縦）、LT（Letter縦）、JPOST（はがき縦）、CUSTOM

PostScript 3の指定値
a4（A4）、a5（A5）、jisb5（B5）、letter（8 1/2×11）、jpost（はがき）、custom（不定形サイズ）

A4の用紙に印刷する場合のRPDLでのコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print paper=A4 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:paper=A4
<ftp>   ftp> put file1 paper=A4
```

用紙種類

用紙の種類を指定します。

制限

- ❒ **エミュレーションが**PostScript 3**または**PDF**のときに有効です。**
- ❒ **存在しない用紙種類は指定しても無効です。**

mediatype=**用紙種類の指定値**

指定値
plain（**普通紙**）、recycled（**再生紙**）、special（**特殊紙**）、thick（**厚紙**）、transparency（OHP **フィルム**）、color（**色紙**）、letterhead（**レターヘッド付き用紙**）、labels（**ラベル**）、glossy（**光沢紙**）、plainorrecycled（**普通紙または再生紙**）

再生紙の用紙に印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、**ファイル名**file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print mediatype=recycled < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:mediatype=recycled
<ftp>   ftp> put file1 mediatype=recycled
```

印刷部数

印刷部数を指定します。

制限

- ❒ エミュレーションがRPDL、PostScript 3、またはPDFのときに有効です。
- ❒ 漢字フィルターを指定すると、印刷部数の指定は無効になります。
- ❒ PostScript 3の場合、「qty」と同時に指定しないでください。

copies=印刷部数（1～999）

10部印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print copies=10 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:copies=10
<ftp>   ftp> put file1 copies=10
```

ソート部数

ソートする印刷部数を指定します。

制限

- ❒ エミュレーションがPostScript 3またはPDFのときに有効です。
- ❒「copies」と同時に指定しないでください。
- ❒ SDRAMモジュールの増設、または、オプションの拡張HDDが必要です。どちらもない場合にソート部数を指定したときは、１部だけ出力されます。

qty=ソート部数（1〜999）

10部ソートして印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print qty=10 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:qty=10
<ftp>   ftp> put file1 qty=10
```

両面印刷

用紙の両面に印刷できます。

制限

- ❒ エミュレーションがRPDL、PostScript 3、またはPDFのときに有効です。
- ❒ プリンター側にオプションの両面印刷ユニットが必要です。

❖ RPDL

bothside または bothleft （左とじ）

bothright （右とじ）

flip （上とじ）

singleside （両面印刷の解除:片面印刷）

補足

- ❒ 印刷オプションに漢字フィルターを指定している場合、両面印刷されないことがあります。このようなときは、漢字フィルターの指定をしないでください。
- ❒ 印刷データによって印刷したあと両面印刷が解除されないことがあります。次の印刷時にも両面印刷されるときはsinglesideを指定してください。

左とじで両面印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print bothside < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:bothside
<ftp>   ftp> put file1 bothside
```

❖ PostScript 3およびPDF

duplex=両面印刷の指定値,binding=とじ位置の指定値

両面印刷	する	しない
指定値	on	off

とじ方向	左とじ	上とじ	右とじ	短辺でとじる	長辺でとじる
指定値	left	top	right	shortedge	longedge

両面印刷でとじ位置を長辺にする場合のコマンド例は次のとおりです（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）。

```
<rsh>   % rsh ricoh print duplex=on,binding=longedge < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:duplex=on,binding=longedge
<ftp>   ftp> put file1 duplex=on,binding=longedge
```

解像度

印刷する解像度を指定します。

制限

❒ エミュレーションがPostScript 3またはPDFのときに有効です。

resolution=解像度の指定値

解像度		300×300	600×600
指定値	resolution	300	600

600×600dpiで印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print resolution=600 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:resolution=600
<ftp>   ftp> put file1 resolution=600
```

オプション指定の変更方法

lprで印刷するときにはインストールシェル実行時に指定したオプションが使われます。一度設定したオプションを変更したい場合は、使用しているワークステーションに応じて次のように操作します。

❖ BSD系UNIXワークステーション

/etc/printcap から変更するプリンターのエントリーを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします（(⇒ P.153)）。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。
または、/etc/printcapから変更するプリンターのエントリーを探し、そのrpケーパビリティを新しいオプション指定に変更します（⇒ P.158 「/etc/printcapへのエントリーの追加」）。

❖ Solaris、HP-UX

変更するプリンターのエントリーを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします（⇒ P.153 「インストールシェルの実行」）。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。プリンターのエントリーを削除するには、以下のように操作します。

① スケジューラを停止します。

```
# /usr/sbin/lpshut
```

② プリンターを削除します。

```
# /usr/sbin/lpadmin -x プリンターの名前
```

③ スケジューラを再起動します。

```
# /usr/lib/lp/lpsched
```

プリンターの状態表示

BSD系UNIXワークステーションの場合、以下のコマンドを使ってプリンターの状態や情報を表示したりファイルにコピーすることができます。

表示する場合

lpqコマンドを使ってプリンターの状態（ステータス）とプリントジョブ情報を表示できます。

```
% lpq -Pプリンター名
```

rshコマンドまたはftpを使って、指定したパラメータに応じた内容を表示できます。

```
% rsh プリンターのホスト名 パラメータ
```

```
% ftp プリンターのホスト名
User: ユーザー名
password:
ftp> get パラメータ -
```

rsh、rcp、ftpで指定できるパラメータには次の種類があります。

パラメータ	表示またはコピーできる内容	参照先
stat	プリンターの状態（ステータス）	⇒使用説明書<システム設定編>「付録」
	印刷ジョブの情報（プリントジョブ情報）	
info	給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション	
prnlog	これまでに印刷した16件分の記録（プリントログ情報）	
syslog	イーサネットボードに関して発生したメッセージの記録（システムログ情報）	

ファイルにコピーする場合

rcpコマンドまたはftpを使って、指定したパラメータに応じた内容をファイルにコピーできます。

補足

❒ パラメータの種類は表示する場合と同じです。

```
% rcp プリンターのホスト名：パラメータ ファイル名
```

```
% ftp プリンターのホスト名
User: ユーザー名
password:
ftp> get パラメータ ファイル名
```

8. NetWare で使う

WindowsをNetWareのクライアントとして使用する場合のセットアップ方法を説明します。

ここでの説明はクライアントにNetWareクライアントソフトウェアがインストールされ、NetWareのサーバーと正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。設定されていない場合は、クライアント側に必要なソフトウェアを組み込んでからセットアップを行ってください。

NetWareのファイルサーバーにログインした状態で操作してください。操作例は次の条件で設定しています。

- OS：Windows 98
- NetWareのバージョン：4.1J
- ファイルサーバーの名前：CAREE
- キューの名前：R-QUEUE

Windows のセットアップ

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

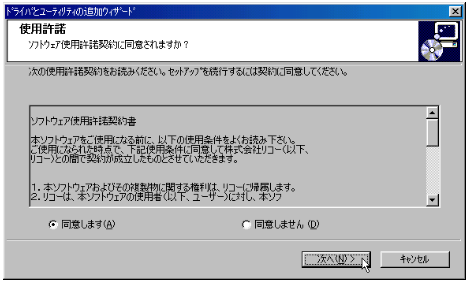
補足

- システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

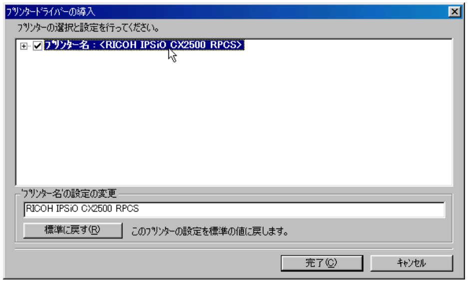
2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。



3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。



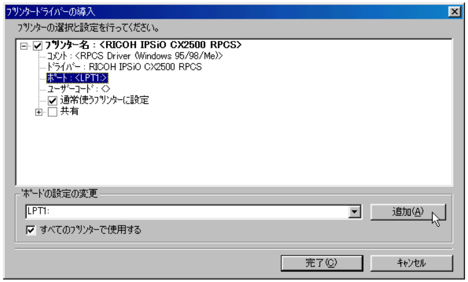
4 [プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。



補足

- [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

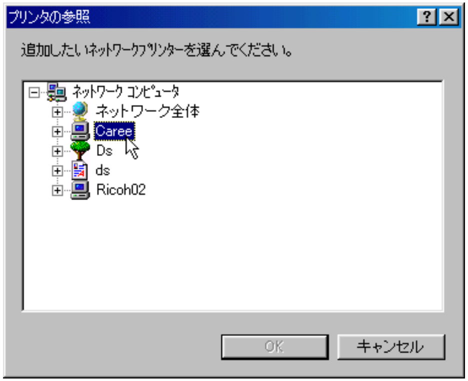
5 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。



6 [ネットワークプリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。



7 ネットワークツリー上で、NetWareのファイルサーバーの名前をダブルクリックします。

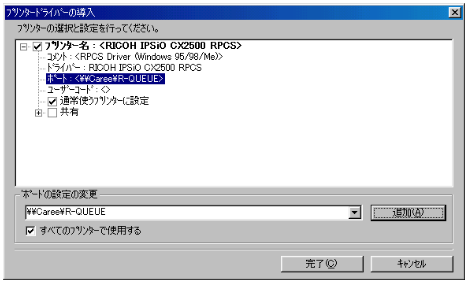


作成されているキューが展開されます。

8 印刷するキューをクリックして反転表示させ、[OK]をクリックします。



9 [ポート :]に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

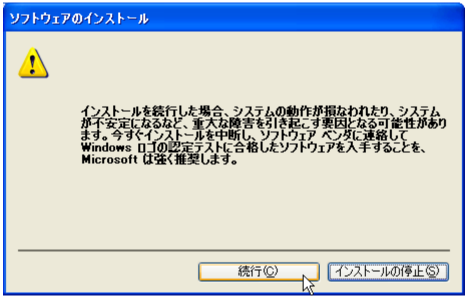


10 [完了]をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

❒ インストールの途中で、「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、下のような画面が表示されることがあります。その場合、[はい]または[続行]を選択して、インストールを続行してください。



11 [コンポーネントの選択]ダイアログが表示されたら、[完了]をクリックします。

12 [導入完了]ダイアログが表示されたら、[完了]をクリックします。

13 [プリンタ]ウィンドウからプリンターのプロパティを開きます。

補足

- ❒ Windows XPをお使いの場合、[プリンタとFAX]ウィンドウからプリンターのプロパティを開きます。

制限

- ❒ Windows 2000、Windows XP Professional、Windows NT 4.0でプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

14 [プリンタ設定]タブをクリックします。

補足

- ❒ Windows 2000/XPまたは、Windows NT 4.0をお使いの場合は、[NetWare設定]タブをクリックします。

15 [フォームフィード]と[バナーの使用]のチェックを両方とも外します。

補足

- ❒ Windows のプリンタードライバーで改ページの制御を行っているので、フォームフィード(用紙送り)をNetWare上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

PostScript 印刷するとき

PostScript 3を含んだモジュールを使ってPostScript印刷するときは、次の設定をします。

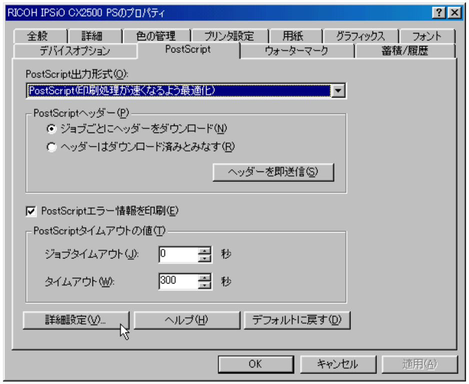
1 [プリンタ]ウィンドウ、または[プリンタとFAX]ウィンドウからプリンターのプロパティを開きます。

2 [PostScript]タブをクリックします。

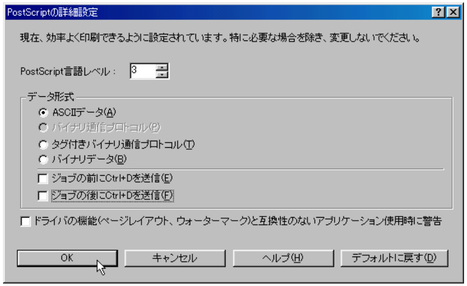
補足

- ❒ Windows 2000/XPまたは、Windowws NT 4.0をお使いの場合は、[デバイス設定]タブをクリックして、手順**4**にお進みください。

3 [詳細設定]をクリックします。



4 ［ジョブの前にCtrl+Dを送信］と［ジョブの後にCtrl+Dを送信］のチェックを両方とも外し、［OK］をクリックします。



5 ［OK］をクリックし、プロパティを閉じます。

ファイル一覧

CD-ROM	SETUP.EXE Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0で動作する、プリンタードライバーやユーティリティのインストーラーです。何らかの要因でオートランが働かない場合は、このプログラムを起動します。			
	DRIVERS ⇒ P.188	RPCS	WIN9X_ME	Windows 95/98/Me用プリンタードライバー
			NT4	Windows NT 4.0用プリンタードライバー
			WIN2K_XP	Windows 2000/XP、Windows Server 2003用プリンタードライバー
		USBPRINT	WIN98ME	USB Printing Supportドライバー
	NETWORK	RIDOCIO	NAVI ⇒ P.193	Ridoc IO Navi
			ADMIN ⇒ P.190	Ridoc IO Admin
	UTILITY	RIDOCDSK ⇒ P.196	Ridoc Desk 2000 Lt	
	ICM	プリンタ用カラープロファイルデータ		
	FONTS ⇒ P.198	WIN95NT	TrueTypeWorld Windows 版	
	MANUAL ⇒ P.204	JAPANESE	各種マニュアル（PDFファイル）	
	HELP ⇒ P.204	WSMHLP	JA	Webブラウザによる管理（日）
			EN	Webブラウザによる管理（英）

CD-ROMの内容は次の手順で見ることができます。

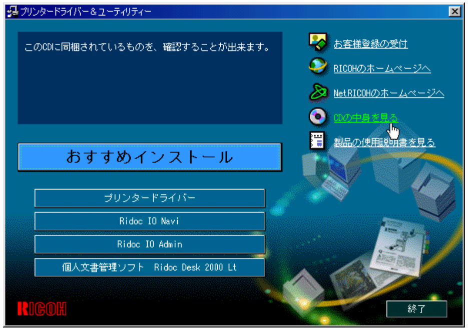
1 **本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。**

インストーラーが起動します。

補足

- ❒ **システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。**

2 **［CDの中身を見る］をクリックします。**



エクスプローラーが起動し、CD-ROMの内容が表示されます。

プリンタードライバー

プリンタードライバーは、Windowsから印刷するために必要なソフトウェアです。印刷するためには、必ずインストールする必要があります。

❖ **ファイル格納場所**
付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- Windows 95/98/Me用プリンタードライバー
  `DRIVERS\RPCS\WIN9X_ME`

  補足

  ❒ Windows 98/Me用のプリンタードライバーは、Windows 95用と共通です。
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003用プリンタードライバー
  `DRIVERS\RPCS\WIN2K_XP`
- Windows NT 4.0用プリンタードライバー
  `DRIVERS\RPCS\NT4`

❖ プリンタードライバーの動作環境

- **パソコン**
  対象OSが問題なく動作する、PC/AT互換機、NEC PC-9821シリーズ

制限

❒ Windows NT 4.0で使用する場合、RISCベースのプロセッサ（MIPS Rシリーズ、Alpha AXP、Power PC）環境では動作しません。

- **対象OS**
  Microsoft Windows 95 日本語版
  Microsoft Windows 98 日本語版
  Microsoft Windows Me 日本語版
  Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  Microsoft Windows 2000 Advanced Server 日本語版
  Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
  Microsoft Windows XP Professional 日本語版
  Microsoft Windows Server 2003 日本語版
  Microsoft Windows NT Server 4.0 日本語版
  Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版

- **ディスプレイ解像度**
  800×600ドット以上

Ridoc IO Admin

Ridoc IO AdminはTCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使ってネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。IPアドレスを持つ複数のネットワークプリンターの管理が可能です。ネットワーク管理者の方がお使いになることをお勧めします。

❖ **ファイル格納場所**
付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK\RIDOCIO\ADMIN

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版	Windows 95/98/Meに付属のTCP/IPプロトコル Windows 95/98/Meに付属のIPX/SPX互換プロトコル Windows 95/98/Meに付属のNetWare ネットワーククライアント NetWare Client32 for Windows 95 IntranetWare Client for Windows 95 Novell Client for Windows 95/98
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル Windows 2000に付属のIPX/SPXトランスポート Windows 2000に付属のNetWare用クライアント
Microsoft Windows XP日本語版	Microsoft Windows XPに付属のTCP/IPプロトコル Microsoft Windows XPに付属のIPX/SPXトランスポート Microsoft Windows XPに付属のNetWare用クライアント

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows Server 2003 日本語版	Microsoft Windows Server 2003に付属のTCP/IPプロトコル Microsoft Windows Server 2003に付属のIPX/SPXトランスポート Microsoft Windows Server 2003に付属のNetWare用クライアント
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 4.0に付属のTCP/IPプロトコル Windows NT 4.0に付属のIPX/SPX互換プロトコル Windows NT 4.0に付属のClient Service for NetWare NetWare Client32 for Windows NT IntranetWare Client for Windows NT Novell Client for Windows NT/2000

補足

❒ プロトコルスタックは、ご使用のOSに最適なものを選択してください。

❖ どんなことができるのか？

Ridoc IO Adminでは以下の操作ができます。

- 機器の操作パネルからの設定を制限し、一部の項目を変更できないようにします。
- 機器にセットされている用紙の種類を設定できます。
- 省エネモードへの切り替え、復帰などを設定できます。
- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 同時に複数のプリンターを監視できます。プリンターの台数が多いときはグループを作り、管理しやすいようにプリンターを分類できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- プリンターで印刷したページ数をユーザーコード別に確認できます。
- パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。
- ユーザーコードを使った各ユーザーごとの印刷枚数を確認できます。

参照

管理者向けの操作については、使用説明書<システム設定編>「Ridoc IO Adminを使う」を参照してください。

Ridoc IO Adminの使いかたについては、ヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi

Ridoc IO Naviは以下のような機能を備えたソフトウェアです。プリンターをご使用になるすべての方がインストールされることをお勧めします。

- Windows 95/98/Me/2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0からTCP/IPプロトコル、NetBEUI、IPPを使用して、Peer-to-Peerネットワークで印刷する機能を提供します。
- TCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使用してネットワークにある機器の状態を常に監視できる機能を提供します。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

`NETWORK\RIDOCIO\NAVI`

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版	Windows 95/98/Meに付属のTCP/IPプロトコル Windows 95/98/Meに付属のNetBEUIプロトコル Windows 95/98/Meに付属のIPX/SPXプロトコル NetWare Client32 for Windows 95 Intranetware Client for Windows 95 Novell Client for Windows 95/98
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル Windows 2000に付属のNetBEUIプロトコル Windows 2000に付属のIPX/SPXトランスポート
Microsoft Windows XP日本語版	Microsoft Windows XPに付属のTCP/IPプロトコル Microsoft Windows XPに付属のIPX/SPXトランスポート Microsoft Windows XPに付属のNetWare用クライアント

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows Server 2003 日本語版	Microsoft Windows Server 2003に付属のTCP/IPプロトコル Microsoft Windows Server 2003に付属のIPX/SPXトランスポート Microsoft Windows Server 2003に付属のNetWare用クライアント
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 4.0に付属のTCP/IPプロトコル Windows NT 4.0に付属のNetBEUIプロトコル Windows NT 4.0に付属のIPX/SPXトランスポート NetWare Client for Windows NT Intranetware Client for Windows NT Novell Client for Windows NT/2000

補足

❒ プロトコルスタックは、ご使用のOSに最適なものを選択してください。

❖ どんなことができるのか？

Ridoc IO Naviでは以下の操作ができます。

- Peer-to-Peerプリント機能
  - プリントサーバが無くても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
  - 指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
  - 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
  - 並行/代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。

- 機器監視機能
  - 印刷中、用紙切れなど機器の情報をパソコン上で確認できます。
  - 複数台の機器を使い分けているときは、それらを同時に監視できます。
  - 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
  - ユーザー IDを使ったジョブの履歴を確認できます。
- 印刷が完了したときに、[印刷通知] ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件により通知するかどうかを設定することができます。

制限

❒ 代行印刷/並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターのオプション構成を一致させてください。印刷に必要なオプション(例えばオプションの給紙テーブルなど)が代行プリンターに装着されていない場合、オプションを使用する機能は無効になります。

❒ 代行印刷/並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターに同じサイズの用紙をセットしてください。特定の給紙トレイを指定して印刷するときは、同じトレイに同じサイズの用紙をセットしてください。

❒ 代行印刷/並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターの機種や装備が違う場合、印刷結果が同じにならないことがあります。

❒ 試し印刷や機密印刷をする場合、代行印刷/並行印刷はできません。

参照

Ridoc IO Naviの使いかたについては、ヘルプを参照してください。

Ridoc Desk 2000 Lt

Ridoc Desk 2000 Ltは、アプリケーションソフトで作成したファイル、スキャナで入力した画像データ、既存のイメージファイルなど、多様なデータを1つの文書として管理・印刷することができます。

Ridoc Desk 2000 Ltのインストールと同時にJob Binder機能もインストールされます。Job Binder機能では、複数のアプリケーションで作成したファイルやRidoc Desk 2000 Lt文書を、Ridoc Desk 2000 LtのJobBinderフォルダに保存しておき、1つの文書として印刷したり、プレビュー機能で仕上がり状態を確認しながら保存した印刷データを後でステープル、両面などの指示をかけて印刷することができます。また、印刷する順番を後で変更することもできます。

❖ **ファイル格納場所**

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

`UTILITY\RIDOCDSK`

❖ Ridoc Desk 2000 Ltの動作環境

- **パソコン**
  対象OSが問題なく動作するPC/AT互換機

制限

❒ NEC PC-9800シリーズ、PC-9821シリーズ、PC98-NXシリーズでは動作しません。

❒ Windows NT 4.0で使用する場合、RISCベースのプロセッサ（MIPS Rシリーズ、Alpha AXP、Power PC）環境では動作しません。

- **対象OS**
  Microsoft Windows 95 OSR2以上 日本語版
  Microsoft Windows 98、98 SE 日本語版
  Windows Me 日本語版
  Windows 2000 Professional 日本語版（Service Pack 1以上）
  Windows 2000 Server 日本語版（Service Pack 1以上）
  Windows 2000 AdvancedServer 日本語版
  Windows XP Home Edition 日本語版
  Windows XP Professional 日本語版
  Windows NT WorkStation 4.0 日本語版（Service Pack 5以上）
  Windows NT Server 4.0 日本語版（Service Pack 5以上）

- **ディスプレイ解像度**
  SVGA　800×600ドット以上

参照

Ridoc Desk 2000 Ltの使い方については、ヘルプを参照してください。

TrueTypeWorld

❖ **ファイル格納場所**

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- TrueTypeWorld Windows 95版

  FONTS\WIN95NT

参照

インストール対象のOSについては、P.201 「基本仕様」**を参照してください。**

❖ 書体見本

以下のTrueTypeフォント20書体が収録されています。

羽衣L
愛の広がる美しいフォント

羽衣E
愛の広がる美しいフォント

高橋隷書体
愛の広がる美しいフォント

江戸文字勘亭流
愛の広がる美しいフォント

行刻
愛の広がる美しいフォント

半古印体
愛の広がる美しいフォント

行書体
愛の広がる美しいフォント

祥南行書体
愛の広がる美しいフォント

正楷書体
愛の広がる美しいフォント

創英角ポップ体
愛の広がる美しいフォント

創英丸ポップ体
愛の広がる美しいフォント

白洲ペン楷書体
愛の広がる美しいフォント

白洲行草書体
愛の広がる美しいフォント

白洲太楷書体
愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W3
愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W9
愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W4
愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W8
愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W3
愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W9
愛の広がる美しいフォント

各書体のフォント名、字母メーカーは以下のとおりです。

フォント名	書体名	字母メーカー名
HG～（注）	羽衣L	株式会社大谷デザイン研究所
HG～（注）	羽衣E	株式会社大谷デザイン研究所
HG～（注）	高橋隷書体	株式会社ブリッジ
HG～&HGP～＆HGS～	江戸文字勘亭流	株式会社晃文堂
HG～&HGP～＆HGS～	行刻	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～＆HGS～	半古印体	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～＆HGS～	行書体	株式会社リコー
HG～&HGP～＆HGS～	祥南行書体	有澤祥南
HG～&HGP～＆HGS～	正楷書体	日本活字工業株式会社
HG～&HGP～＆HGS～	創英角ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～＆HGS～	創英丸ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～＆HGS～	白洲ペン楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	白洲行草書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	白洲太楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	平成角ゴシック体™ W3	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成角ゴシック体™ W9	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成丸ゴシック体™ W4	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成丸ゴシック体™ W8	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成明朝体 W3	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成明朝体 W9	（財）日本規格協会

※フォント名の『～』の個所には書体名が入ります。『HG～』のみの場合は和文プロポーショナルに対応していません。

（注）Windows3.1のフォーマットで収録しています。

基本仕様

7,602文字（MS標準キャラクタセットに準拠、JIS漢字第一水準、第二水準を含む）

フォーマット/Microsoft Windows 95日本語版準拠のTrueType Collection形式（拡張子: ttc）

補足

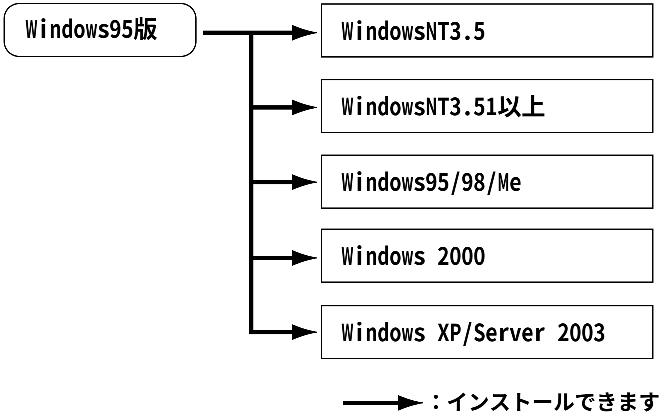
- ❒ Windows 95以降で和文プロポーショナルフォントを使用できるようになります。
- ❒ フォントファイルに組み込まれたフォント情報によって書体表示名が異なります。

「HGP～」	半角文字・非漢字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HGS～」	半角文字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HG～」	固定ピッチ情報のみ格納

- ❒ 和文プロポーショナル機能を使用するには、TrueType Collectionに対応しているアプリケーションが必要です。
- ❒ 羽衣L、羽衣E、高橋隷書体は、Windows3.1版のフォーマットで収録されています。

❖ インストール対応図

Windows 95版は、以下のOSに対してインストールすることができます。



Windows へのインストール

ここでは、操作例としてWindows 95/98/Meへのインストール方法を説明しています。その他のOSへのインストール方法については、OSに付属の説明書を参照してください。

制限

- ❒ インストールされているフォント数が多いとシステムが不安定になる恐れがあります。
- ❒ リモートドライブ（ネットワーク上のドライブ）にインストールしないでください。アプリケーションからフォントを選択するときに他のフォントが見えなくなるなどの障害が発生する恐れがあります。

補足

- ❒ Windowsをインストールしたハードディスクに、1書体当たり約２～８MB（書体によって異なります）の空き容量が必要です。
- ❒ インストール後、フォント名は、Windows 95版フォントでは３つの書体名「HG～」、「HGP～」、「HGS～」と表示されます。たとえば「行書体」の場合、コントロールパネルのフォントフォルダの中では、フォント名が「HG行書体＆HGP行書体＆HGS行書体」と表示されます。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［コントロールパネル］の［フォント］をダブルクリックします。

3 ［ファイル］メニューの［新しいフォントのインストール］をクリックします。

4 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

5 ［ドライブ］ボックスのドロップダウンメニューからCD-ROMドライブを選択します。

6 ［フォルダ］ボックスで、［Fonts］→［Win95nt］の順にフォルダを開きます。

7 ［フォントの一覧］ボックスにフォント名が表示されるので、インストールするフォントをクリックして反転表示させます。

8 ［フォントフォルダにフォントをコピーする］に✓印が付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

これでインストールは終了です。

オンラインマニュアル

本説明書をはじめとする、各種のオンラインマニュアルがPDFファイル形式、ヘルプファイル形式で収められています。

❖ **ファイル格納場所**
付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- **各種使用説明書**

  MANUAL\JAPANESE

- **Webブラウザによる管理**
  - **日本語版**

    HELP\WSMHLP\JA

  - **英語版**

    HELP\WSMHLP\EN

補足

❒ **Webブラウザによるイーサネットボードの設定方法がHTML形式で格納されています。**

❒ **Internet Explorer3.02以上またはNetscape Navigator3.0以上のWebブラウザを起動し、「index.html」を開いてお読みください。**

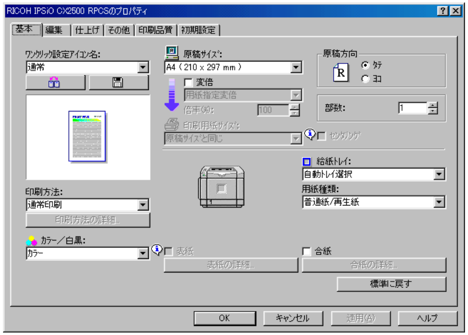
2 種類の操作画面

プリンタードライバーの設定画面は「機能別ウィンドウ」と「ワンクリック設定」の２つの表示タイプがあります。

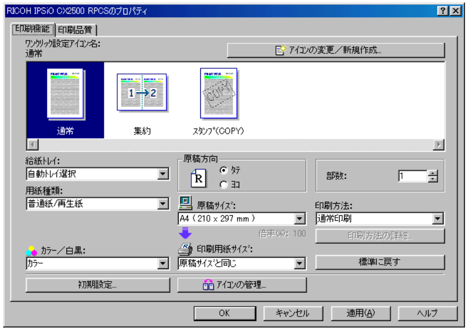
本書では「機能別ウィンドウ」の画面例を使用しています。表示タイプの切り替え方について詳しくはヘルプの「プリンタードライバーのウィンドウタイプを切り替える」を参照してください。

❖ 機能別ウィンドウ

印刷のたびに設定を変更することが多く、さまざまな印刷をする方に向いているウィンドウタイプです。



❖ **ワンクリック設定**
あまり印刷条件を変えず、いつも決まった印刷のしかたをする方に向いているウィンドウタイプです。



補足

❒ **ワンクリック設定の表示はオプションの装着状態によって変化することがあります。**

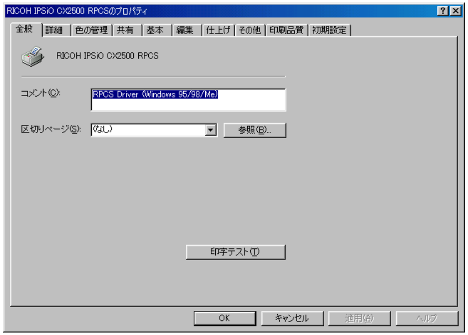
Windows 95/98/Me の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows 95/98/Meには、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が２種類あります。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］または［情報］、［詳細］、［色の管理］、［共有］、［基本］、［編集］、［仕上げ］、［その他］、［印刷品質］、［初期設定］タブが表示されます。
表示方法について詳しくはP.209「印刷の初期値を設定する」を参照してください。



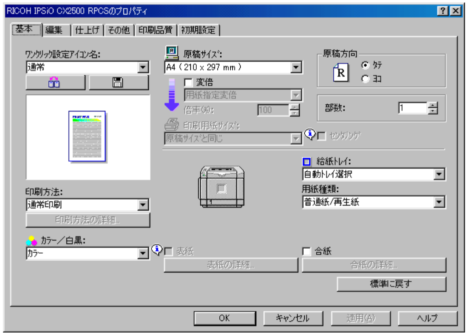
［全般］または［情報］、［詳細］、［色の管理］、［共有］タブはWindows 95/98/Meが追加するタブで、Windows 95/98/Meの機能に関する設定を行います。
［基本］、［編集］、［仕上げ］、［その他］、［印刷品質］、［初期設定］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

制限

❒ Windows 95をお使いの場合、［色の管理］タブは表示されません。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定] タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.210 「アプリケーションごとに設定する」を参照してください。



[プリンタ] ウィンドウから表示させたプリンターのプロパティで設定した内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

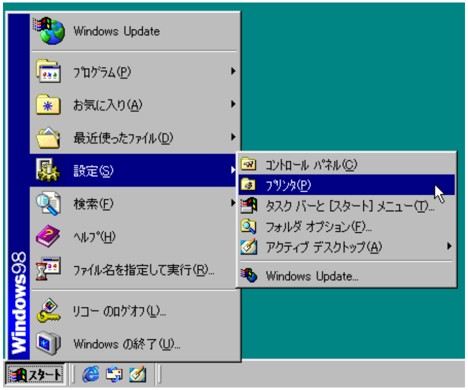
補足

- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

印刷の初期値を設定する

アプリケーションから印刷するときの初期値を設定するには、プリンターのプロパティを［プリンタ］ウィンドウから表示させて設定します。

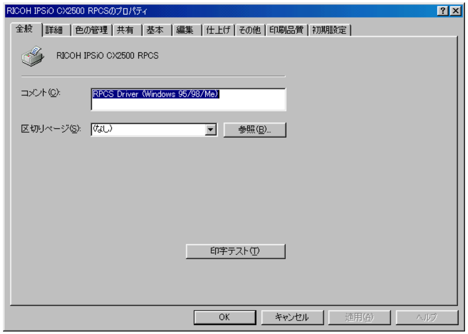
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



プリンターのプロパティが表示されます。



参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows 98に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

補足

- ❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

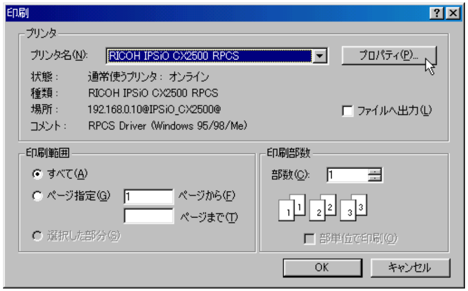


[印刷] ダイアログが表示されます。

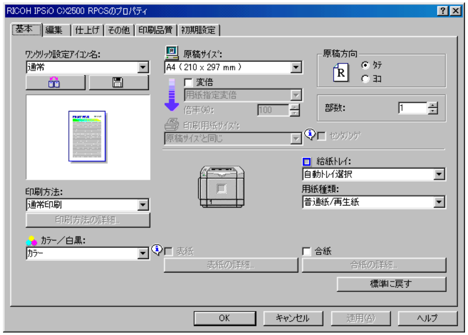
補足

- ❒ 印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 ［プロパティ］をクリックします。



プリンターのプロパティが表示されます。



参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

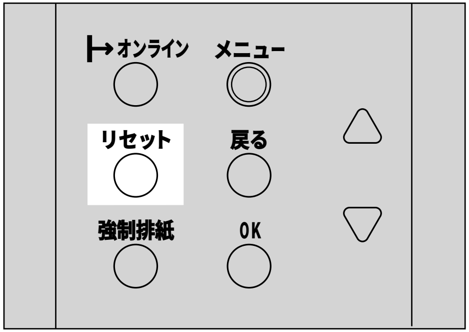
1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【リセット】キーを押します。



操作パネルのディスプレイに「ジョブリセットシマスカ？」と表示されます。

❷【▲】または【▼】キーを押して、印刷中のジョブだけを中止するか、すべてのジョブを中止するかを選択します。

- 印刷中のジョブだけを中止する場合

```
ｼﾞｮﾌﾞﾘｾｯﾄｼﾏｽｶ?
ｶﾚﾝﾄｼﾞｮﾌﾞ
```

- すべてのジョブを中止する場合

```
ｼﾞｮﾌﾞﾘｾｯﾄｼﾏｽｶ?
ｽﾍﾞﾃﾉｼﾞｮﾌﾞ
```

補足

❒ 印刷を継続する場合は、「インサツケイゾク」を選択して【OK】を押します。

❸【OK】を押します。

確認のメッセージが表示されます。

補足

❒【OK】を押さずに【戻る】を押すと、印刷は継続されます。

❹【OK】を押します。

「ジョブリセットチュウ」と表示され、印刷が中止されます。

重要

❒ 複数のコンピュータでプリンターを共有している場合は、他のコンピュータからのジョブを誤ってキャンセルしないように注意してください。

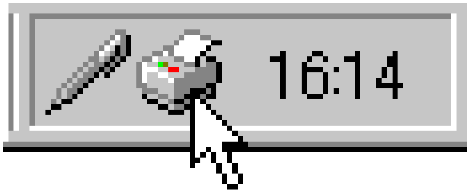
補足

❒ 容量の大きなデータは、印刷の中止が完了するまでに時間がかかることがあります。

❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ Windows のタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。



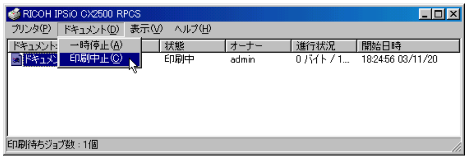
印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、[プリンタ] ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

❸ [ドキュメント] メニューの [印刷中止] をクリックします。



印刷が中止されます。

補足

❒ ネットワークプリンターとしてご使用の場合、他のユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。

❒ [プリンタ] メニューの [印刷ドキュメントの削除] をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、ネットワークプリンターとしてご使用の場合、他のユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。

❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

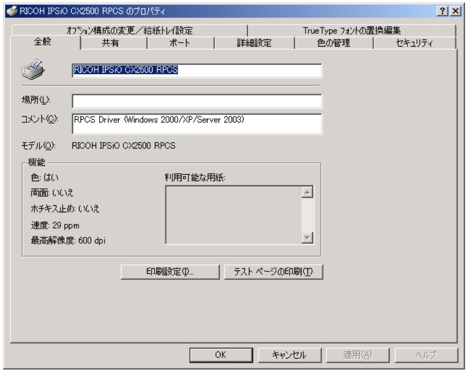
Windows 2000 の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows 2000には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる（プロパティ）

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.217 「印刷の初期値を設定する（プロパティ）」を参照してください。



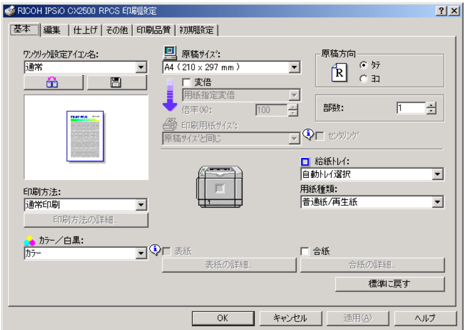
［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブはWindows 2000が追加するタブで、Windows 2000の機能に関する設定を行います。
［オプション構成の変更］、［TrueTypeフォントの置換編集］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

制限

- ❒ プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる（印刷設定）

［プリンタ］ウィンドウから印刷設定を表示させると、［基本］、［編集］、［仕上げ］、［その他］、［印刷品質］、［初期設定］タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.218「印刷の初期値を設定する（印刷設定）」を参照してください。



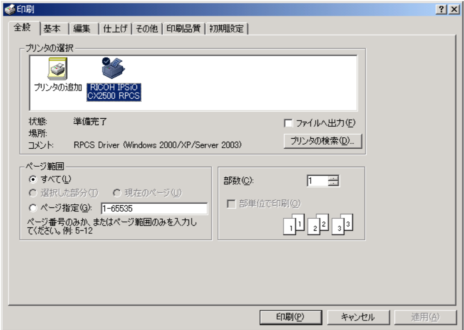
［基本］、［編集］、［仕上げ］、［その他］、［印刷品質］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

制限

- ❒ 印刷設定の内容を変更するときは、Administrators、Power Users、またはUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[全般]、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.219「アプリケーションごとに設定する」を参照してください。



[全般]タブはWindows 2000が追加するタブで、Windows 2000の機能に関する設定を行います。

[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]タブには[プリンタ]ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

補足

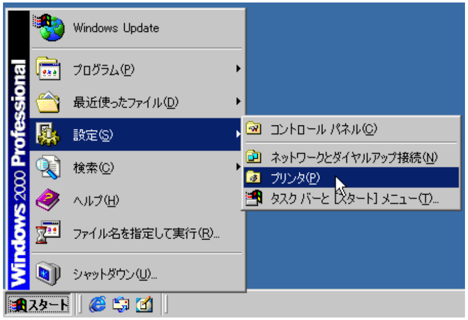
- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

印刷の初期値を設定する（プロパティ）

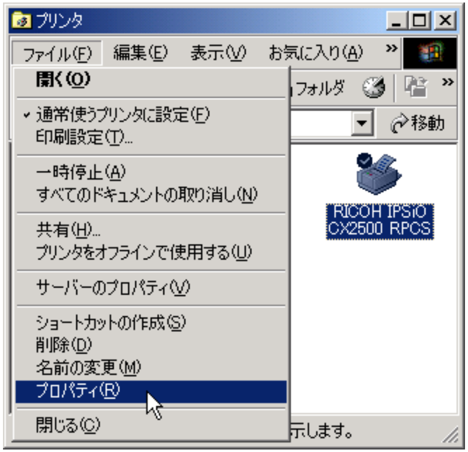
制限

- ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

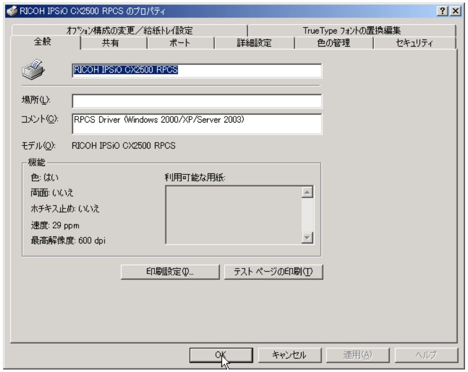
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



プリンターのプロパティが表示されます。



参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

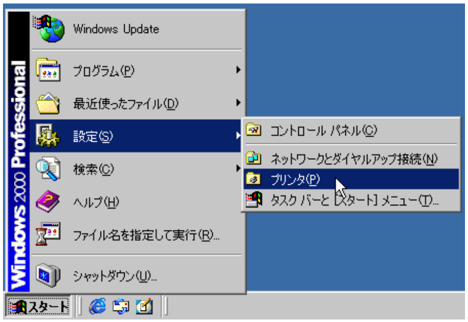
❒ ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

印刷の初期値を設定する（印刷設定）

制限

❒ ［プリンタ］フォルダで印刷設定を変更するときは、Administrators、Power Users、またはUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

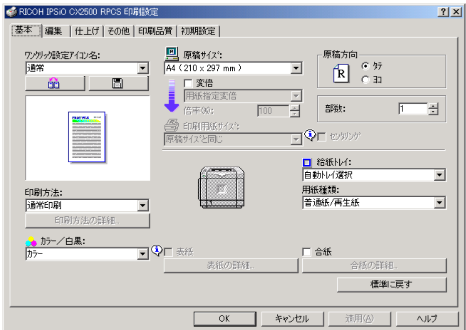
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。



印刷設定が表示されます。



参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- ❒ ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。

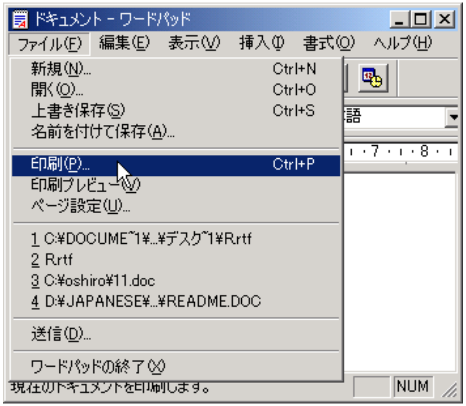
アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows 2000に付属の 「ワードパッド」を例に説明します。

補足

- ❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ❒ アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。



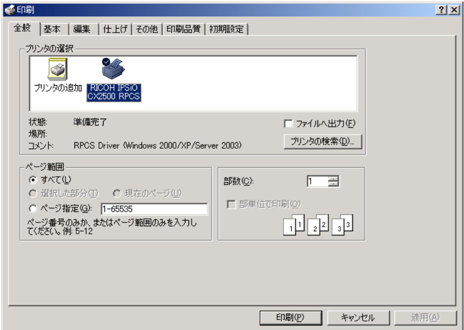
[印刷] ダイアログが表示されます。

補足

- ❒ 印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 プリンターを選択します。

プリンターのプロパティが表示されます。



参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

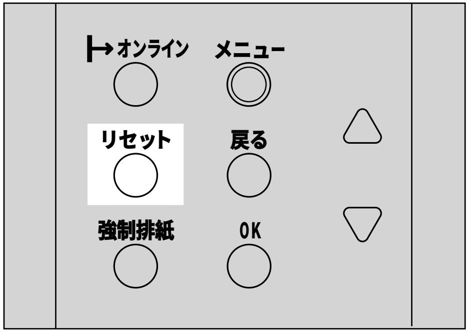
1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【リセット】キーを押します。



操作パネルのディスプレイに「ジョブリセットシマスカ？」と表示されます。

❷【▲】または【▼】キーを押して、印刷中のジョブだけを中止するか、すべてのジョブを中止するかを選択します。

- 印刷中のジョブだけを中止する場合

```
ジョブリセットシマスカ?
カレントジョブ
```

- すべてのジョブを中止する場合

```
ジョブリセットシマスカ?
スベテノジョブ
```

補足

❒ 印刷を継続する場合は、「インサツケイゾク」を選択して【OK】を押します。

❸【OK】を押します。

確認のメッセージが表示されます。

補足

❒【OK】を押さずに【戻る】を押すと、印刷は継続されます。

❹【OK】を押します。

「ジョブリセットチュウ」と表示され、印刷が中止されます。

重要

❒ 複数のコンピュータでプリンターを共有している場合は、他のコンピュータからのジョブを誤ってキャンセルしないように注意してください。

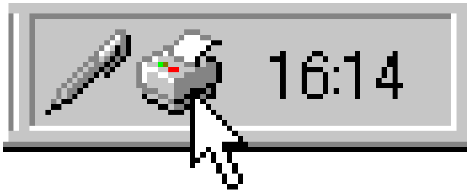
補足

❒ 容量の大きなデータは、印刷の中止が完了するまでに時間がかかることがあります。

❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ Windows のタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。



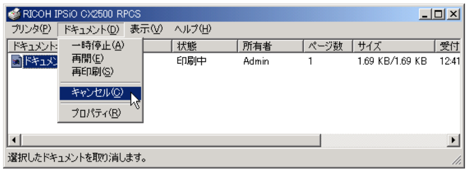
印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

- ❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、[プリンタ] ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

❸ [ドキュメント] メニューの [キャンセル] をクリックします。



印刷が中止されます。

補足

- ❒ [プリンタ] メニューの [すべてのドキュメントの取り消し]をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、[すべてのドキュメントの取り消し] を使って印刷を中止するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。
- ❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

Windows XP、Windows Server 2003 の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

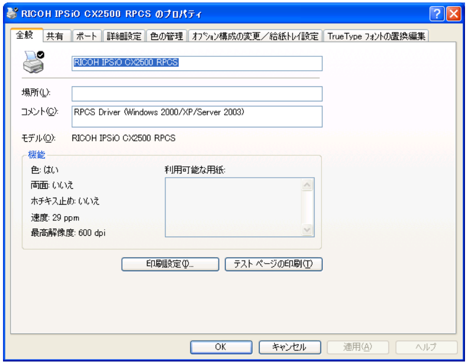
Windows XP、Windows Server 2003には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

補足

❒ 本文中の説明では、Windows XPの画面を使用しています。

❖ ［プリンタとFAX］ウィンドウから表示させる（プロパティ）

［プリンタとFAX］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、Windows XPでは［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］タブが表示されます。
Windows Server 2003では［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］タブが表示されます。
表示方法について詳しくはP.226 「印刷の初期値を設定する（プロパティ）」を参照してください。



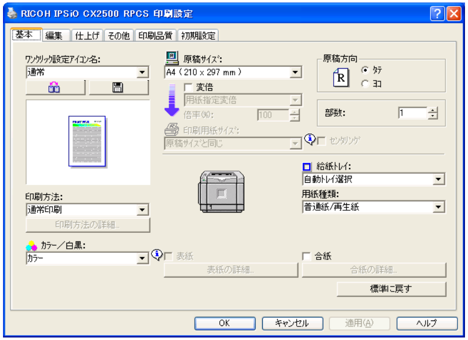
[全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ] タブはWindows XP、Windows Server 2003が追加するタブで、Windows XP、Windows Server 2003の機能に関する設定を行います。
[オプション構成の変更／給紙トレイ設定]、[TrueTypeフォントの置換編集] タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

制限

- Windows XP ProfessionalおよびWindows Server 2003でご使用の場合、プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ [プリンタとFAX] ウィンドウから表示させる（印刷設定）

[プリンタとFAX] ウィンドウから印刷設定を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定] タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.227 「印刷の初期値を設定する（印刷設定）」を参照してください。



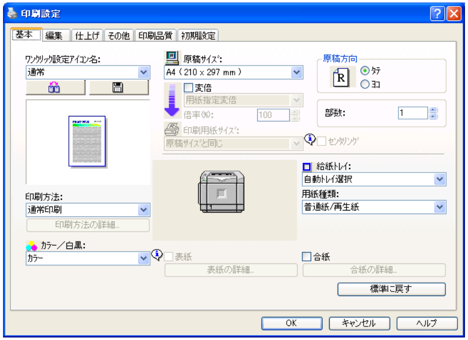
これらのタブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

制限

- ❒ Windows XP ProfessionalおよびWindows Server 2003でご使用の場合、印刷設定の内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定] タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.228「アプリケーションごとに設定する」を参照してください。



これらのタブには [プリンタとFAX] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

補足

- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

印刷の初期値を設定する（プロパティ）

制限

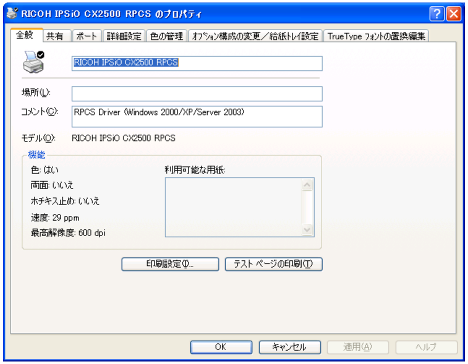
- ❒ Windows XP ProfessionalおよびWindows Server 2003でご使用の場合、[プリンタとFAX] フォルダでプリンタープロパティを変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administratorsまたは Power Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［プリンタとFAX］ウィンドウを表示します。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



プリンターのプロパティが表示されます。



参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- ❒ ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

印刷の初期値を設定する（印刷設定）

制限

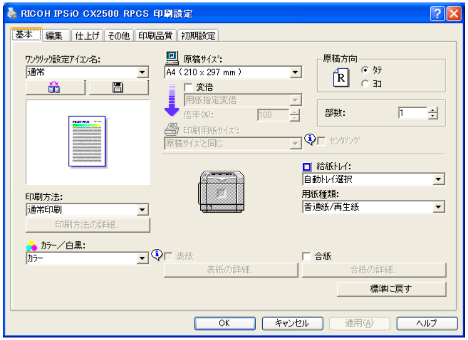
- ❒ Windows XP ProfessionalおよびWindows Server 2003でご使用の場合、[プリンタとFAX] フォルダで印刷設定を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Users グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、［プリンタとFAX］ウィンドウを表示します。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［印刷設定の選択］をクリックします。



印刷設定が表示されます。



参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- ❒ ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。

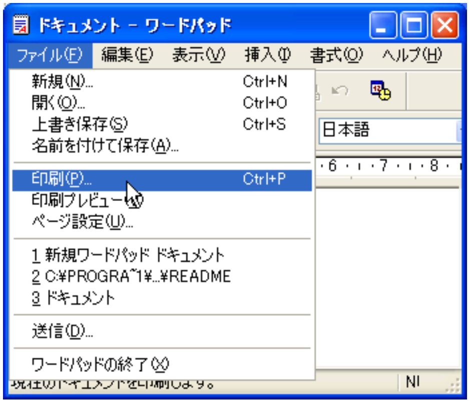
アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows XPに付属の 「ワードパッド」を例に説明します。

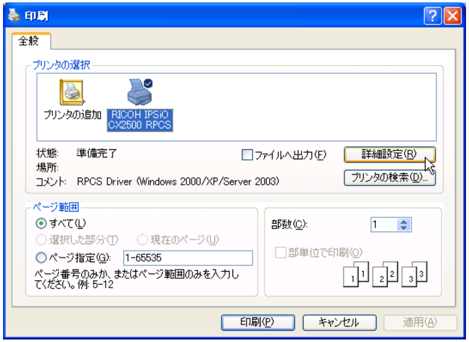
補足

- ❒ 実際の表示の方法はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ❒ アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

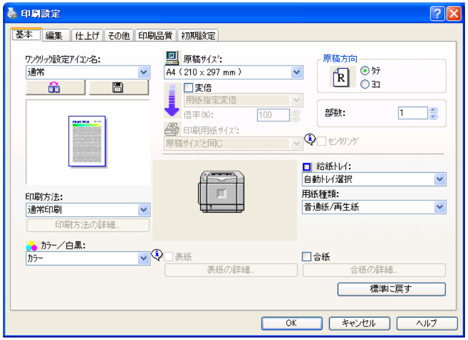
1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。



2 本機を選び［詳細設定］をクリックします。



［印刷設定］ダイアログが表示されます。



参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

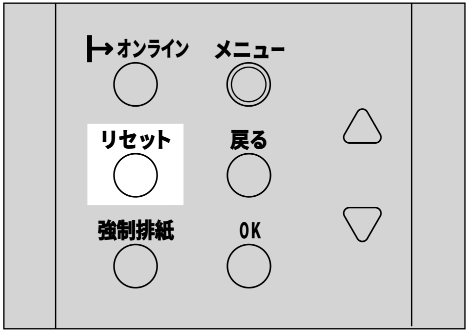
印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の方法で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。
データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【リセット】キーを押します。



操作パネルのディスプレイに「ジョブリセットシマスカ？」と表示されます。

❷【▲】または【▼】キーを押して、印刷中のジョブだけを中止するか、すべてのジョブを中止するかを選択します。

- 印刷中のジョブだけを中止する場合

```
ｼﾞｮﾌﾞﾘｾｯﾄｼﾏｽｶ?
ｶﾚﾝﾄｼﾞｮﾌﾞ
```

- すべてのジョブを中止する場合

```
ｼﾞｮﾌﾞﾘｾｯﾄｼﾏｽｶ?
ｽﾍﾞﾃﾉｼﾞｮﾌﾞ
```

補足

❒ 印刷を継続する場合は、「インサツケイゾク」を選択して【OK】を押します。

❸【OK】を押します。

確認のメッセージが表示されます。

補足

❒【OK】を押さずに【戻る】を押すと、印刷は継続されます。

❹【OK】を押します。

「ジョブリセットチュウ」と表示され、印刷が中止されます。

重要

- ❒ 複数のコンピュータでプリンターを共有している場合は、他のコンピュータからのジョブを誤ってキャンセルしないように注意してください。

補足

- ❒ 容量の大きなデータは、印刷の中止が完了するまでに時間がかかることがあります。
- ❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ Windows のタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。



印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

- ❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、[プリンタとFAX] ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させせます。

❸ [ドキュメント] メニューの [キャンセル] をクリックします。



印刷が中止されます。

補足

- ❒ [プリンタ] メニューの [すべてのドキュメントの取り消し]をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、[すべてのドキュメントの取り消し] を使って印刷を中止するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。
- ❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

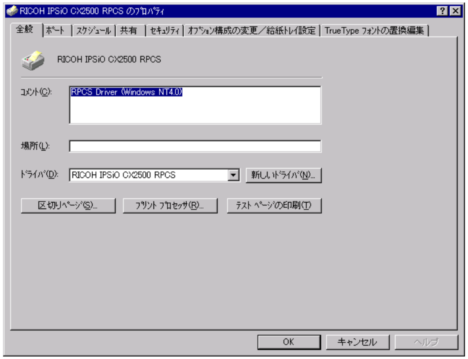
Windows NT 4.0 の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows NT 4.0には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

❖ [プリンタ］ウィンドウから表示させる（プロパティ）

[プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、[全般]、[ポート]、[スケジュール]、[共有]、[セキュリティ]、[オプション構成の変更／給紙トレイ設定]、[TrueType置換テーブル］タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.234「印刷の初期値を設定する（プロパティ）」を参照してください。



[全般]、[ポート]、[スケジュール]、[共有]、[セキュリティ］タブはWindows NT 4.0が追加するタブで、Windows NT 4.0の機能に関する設定を行います。

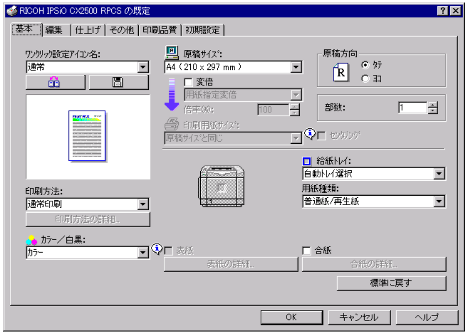
[オプション構成の変更／給紙トレイ設定]、[TrueType置換テーブル］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

制限

- ❒ プリンターのプロパティの内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ [プリンタ]ウィンドウから表示させる(ドキュメントの既定値)

[プリンタ]ウィンドウからドキュメントの規定値を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.235「印刷の初期値を設定する(ドキュメントの既定値)」を参照してください。



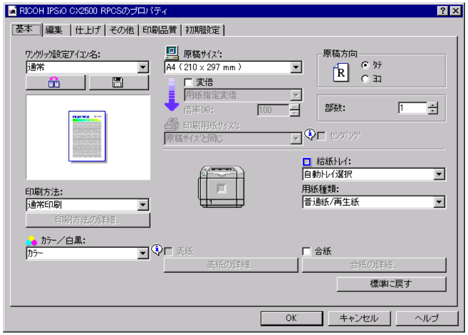
[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

制限

- ❒ ドキュメントの既定値の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ ドキュメントの既定値をユーザーごとに変えることはできません。ドキュメントの既定値で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定] タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.236 「アプリケーションごとに設定する」を参照してください。



[プリンタ] ウィンドウから表示させたドキュメントの既定値の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

補足

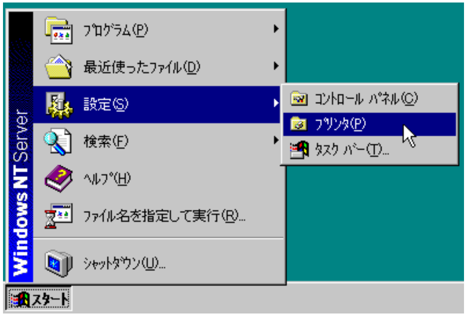
- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

印刷の初期値を設定する（プロパティ）

制限

- ❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

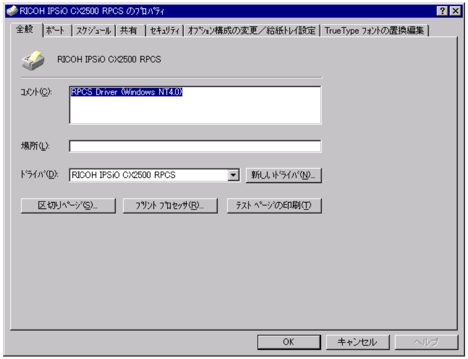
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。



プリンターのプロパティが表示されます。



参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

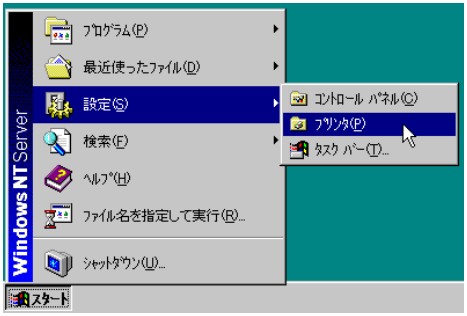
❒ ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

印刷の初期値を設定する（ドキュメントの既定値）

制限

❒ ［プリンタ］フォルダでドキュメントの既定値を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

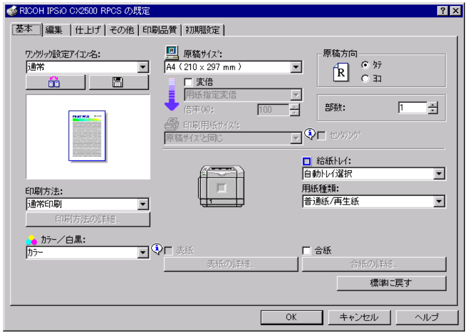
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。



2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックします。



ドキュメントの既定値が表示されます。



参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

❒ ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。

アプリケーションごとに設定する

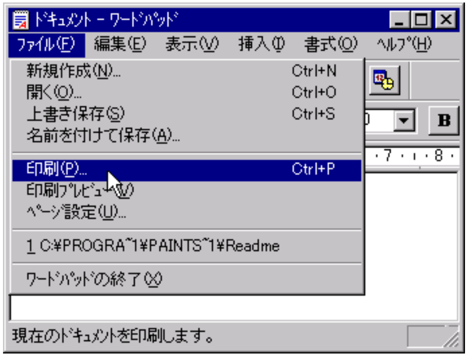
印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows NT 4.0に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

補足

❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

❒ アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

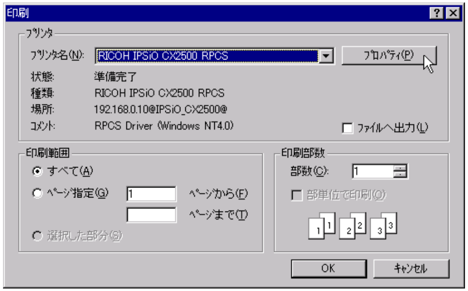


［印刷］ダイアログが表示されます。

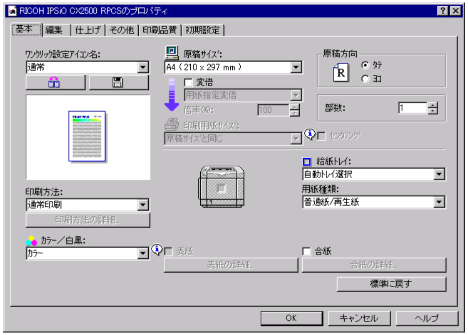
補足

❒ 印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 ［プロパティ］をクリックします。



プリンターのプロパティが表示されます。



参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

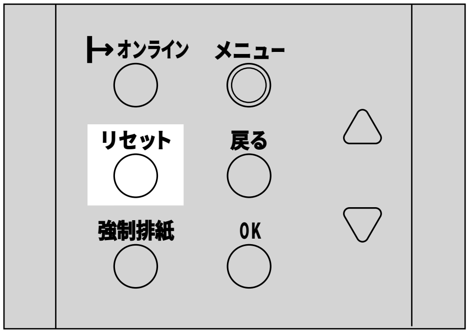
1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【リセット】キーを押します。



操作パネルのディスプレイに「ジョブリセットシマスカ？」と表示されます。

❷【▲】または【▼】キーを押して、印刷中のジョブだけを中止するか、すべてのジョブを中止するかを選択します。

- 印刷中のジョブだけを中止する場合

```
ジョブリセットシマスカ?
カレントジョブ
```

- すべてのジョブを中止する場合

```
ジョブリセットシマスカ?
スベテノジョブ
```

補足

❒ 印刷を継続する場合は、「インサツケイゾク」を選択して【OK】を押します。

❸【OK】を押します。

確認のメッセージが表示されます。

補足

❒【OK】を押さずに【戻る】を押すと、印刷は継続されます。

❹【OK】を押します。

「ジョブリセットチュウ」と表示され、印刷が中止されます。

重要

❒ 複数のコンピュータでプリンターを共有している場合は、他のコンピュータからのジョブを誤ってキャンセルしないように注意してください。

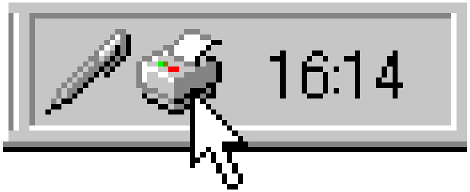
補足

❒ 容量の大きなデータは、印刷の中止が完了するまでに時間がかかることがあります。

❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ Windows のタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。



印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、[プリンタ] ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

❸ [ドキュメント] メニューの [キャンセル] をクリックします。



印刷が中止されます。

補足

❒ [プリンタ] メニューの [印刷ドキュメントの削除] をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、[印刷ドキュメントの削除] を使って印刷を中止するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。

❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

11. 試し印刷／機密印刷する

本機の拡張HDDを利用して、試し印刷や機密印刷ができます。

制限

- ❒ 試し印刷／機密印刷を行うにはオプションの拡張HDDが必要です。
- ❒ 以下の場合、文書は拡張HDDに蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。
  - 試し印刷と機密印刷の文書が、拡張HDDに合計して30ジョブ蓄積されているときに送信された31番目の文書（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります）
  - 送信した文書が、拡張HDDに蓄積されている文書の総ページ数と合わせて1,000ページを超える場合（印刷データによっては、このページ数よりも少なくなることがあります）

参照

プリンタードライバーの詳しい設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

試し印刷する

複数部数を印刷する場合などに、最初に1部だけ印刷を行い、その結果を確認した後に操作パネルを使用して残り部数を印刷することができます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防ぐことができます。

試し印刷の実行、および蓄積した試し印刷ジョブの削除は、Webブラウザからも実行することができます。詳細は、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

重要

- 電源を切ると蓄積文書が消去されます。
- Webブラウザから実行または削除した試し印刷ジョブは、操作パネルには表示されません。
- 操作パネルに表示されている試し印刷ジョブを Webブラウザで実行または削除すると、操作パネルには表示されますが、試し印刷の実行と削除はできません。

補足

- 蓄積した試し印刷のジョブは、ユーザー IDと印刷要求を出した時間で識別することができます。
- 2部目以降を印刷しない場合は、蓄積した試し印刷ジョブを操作パネルまたはWebブラウザから削除してください。
- 2部目以降の印刷を実行すると、蓄積した試し印刷ジョブは自動的に削除されます。
- 以下の手順は、RPCS プリンタードライバーを使用した場合の説明です。PostScript 3プリンタードライバーを使用した場合の説明については、使用説明書<PostScript 3編>を参照してください。

1 プリンタードライバーのプロパティの[基本]タブで、試し印刷の設定をします。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能]タブをクリックします。

❶ [印刷方法]のドロップダウンメニューから[試し印刷]を選択します。

❷ [初期設定]タブの[ユーザー ID]ボックスにユーザー ID を半角英数字8文字以内で入力します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[初期設定]ダイアログで設定します。

2 印刷の指示をします。

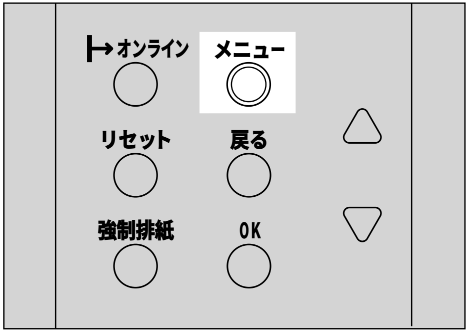
1部目が印刷され、拡張HDDに文書が蓄積されます。

3 印刷結果を確認し、操作パネルから2部目以降を印刷するか削除するかを指示します。

- 2部目以降を印刷する⇒ P.242 「2部目以降を印刷する」
- 文書を削除する⇒ P.243 「文書を消去する」

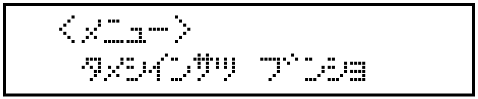
2 部目以降を印刷する

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



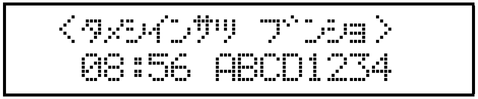
メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「タメシインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

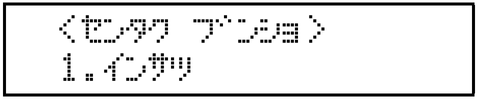


蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、印刷する文書を表示させ、【OK】キーを押します。



4 「1. インサツ」が表示されているのを確認して、【OK】キーを押します。

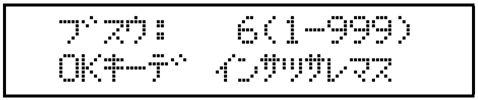


残りの印刷部数が表示されます。

補足

- 印刷をキャンセルする場合は【戻る】キーを押します。

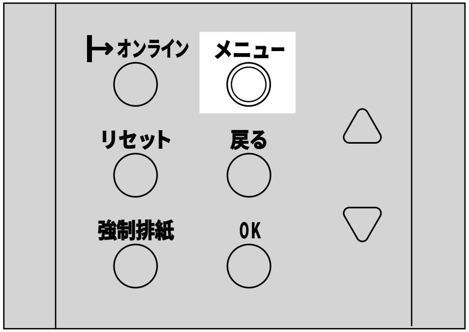
5 【OK】キーを押します。印刷部数を変更する場合は【▲】または【▼】キーを使用して、部数を設定してから【OK】キーを押します。



文書が印刷され、拡張HDDに蓄積されていた文書は削除されます。

文書を消去する

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「タメシインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾒﾆｭｰ>
 ﾀﾒｼｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、削除する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾀﾒｼｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ>
 08:56 ABCD1234
```

4 【▲】または【▼】キーを使用して、「2. ショウキョ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｾﾝﾀｸ ﾌﾞﾝｼｮ>
2.ｼｮｳｷｮ
```

補足

- 消去をキャンセルする場合は【戻る】キーを押します。

5 文書を確認し、【OK】キーを押します。

```
08:56 ABCD1234
OKｷｰﾃﾞ ｼｮｳｷｮｻﾚﾏｽ
```

「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、試し印刷文書の選択画面に戻ります。

6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

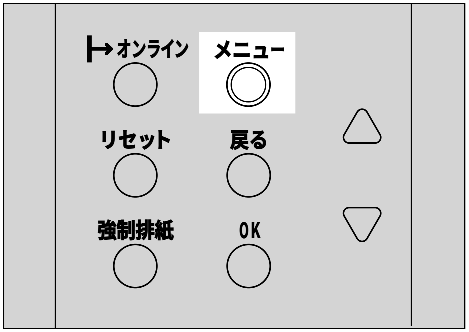
エラー履歴を確認する

文書が拡張 HDD に蓄積できなかった場合は履歴が残り、操作パネルで確認することができます。

制限

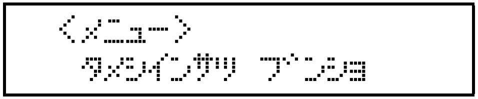
- ❒ エラー履歴に表示されるのは最新の20件だけです。またプリンターの電源を切った場合、それまでの履歴は消去されます。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



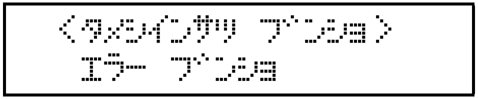
メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「タメシインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

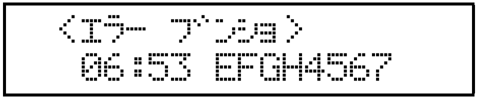


蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、「エラーブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。



4 【▲】または【▼】キーを使用して、履歴を確認します。



補足

- ❒ エラーになった文書を印刷するには、拡張 HDD に蓄積されている文書を印刷するか削除してから、パソコンから印刷の指示をし直してください。

5 **履歴を確認し終わったら、【戻る】キーを押します。**

試し印刷文書の選択画面に戻ります。

6 **【オンライン】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

機密印刷する

ネットワークでプリンターを共有している場合など、他人に見られたくない文章を印刷するときなどに有効な機能です。いったんプリンターの拡張HDDにデータを蓄積し、操作パネルを使用して蓄積したデータを印刷することができます。機密印刷を使うとプリンターの操作パネルからパスワードを入力しないと印刷できなくなりますので、他人に見られる心配がありません。

機密印刷および蓄積した機密印刷ジョブの削除は、Web ブラウザからも実行することができます。詳細は、Web Image Monitorのヘルプを参照してください。

重要

- ❒ 電源を切ると蓄積文書が消去されます。
- ❒ Webブラウザから実行または削除した機密印刷ジョブは、操作パネルには表示されません。
- ❒ 操作パネルに表示されている機密印刷ジョブをWebブラウザで実行または削除すると、操作パネルには表示されますが、機密印刷の実行と削除はできません。

補足

- ❒ 蓄積した機密印刷のジョブは、ユーザーIDと印刷要求を出した時間で識別することができます。
- ❒ 機密印刷を実行すると、蓄積された機密印刷ジョブは自動的に削除されます。
- ❒ 以下の手順は、RPCS プリンタードライバーを使用した場合の説明です。PostScript 3プリンタードライバーを使用した場合の説明については、使用説明書<PostScript 3編>を参照してください。

1 プリンタードライバーのプロパティの[基本]タブで、機密印刷の設定をします。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能]タブをクリックします。

❶ [印刷方法] のドロップダウンメニューから[機密印刷] を選択します。

❷ [初期設定] タブの [ユーザーID] ボックスにユーザーIDを半角英数字8文字以内で入力します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[初期設定]ボタンをクリックし、[初期設定]ダイアログで設定します。

❸ [基本] タブの [印刷方法の詳細] ボタンをクリックし、[印刷方法の詳細]ダイアログでパスワードを半角数字4文字以内で入力します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷方法の詳細] ボタンをクリックし、[印刷方法の詳細]ダイアログでパスワードを半角数字4文字以内で入力します。

2 印刷の指示をします。

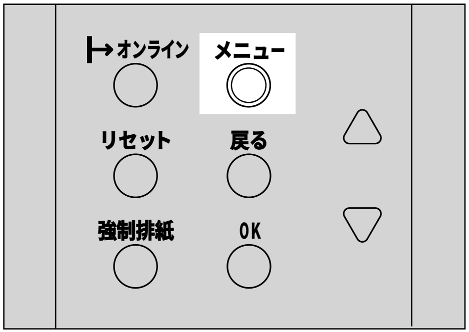
文書が拡張HDDに蓄積されます。

3 操作パネルでパスワードを入力し、印刷するか削除するかを指示します。

- 操作パネルを使って印刷する⇒ P.247「操作パネルを使って印刷する」
- 文書を削除する⇒ P.248 「文書を消去する」

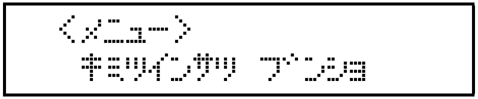
操作パネルを使って印刷する

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



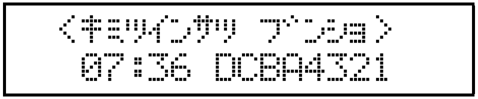
メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「キミツインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。



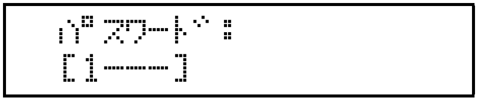
蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、印刷する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

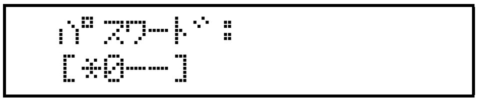


4 パスワードを入力します。

❶ 【▲】または【▼】キーを使用して、設定したパスワードの1桁目を表示させ、【OK】キーを押します。



❷ カーソルが次の桁に移動します。



❸ 同様にすべての桁を設定し、【OK】キーを押します。

5 「1. インサツ」が表示されているのを確認して、【OK】キーを押します。

```
<ｾﾝﾀｸ ﾌﾞﾝｼｮ>
1.ｲﾝｻﾂ
```

補足

- ❒ 印刷をキャンセルする場合は【戻る】キーを押します。

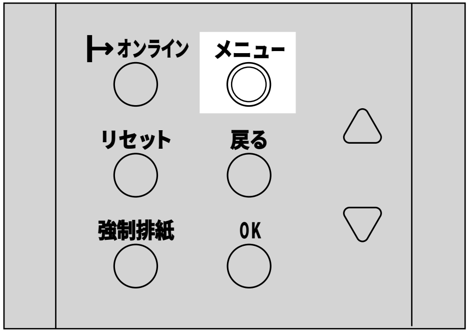
6 【OK】キーを押します。

```
07:36 DCBA4321
OKｷｰﾃﾞ ｲﾝｻﾂｻﾚﾏｽ
```

文書が印刷され、拡張HDDに蓄積されていた文書は削除されます。

文書を消去する

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「キミツインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾒﾆｭｰ>
ｷﾐﾂｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、削除する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｷﾐﾂｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ>
 07:36 DCBA4321
```

4 パスワードを入力します。

❶【▲】または【▼】キーを使用して、設定したパスワードの1桁目を表示させ、【OK】キーを押します。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
[1----]
```

❷ カーソルが次の位に移動します。

```
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
[*0---]
```

❸ 同様にすべての桁を設定し、【OK】キーを押します。

選択文書メニューが表示されます。

```
<ｾﾝﾀｸ ﾌﾞﾝｼｮ>
1.ｲﾝｻﾂ
```

5 【▲】または【▼】キーを使用して、「2. ショウキョ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｾﾝﾀｸ ﾌﾞﾝｼｮ>
2.ｼｮｳｷｮ
```

補足

❒ 消去をキャンセルする場合は【**戻る**】キーを押します。

6 消去する文書を確認し、【OK】キーを押します。

```
07:36 DCBA4321
OKｷｰﾃﾞ ｼｮｳｷｮｻﾚﾏｽ
```

「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、機密印刷文書の選択画面に戻ります。

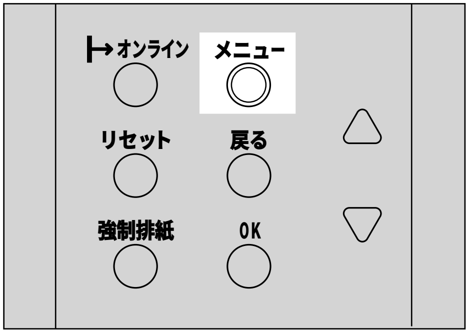
エラー履歴を確認する

文書が拡張 HDD に蓄積されなかった場合は履歴が残り、操作パネルで確認することができます。

制限

- ❒ エラー履歴に表示されるのは最新の20件だけです。またプリンターの電源を切った場合、それまでの履歴は消去されます。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「キミツインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ﾒﾆｭｰ>
 ｷﾐﾂｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、「エラーブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<ｷﾐﾂｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ>
ｴﾗｰ ﾌﾞﾝｼｮ
```

4 【▲】または【▼】キーを使用して、履歴を確認します。

```
<ｴﾗｰ ﾌﾞﾝｼｮ>
 08:56 HGFE7654
```

補足

- ❒ エラー印刷になった文書を印刷するには、拡張 HDD に蓄積されている文書を印刷するか削除してから、パソコンから印刷の指示をし直してください。

5 **履歴を確認し終わったら、【戻る】キーを押します。**

機密印刷文書の選択画面に戻ります。

6 **【オンライン】キーを押します。**

通常の画面に戻ります。

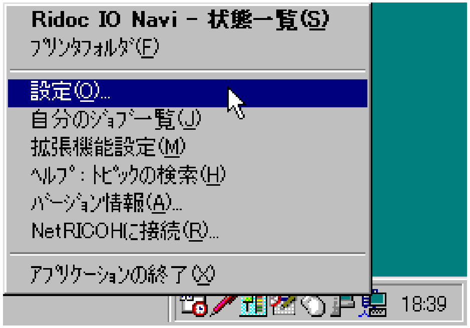
```
ｲﾝｻﾂﾃﾞｷﾏｽ
RPCS
```

プリンターの状態を確認するとき

Ridoc IO Navi の場合

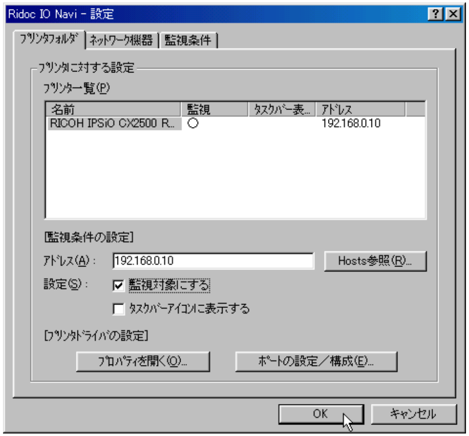
1 Ridoc IO Naviを起動します。

2 タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［設定］をポイントして左クリックします。



［Ridoc IO Navi設定］ウインドウが表示されます。

3 使用するプリンターを選択して反転表示させて［監視対象にする］に✓印を付け、[OK] をクリックします。

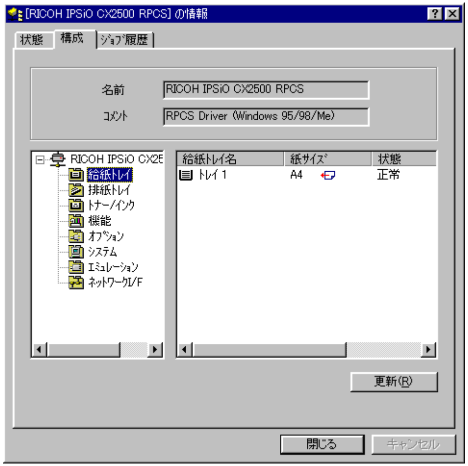


4 タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックし、表示されたメニューから監視対象にしたプリンターをポイントして左クリックします。



監視対象にしたプリンターの［情報］ウインドウが開きます。

5 ［構成］タブをクリックすると、給紙トレイの用紙の量などを調べることができます。



補足

❒ それぞれの項目について詳しくは、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

Web ブラウザの場合

1 Webブラウザを起動します。

2 アドレスに「http://（状態を表示させたいプリンターのIPアドレス）/」と入力します。

Web Image Monitorのトップページが表示されます。



3 [状態] をクリックすると給紙トレイの用紙の量などを調べることができます。



補足

- ❒ それぞれの項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。

PDF ファイルを直接印刷する

PDFファイルを開くアプリケーションを起動することなく、PDFファイルを本機に直接送信して印刷することができます。

制限

- ❒ オプションのPS3拡張エミュレーションカード、またはPDFダイレクトプリント拡張エミュレーションカードが必要です。
- ❒ Adobe純正のPDFのみ可能です。
- ❒ 対応しているPDFファイルのバージョンは、1.3、1.4、1.5です。
- ❒ PDFバージョン1.4の固有機能であるTransparency、JBIG2には対応していません。
- ❒ PDF バージョン 1.5 の固有機能には対応していません。

印刷方法

❖ Ridoc Desk 2000（Lt）を使用する

個人文書管理ソフトRidoc Desk 2000（Lt）にPDFファイルを登録し、PDFファイルを直接本機に送って印刷することができます。

制限

- ❒ RPCSプリンタードライバーがインストールされている必要があります。
- ❒ Ridoc Desk 2000（Lt）のバージョンによっては、PDFダイレクトプリントは実行できません。本機に同梱のCDに収録されているRidoc Desk 2000（Lt）をご使用ください。

補足

- ❒ PDFダイレクトプリントの印刷条件は、PDFダイレクトプリントのプロパティで設定できます。
- ❒ パスワードが設定されている PDF ファイルを印刷する場合、次の２つの設定が必要です。
  - PDFダイレクトプリントのプロパティでPDFパスワードを入力
  - 本機の操作パネルから、[PDF設定] メニューの [パスワード変更] でPDFパスワードを設定
- ❒ Ridoc Desk 2000（Lt）でグループパスワードを設定している場合、本機の操作パネルから、[PDF設定] メニューの [グループパスワード] でグループパスワードを設定する必要があります。

参照

操作方法の詳細は、Ridoc Desk 2000（Lt）のヘルプを参照してください。

❖ コマンドを使用する

WindowsおよびUNIXから、ftp、lprなどのコマンドを使用して、PDFファイルを直接印刷できます。

参照

- Windowsでコマンドを使用した印刷ついては、使用説明書＜システム設定編＞「Windowsからのファイル直接印刷」を参照してください。
- UNIXでコマンドを使用した印刷については、P.150「UNIXで使う」を参照してください。

Bluetooth™ を使う

操作の前に

以下のBluetooth™profileに対応しています。

- SPP
- HCRP
- BIP

参照

SPP で印刷する方法については、P.257「Bluetooth™ 接続で印刷するには」を参照してください。HCRP、BIPで印刷する方法については、お使いのBluetooth™アダプターに同梱のマニュアルを参照してください。

対応プロファイルについては、お使いのBluetooth™ アダプターに同梱のマニュアルを参照してください。

Bluetooth™ 接続で印刷するには

操作の前に

プリンタードライバーは、パラレルインターフェースと同じ手順でインストールを完了させておいてください。プリンタードライバーのインストール方法については、P.39「パラレルインターフェースを使う」を参照してください。

次のことを確認してください。

- 本機の電源がはいっていること
- 本機に取り付けた拡張ワイヤレスインターフェースボードに差し込んだ Bluetooth™ カードのランプが点灯していること

ここでは、次のBluetooth™アダプターがインストールされたパソコンで説明します。

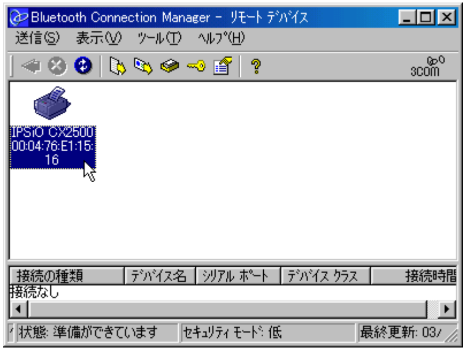
- 3COM PCMCIA Bluetooth™ adaptor Parts# 3CRWB6096
- 3COM USB Bluetooth™ adaptor Parts# 3CRWB96

補足

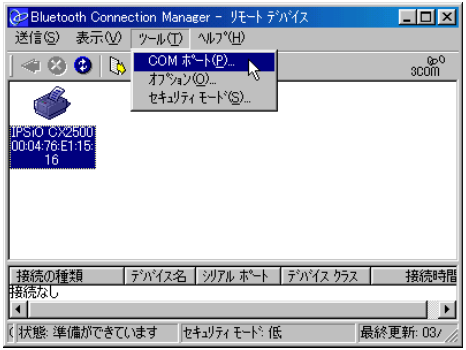
- ❒ これら以外のBluetooth™アダプターやBluetooth™内蔵のパソコンで設定する場合、お使いのBluetooth™アダプターやBluetooth™内蔵のパソコンに同梱のマニュアルを参照してください。
- ❒ 使用環境についてはBluetooth™アダプターや Bluetooth™ 内蔵のパソコンに準じます。詳しくはお使いのBluetooth™アダプターやBluetooth™内蔵のパソコンに同梱のマニュアルを参照してください。

1 3Com Bluetooth Connection Managerを起動します。

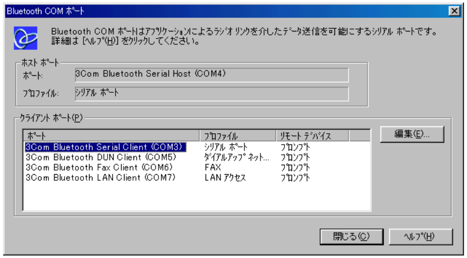
2 3Com Bluetooth Connection Managerから本機を選択します。



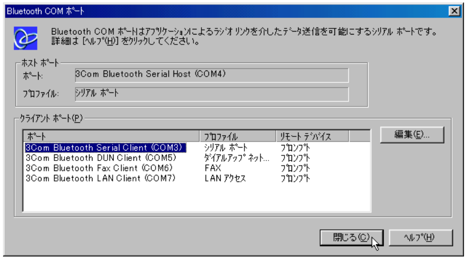
3 メニューの［ツール］をポイントし、［COMポート］をクリックします。



4 クライアントポートに3Com Bluetooth Serial Client（COMx）と表示されていることを確認します。（xにはBluetoothが使用するCOMポート番号が表示されます。）



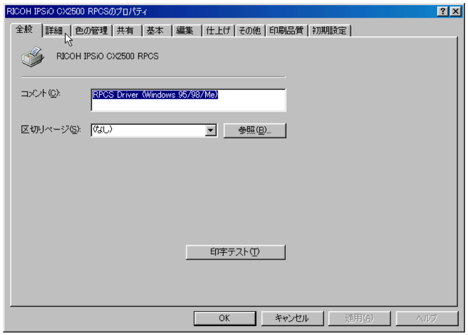
5 ［閉じる］をクリックします。



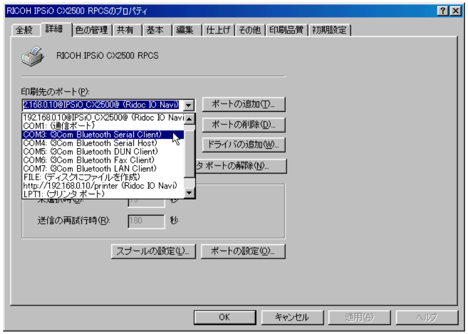
6 ［スタート］ボタンから［プリンタ］ウィンドウを表示します。

7 本機のアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

8 ［詳細］タブをクリックします。



9 「印刷先のポート」から［COM x］を選択します。（xは手順**4**で表示された番号になります。）



10 ［OK］をクリックします。

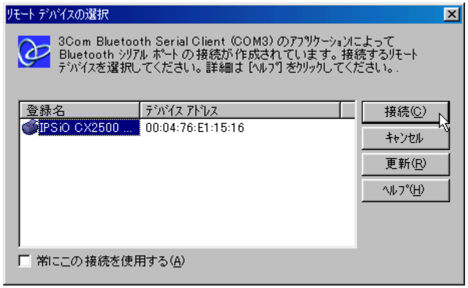
［プリンタ］ウィンドウを閉じます。

プリントジョブ送信時にダイアログボックスが表示される場合

プリントジョブ送信時にダイアログボックスが表示される場合、次の手順で再接続してください。

❶ 本機を選択します

❷［接続］をクリックします。



補足

❒ 常に同じプリンターと接続する場合には、［常にこの接続を使用する］チェックボックスを選択します。

参照

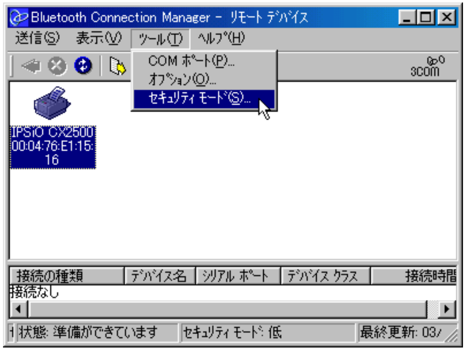
詳細については、お使いの Bluetooth™ アダプターに同梱のマニュアルを参照してください。

セキュリティモード

1 3Com Bluetooth Connection Managerを起動します。

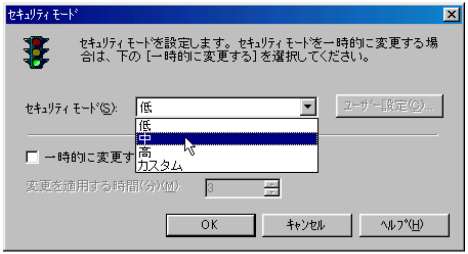
2 3Com Bluetooth Connection Managerから本機を選択します。

3 メニューの［ツール］をポイントし、［セキュリティモード］をクリックします。



セキュリティモードダイアログボックスが表示されます。

4 ［セキュリティモード］からセキュリティモードを選択します。



［高］または、［カスタム］を選択しカスタムセキュリティモードから［リンク］を設定した場合、プリントジョブ送信時にパスワードの入力を要求されます。パスワードの入力について詳しくは、P.261「印刷時の設定」を参照してください。それら以外の設定にした場合、パスワードの入力は要求されません。

参照

セキュリティモードについて詳しくは、3Com Bluetooth Connection Managerのヘルプを参照してください。

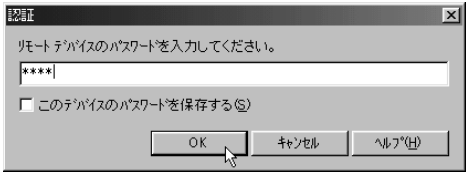
印刷時の設定

❶ 本機にジョブを送信します。

設定によっては、ダイアログボックスが表示されることがあります。⇒ P.260「プリントジョブ送信時にダイアログボックスが表示される場合」

❷ 認証ダイアログボックスが表示されます。

❸ 認証パスワードを入力して、［OK］をクリックします。



補足

- ❒ 本機背面に貼付のラベルに記載されたSERIAL　NO.の下4桁が認証パスワードとなります。(例: SERIAL NO.が00A0-001234の場合、認証パスワードは「1234」となります。)
- ❒ 認証パスワードは機器ごとに違います。変更することはできません。

SPP、HCRPについて

- Bluetooth™ インターフェースで同時に接続できるBluetooth™アダプターまたは、Bluetooth™内蔵のパソコンはSPP接続で1台、HCRP接続で1台の合計2台です。
- 複数のBluetooth™アダプターや、Bluetooth™内蔵のパソコンで接続する場合、最初に接続を確立した機器が有効となります。その他の機器が接続する場合、最初に接続を確立した機器が接続を解除する必要があります。
- 双方向通信の条件について
  - SPP接続の場合、双方向通信には対応していません。
  - HCRP接続の場合、双方向通信に対応しています。

BIPについて

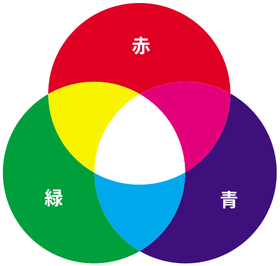
- BIPで接続するには、本機にPostScript 3を含む拡張エミュレーションカードが装着されている必要があります。
  - BIP接続できるBluetooth™アダプターまたは、Bluetooth™内蔵のパソコンは1台です。
  - BIP接続で印刷できるフォーマットはJPEGです。
  - BIP接続ではユーザーコードが無効になります。
    - 本機に印刷制限が設定されている場合、印刷することができません。
    - 本機に課金用印刷の設定がされている場合、課金ログを取得できません。

カラーガイド

カラー印刷のしくみ

光の 3 原色と色材の 3 原色

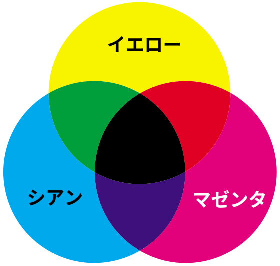
すべての光はRGBと呼ばれる３つの色を混合して表現されます。R（Red）は赤、G（Green）は緑、B（Blue）は青です。RGBを同じ割合で混合すると白になります。



補足

- ❒ RGBの３つの色を光の３原色と呼びます。パソコンのディスプレイもRGBの色の組み合わせで色を表現しています。

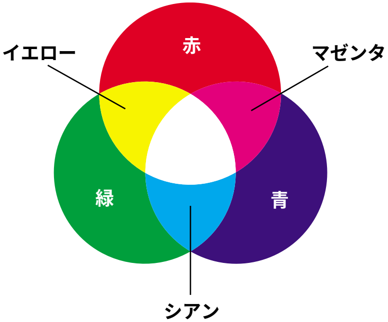
印刷色はCMYの３つの色を混合して表現されます。C(Cyan)はシアン、M(Magenta)はマゼンタ、Y(Yellow)はイエローです。CMYを同じ割合で混合すると黒になります。



補足

- ❒ CMYの３つの色を色材の３原色と呼びます。IPSiO CX 2500は、CMYにK（黒）のトナーを加えた４色のトナーを使ってフルカラーの印刷を行います。

光の３原色の各色が混合すると、第２色としてシアン、マゼンタ、イエローが作られます。また逆に、色材の３原色の各色が混合すると、赤、緑、青が作られます。１つの原色に対し、他の２つの原色を混ぜた色のことを「補色」と呼びます。赤とシアン、緑とマゼンタ、青とイエローは補色の関係にあります。



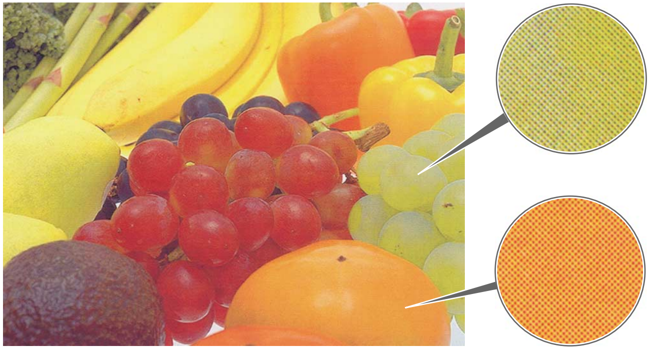
プリンターにおける色の表現方法

IPSiO CX 2500は色材の３原色であるC（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）にK（黒）を加えた、４色のトナーを使ってフルカラーの印刷を行います。

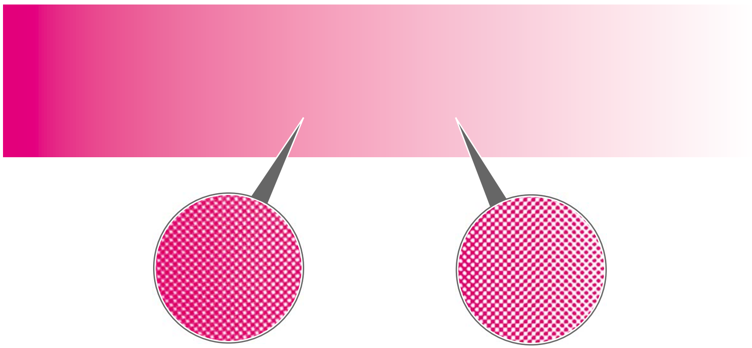
補足

❒ CMYの３色のトナーを同じ割合で混ぜると理論上は純粋な黒になりますが、こうして印刷された黒は印刷の特性上どうしても純粋な黒にはならず、質感に劣ります。よりくっきりとした黒を再現するために、通常の印刷ではブラックのトナーも使用してカラー画像を印刷します。

たとえば画像がシアンだけで作られているときは、全体をシアンのトナーだけで印刷すれば問題ありませんが、フルカラーの画像は実際には何万色という微妙な色の集まりでできています。このような微妙な色は、単位面積あたりに印刷するCMYKのトナー粒子の割合を変えることで表現します。



また、画像には同じ色でも濃い部分と薄い部分があります。このような色の濃淡は単位面積あたりに印刷するトナー粒子の量を変えることで表現します。



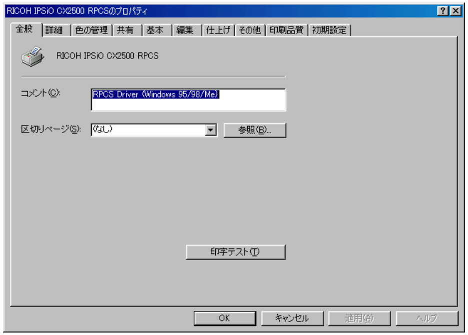
カラープロファイルの設定

プリンタードライバーで任意のカラープロファイルを設定することができます。

ここでは、プリンタードライバーからカラープロファイルを設定する手順を説明します。

1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。

ここでは、Windows 98のプロパティ画面を例として説明します。

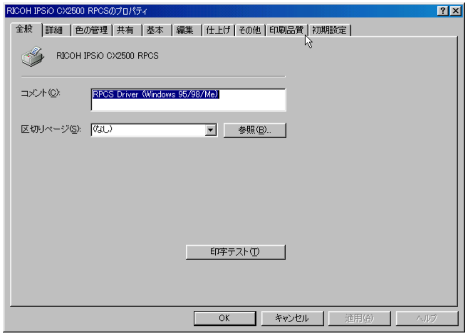


補足

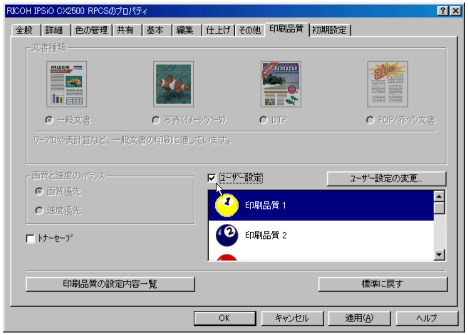
❒ カラープロファイルを設定するための、各Windows のプリンタードライバー設定画面の表示方法は次の通りです。

- Windows 95/98/Meの場合
  P.207 「プリンタードライバーの設定画面を表示する」を参照し、プロパティ画面、またはアプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示します。
- Windows 2000の場合
  P.214 「プリンタードライバーの設定画面を表示する」を参照し、印刷設定画面、またはアプリケーションからプリンターの設定画面を表示します。
- Windows XP、Windows Server 2003の場合
  P.223 「プリンタードライバーの設定画面を表示する」を参照し、印刷設定画面、またはアプリケーションからプリンターの設定画面を表示します。
- Windows NT 4.0の場合
  P.231 「プリンタードライバーの設定画面を表示する」を参照し、ドキュメントの規定値画面、またはアプリケーションからプリンターの設定画面を表示します。

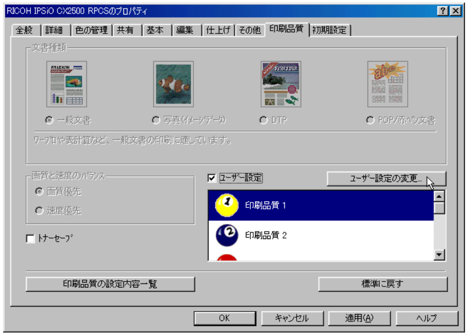
2 [印刷品質] タブをクリックします。



3 [ユーザー設定] をクリックしてチェックを付けます。

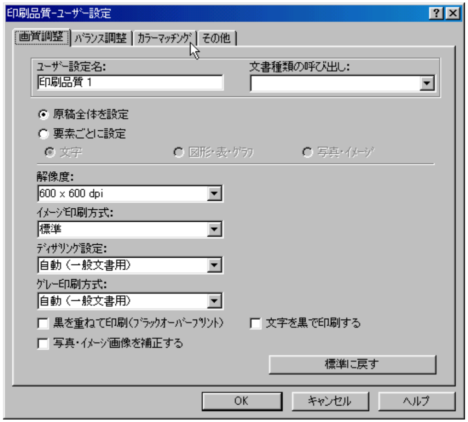


4 [ユーザー設定の変更] をクリックします。



[印刷品質－ユーザー設定] ダイアログが表示されます。

5 [カラーマッチング] タブをクリックします。

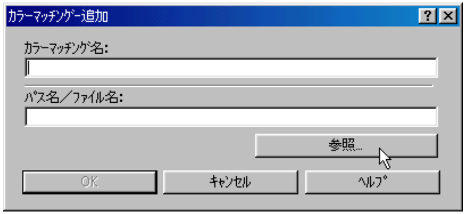


6 [追加]をクリックします。



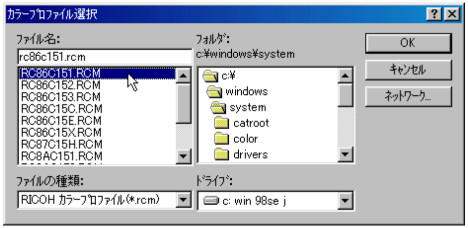
[カラーマッチングー追加]ダイアログが表示されます。

7 [参照]をクリックします。



[カラープロファイル選択]ダイアログが表示されます。

8 カラープロファイルが保存されているフォルダを開き、カラープロファイルを選択します。

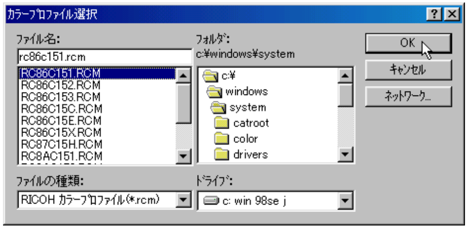


補足

❒ **カラープロファイルが保存されている場所は次の通りです(起動ディスクがCドライブの場合)。**

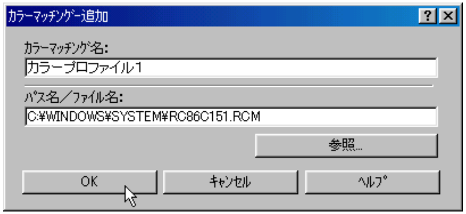
- Windows 95/98/Me
  C:\windows\system
- Windows 2000/XP、Windows Server 2003
  C:\WINDOWS\system32\spool\drivers 内のフォルダ
- Windows NT 4.0
  C:\WINNT\System32\spool\drivers 内のフォルダ

9 [OK] をクリックします。



[カラーマッチング－追加] ダイアログが表示されます。

10 [カラーマッチング名] に任意の名称を入力し、[OK] をクリックします。



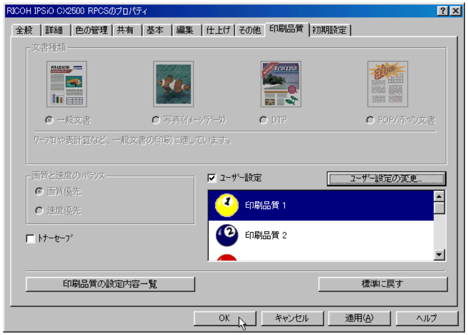
[印刷品質－ユーザー設定] ダイアログが表示されます。

11 [OK] をクリックします。



プリンター設定画面が表示されます。

12 [OK] をクリックします。



ソートについて

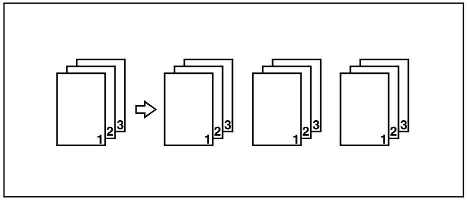
会議資料など複数部数の印刷をする場合などにページ順に仕分けして印刷する機能を「ソート」といいます。

参照

印刷方法の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

❖ ソート

１部ずつそろえて印刷します。



制限

❒ ソート印刷を行うには、192MB以上のRAMまたは拡張HDDが必要です。

❒ ソート可能なページ数は、RAMによる場合は最大150ページ、HDDを増設した場合は最大1,000ページです。

Windows Server 2003 使用時の注意

Terminal Server モード使用時の注意

プリンタードライバーの機能の一部が使用できません。使用できない機能は画面上でグレイダウン表示になります。

下記のとおり、プリンタードライバーの機能の一部に制約があります。

- 使用できない機能
  機密印刷、試し印刷、合成
- アドミニストレータ権限以外の権限では使用できない機能
  ワンクリックアイコンの登録、不定形サイズの登録、スタンプ登録、ユーザー設定登録

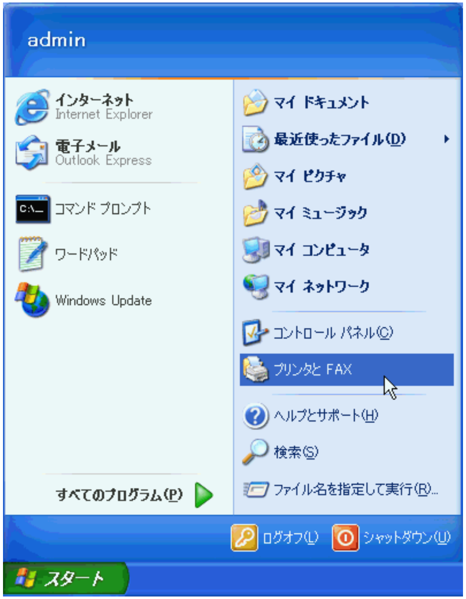
これ以外の機能については、制約はありません。

Windows XP、Windows Server 2003 で［プリンタと FAX］ウインドウを表示する

Windows XP Professional、Windows Server 2003 をご使用の場合

Windows XP Professional、Windows Server 2003で、［プリンタとFAX］ウインドウを表示する方法は次の通りです。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタとFAX］をクリックします。



［プリンタとFAX］ウィンドウが表示されます。

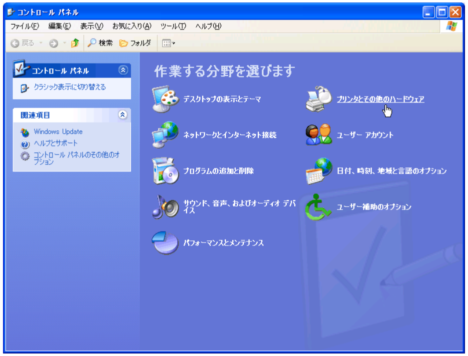
Windows XP Home Edition をご使用の場合

Windows XP Home Editionで［プリンタとFAX］ウインドウを表示する方法は次の通りです。

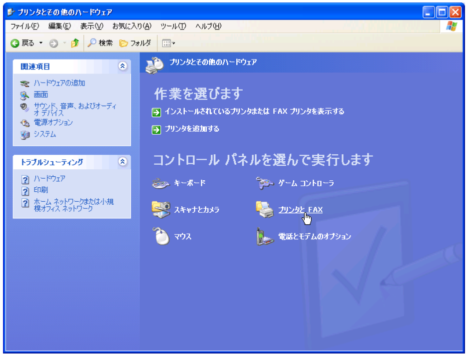
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。



2 ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。



3 ［プリンタとFAX］をクリックします。



［プリンタとFAX］ウィンドウが表示されます。

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ら行

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
（03）3479-3111（代表）

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文やアフターサービスに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店、もしくは最寄りのサービス実施店にご相談ください。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

リコープリンターコールセンターIPSiOダイヤル

製品の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンターIPSiOダイヤル」にご連絡ください。

FreeDial 0120-56-1240（コールはイプシオ）

- 受付時間：9～12時、13～17時（土、日、祝日、リコーの休業日を除く）

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページから入手することができます。

- インターネット/リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

JA　2004年2月　G108-8506